

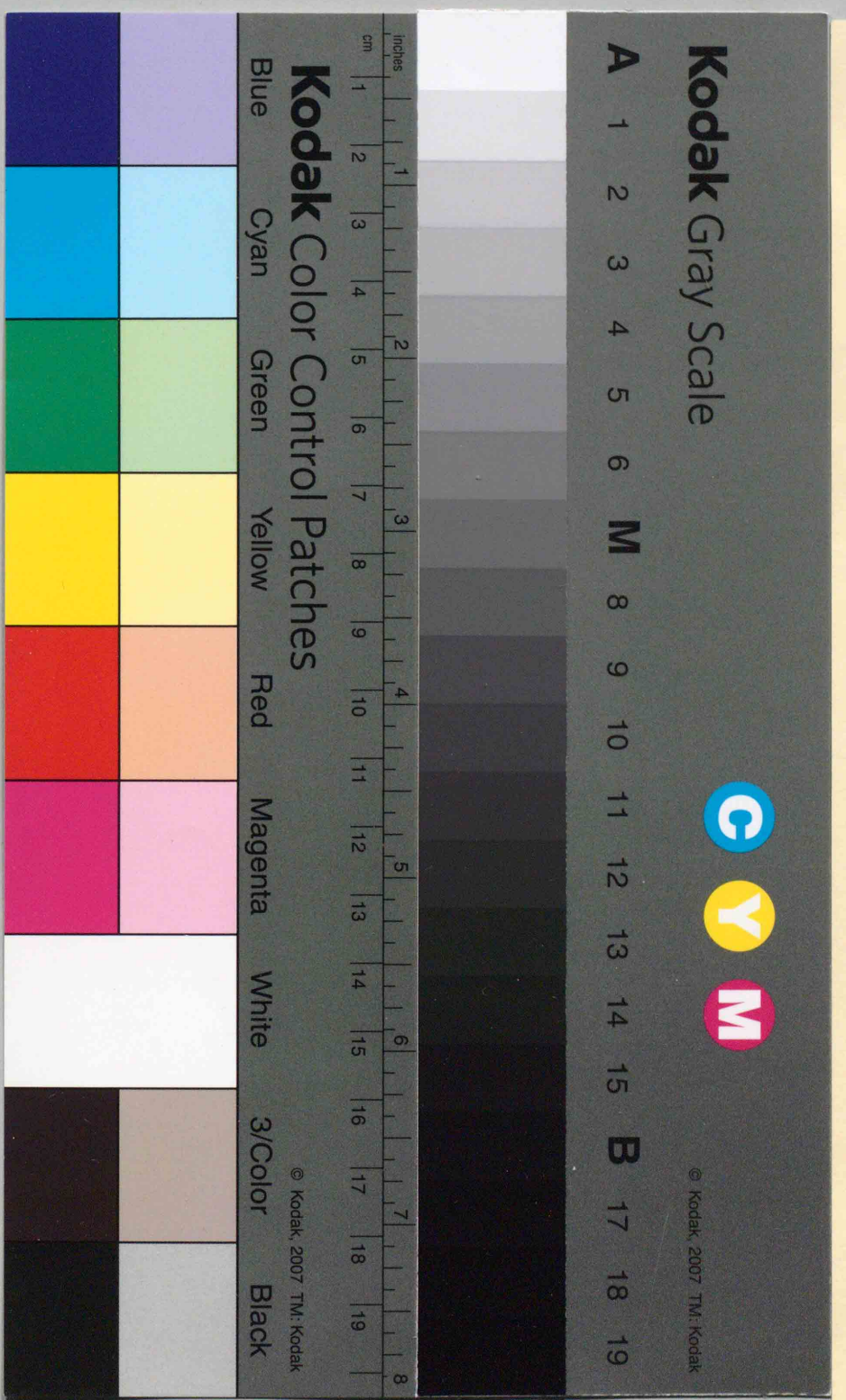
訂三
育教範師
理地勢國本日

教
51
2000

42914

教科書文庫

4
291
51-1931
20000 65224



Kodak Color Control Patches

Kodak Gray Scale

C
Y
M



資料室

教科書文庫
4
291
51-1931
2000065224

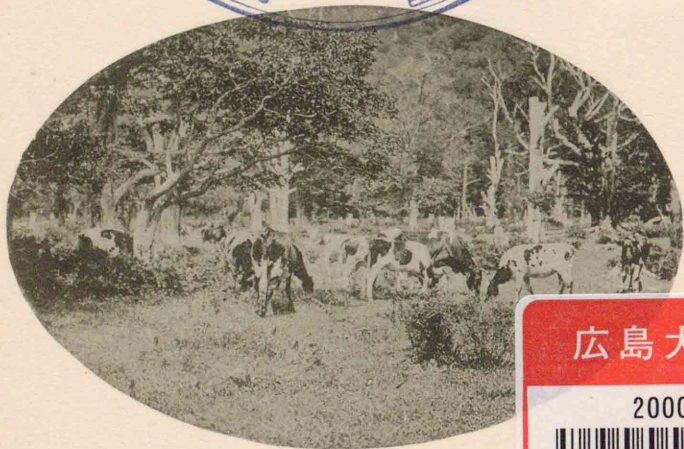
375.9
N: 19

文部省檢定濟

昭和三十六年二月二十五日 師範學校地理科用

奈良女子高等師範學校教授
西田與四郎 著

三訂
師範教育
日本國勢地理



広島大学図書

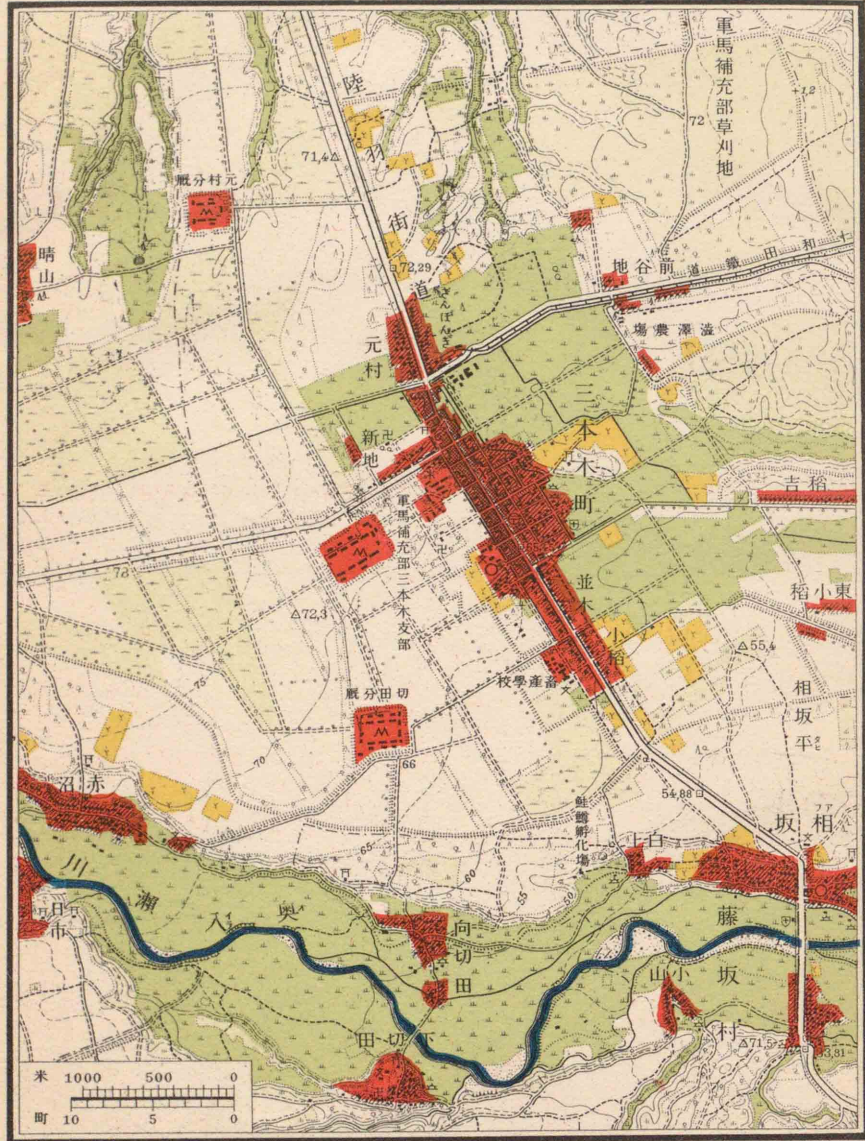
2000065224



東京 中文館 藏版

資料室

青森縣三本木町附近の人文景



編纂の要旨

- 一、大正十四年四月制定の師範學校地理科教授要目に準據し日本の國勢をつとめて地理學的に明かにしようとした。
- 二、各事項を説くに當り、務めて世界の大局に着眼し、日本の世界的地位を明かにすることに留意した。
- 三、地形圖・分布圖・統計圖等をなるべく多くして記事の助としたが、統計を數字や一覽表として示したのもある。何れも最近の材料によつたことはいふまでもない。
- 四、小學校並に中學校高等女學校に於ける既習事項との連絡にも充分注意した。

三訂 師範 日本國勢地理

教育

目次

緒論	一
第一章 國土の自然	二
第一節 位置 面積	二
第二節 地形	五
第三節 氣候	三
附地理區	三
第二章 住民	三
第一節 人種	三
第二節 人口	三
第三節 聚落	四

第三章 經濟	五
第一節 產業	五
第一 概說	五
第二 農業	五
第三 養蠶業附製絲業	七七
第四 牧畜業附養禽業	八二
第五 林業	八六
第六 鑛業	九〇
第七 水產業	一〇〇
第八 工業	一〇九
第九 商業	一二九
第二節 交通	一三八
第一 陸運	一三八

第二章 水運	一三六
第三 空運	一四二
第四 通信	一四三
第四章 政治	一四六
第一節 國家	一四六
第二節 內治	一五三
第三節 外交	一五七
第五章 神社 宗教	一五六
第六章 教育	一六三
第七章 衛生	一六六
結論 日本の世界的地位	一六九

目次終

三訂 師範日本國勢地理

教育

西田與四郎著

緒論

國勢 即ち國家の勢力の大小強弱を決定する主なる要素は、(1)國土の面積量の大小及び地理的位置、地形、地味、氣候、天產物に依つて起る國土の質の良否、(2)國民の多少(量)及びその身體、精神上の質の良否、並に文化の程度、生業の盛否、富力の大小、(3)主權統治の弛張、即ち法制、軍備、財政、外交等の優劣等である。我等は五大強國の一である國民としても、將たまた次代の國民を教養する教育者としても、大に我が國勢の現狀を究めて、その世界的位置を知り、益々採長補短、以て國運の發展と國威の隆昌とに努め

ねばならぬ。

第一章 國土の自然

第一節 位置 面積

位置 我が大日本帝國は三連の弧狀をなす日本列島及び之と亞細亞大陸との間に横はる陸橋・朝鮮半島とより成る。地體構造上より見ると亞細亞大陸の一部でオホーック海日本海東支那海等の縁邊海を以て大陸と列島との間は隔てられ、東は太平洋を中にして南北亞米利加諸國に對し、北は露領、南は大洋洲の諸島及び馬來諸島に接近して居る。

經緯度上の位置 我が國土の四極を左に掲げる

極北 北緯五〇度五五分（千島阿頼度島北端）

極南 同二一度四五分（臺灣七星岩南端）

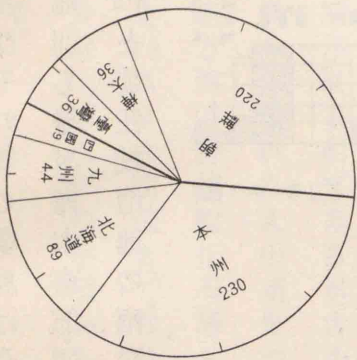
極東 東經一五六度三〇分（千島占守島小泊崎）

極西 同一九度一八分（臺灣澎湖島花嶼西端）

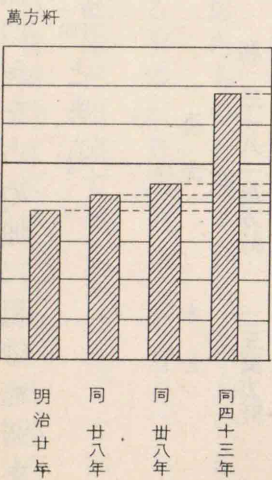
關東州・南洋委任統治地を加へて四極を示せば極東一七二度七分（ミレ島東端）極南北緯一度四分（グリニチ島南端）となり、北と西の極點には變化がない。

位置の表は、上方の位置に對し、經緯度の關係を二方的に位置する。

我が國各地面積比較表
(單位：千方料)



國土の擴大

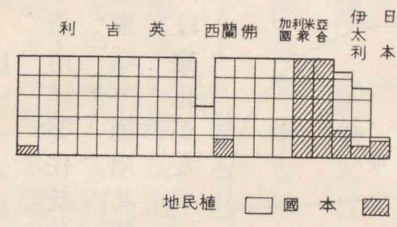


面積 六七萬餘方料（約四萬三千七百餘方里）で本土（内地）即ち本州・四國・九州・北

3略は三頁の
挿圖を参照
する意味を
以下に示す
この外に南
東の所管南
滿洲鐵道附
屬地あり。

海道及びそれ等の屬島は全面積の五六%を明治以後擴大した
植民地即ち臺灣・樺太南部・朝鮮は四四%を占め、他に租借地關東
州三萬七千と委任統治地の南洋諸島六萬二千とある。

列強國の面積比較



國名	本土 (方千米)	植民地 (方千米)	合計 (方千米)
日本	380,000	2,500,000	2,880,000
伊太利	310,000	770,000	1,080,000
亞米利加合衆國	3,770,000	956,000	4,726,000
佛蘭西	550,000	1,330,000	1,880,000
英吉利	2,500,000	1,310,000	3,810,000
利吉	670,000	230,000	900,000

本土は之を五大強國のそれと比較するに亞米利加合衆國佛
蘭西に次ぎて第三位を占めて居ることとなる。

第二節 地形

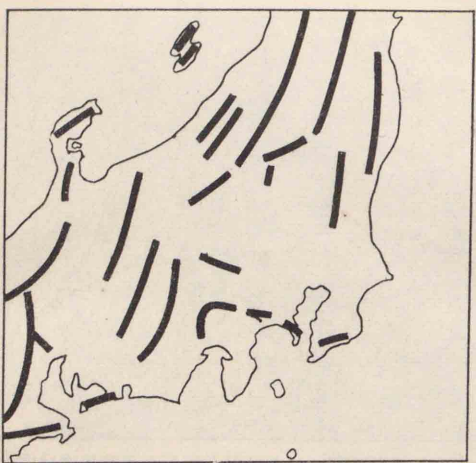
概説 日本列島は亞細亞大陸の縁邊をなす大山系の一が海
上に横はつて居るもので、新しい地質時代に大陸から分離した
陸島である。

日本列島では石炭紀以前の化石は發見されぬから、その當時の大陸
との關係は不明であるが、古生代の終り頃には少くとも南日本は支那
の山脈から續いた大山系をつくつて居たものと思はれる。中生代に
は大陸方面の含植物化石層と類似せるものが日本列島にも發見され
るから、列島は大陸續きて、當時日本海は未だ出來て居なかつた。大陸
との分離は第三紀の中頃から最近の地質時代までに完成されたもの
である。

朝鮮半島は地質時代には支那本部と連續して居つたから、褶曲軸の

本の分類は、
邦火類に
分ては、山
次郎小に
新説が博
の文は、あ
る。説が土

中央日本の山脈



温泉 列島では那須鳥海兩火山脈に沿ふ北海道東北地方關東北部に最も多く、伊豆より越後に至る富士火山脈に沿ふ地帯、白山火山脈の

租借地關東州は長白山脈先端の半島部で丘陵起伏する準平原的山地である。
富士火山脈は南北二彎の會合點に當る一大裂帶に噴出し、こ

の他幾多の火山脈は列島の地質構造線に併行する。即ち北日本に千島・那須鳥海、南日本に乘鞍・白山・阿蘇霧島等の火山脈が共に環太平洋火山帶の一部を形成する。火山脈や裂線に沿ふて温泉も所々に湧出し、且つ不安定な地盤が多いから地震も頻發する。

しいが内帯は之に反する。一般に内帯には筑紫山脈・中國山脈¹²・飛驒山脈等多くは高原性であるが、外帯は九州山脈、四國山脈、赤石山脈等の壯年の山地に富む。



日本群島主要地體構造線

源田氏 / 中央線
小川氏 / 中央線
矢部氏 / 伊萬里松山線
赤魚川 / 靜岡構造線

白山脈(斷層)山脈が北々西—南々東に走つてゐる。

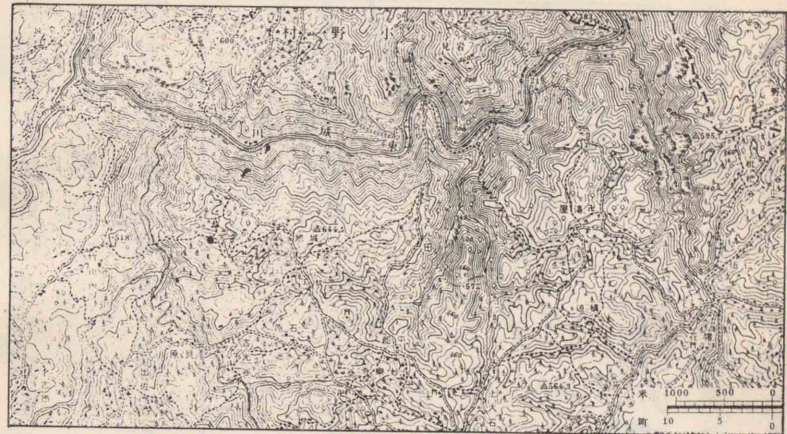
朝鮮半島は京元線の通ずる浸蝕谷に依つて之を南北に分ける事が出来る。北部には南西—北東の山脈があつて高原性の地形を呈し、南部には東岸に併行して大

走る北陸山陰及び阿蘇霧島兩火山脈地帯即ち九州の中部以南にも尠くない。

地震帯 我が國は環太平洋地震帯に當る。之を(1)日本列島の弧に沿ふものと(2)弧に直交又は斜交するものに分ける。(1)は本邦地震帯の主帯で外側地震帯と内側地震帯とから成り(2)は局部的のものである。¹⁴

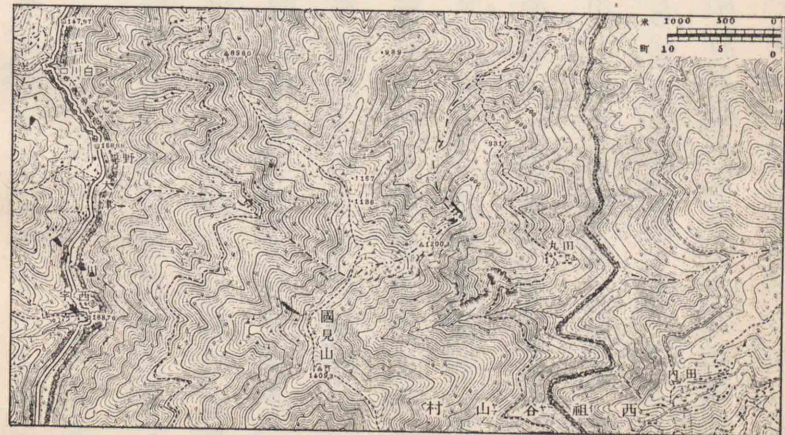
地震研究所及び震災豫防評議會 明治二十四年濃尾大地震の慘害に鑑み政府は翌年震災豫防調査會を設け、地震建築土木地質物理等各専門につき一流の學者を委員として、地震動の性質を闡明し、火山の調査を行ひ建築土木工事の耐震方法を攻究し、或は地震豫知問題に對して調査を進めて來た。そして時々調査成績を浩瀚な報告書に依つて發表し、地震に對する知識の向上耐震家屋の建築大地震に伴ふ火災の恐るべきことを唱導した事等大きな業績を残して居る。殊に大正十二年の關東大地震に伴ふ火災に關し、委員として更に電氣瓦斯水道消防等

(原平準の近附木油) 原 高 國 中



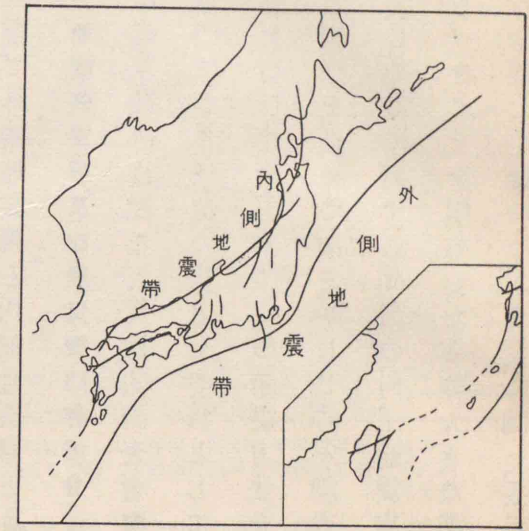
を谷いし著に面のこは川城東、れさ存保く好が原平準起隆は方地のこ
分のそに原高の米百六五てつ却、ずめ認を落聚と地耕はに底谷でん刻
。る見を布

(方地谷祖) 脈 山 國 四



。す示を形地的年壯で分部るす斷横を脈山國四が川谷祖流支のそや川野吉

我が國の地震地帯

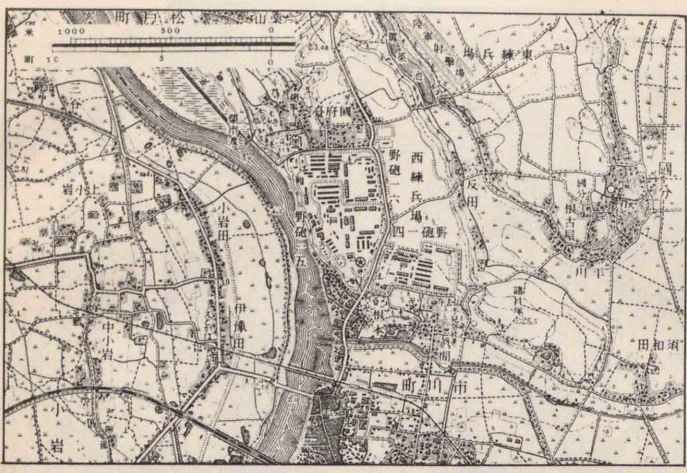


の専門家を加へて着々と調査を進めた。大正十四年よりこの事業は地震研究所と震災豫防評議會とが繼承することとなつた。

平野水系 日本列島は地形狭長、且つ山岳丘陵到る處に起伏するから平野の廣潤なるものは少い。比較的大きな河流に沿ふ關東濃尾越後

近畿筑紫臺灣石狩等の沖積平野が稍著れて居る。河川は地形の關係上短少で急流が多いから舟運の便少く且つ水害が多い¹⁶。然し雨量の多い事と相俟つて水力の利用には都合がよい。内地の河川には四百軒以上の長さのものはないが、朝鮮半島

關東平野の第一部



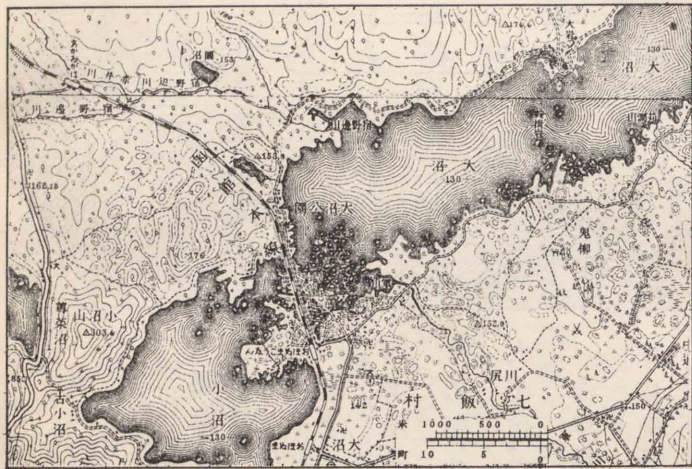
利根川・荒川・那珂川等の流域の大部を占める本邦第一の平野である。沖積層の平坦な低地と洪積層の波狀臺地とから成り、臺地は畑に低地は水田に利用される。

には西部に四、南部東部に各一を數へることが出來、舟楫の利は内地の河川よりは大である。それ等の流域には概ね若干の平野が展開して居る。

湖沼は面積の廣いものは少いが成因に依る種類多く、且つ何れも風景が好い。¹⁷

陸地測量部 我が參謀本部内の陸地測量部は軍用及び一般國民用として我が國及び東亞の地圖を製作する官衙である。其の業務を三角科地形科製圖科の三

大沼公園



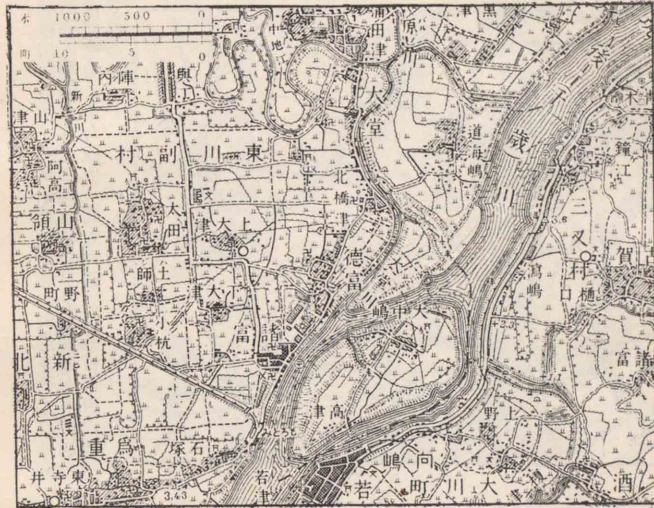
駒ヶ岳火山の噴出物で堰止めて出来たもの。沼の中の小島は皆火山噴出物である。

つに分ける。三角科では基線測量に依つて測量の基線を定め、三角測量で全国土を三角網を以て覆ひ、又水準測量に依り各地點の海面上の高距を求めぬ。

地形科は三角點水準原點を基準として地形測量を行ひ地形原圖を作り、製圖科はその原圖で製圖製版をなし地圖を完成する。

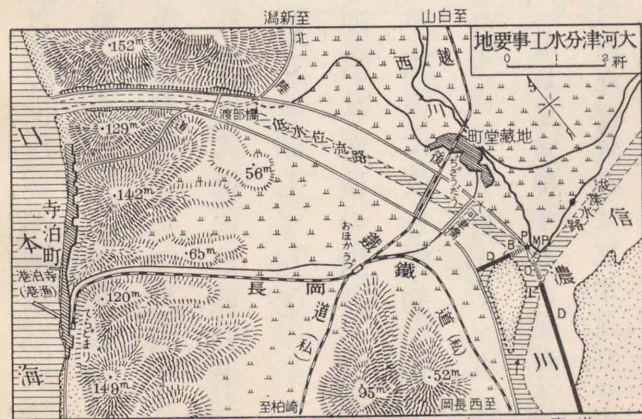
現今では本土を終つて臺灣樺太に着手中である。地形圖には一萬分一、二萬五千分一(舊製は二萬分一五萬分一等があり、其の他二

筑紫平野の一部



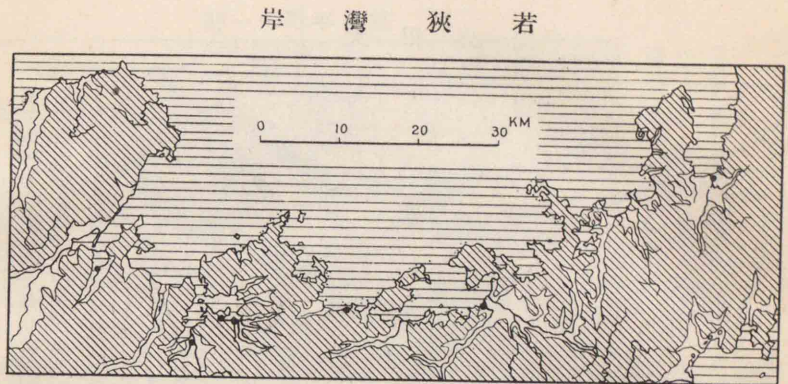
臺地の多い關東平野とは異つた景觀で水田が廣くついで居る。濃尾・越後・石狩等の諸平野もこれと同一形式である。

大河津分水工事



B 自在堰 L 關門
 D 固定堰 MP 大河津記念公園
 P 發電所(火力) O 洗堰
 國道
 縣道
 又ノニ準スルノ

十五年の日子と二百餘萬圓の國費縣費とを以て竣工した大工事で、このために下流の水害地は良田と化し、且つ新潟築港を容易ならしめた。



十萬分一帝國圖五十萬分一與地圖百萬分一
東亞輿地圖百萬分一萬國圖二百萬分一大日
本輿地圖等がある。

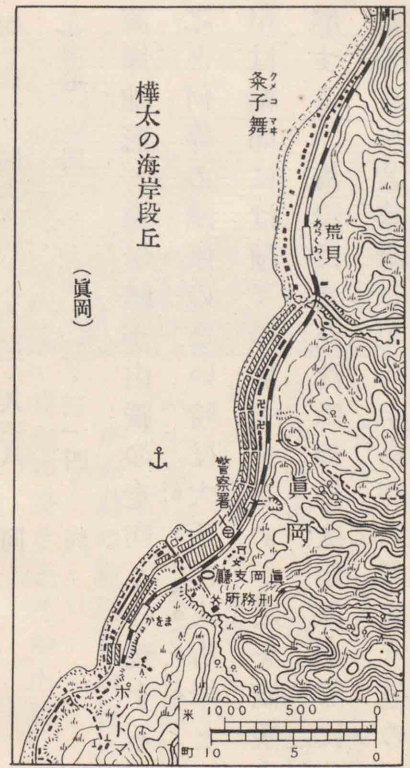
海岸・近海 我が國は海岸線の出入に
富んで居つて、これが我が國文化の發達
に資する處蓋し少くない。殊に九州北
西海岸・瀬戸内海沿岸・朝鮮半島南岸等は
その屈曲最も著しい。肢節量は概して
太平洋岸に大で日本海岸に小さい。

海岸線の發達を比較する方法の一つは海
岸線の長さとその土地と等面積を有する圓
の周圍の長さを比較するのである。我が
國五大島の海岸線の發達は次の如くなる。

九州	本地のみて	五・〇五三	屬島を併せて	一〇・一八二
本州	同	四・五七六	同	五・七八五
四國	同	三・八三八	同	五・五二一
北海道	同	二・三三四	同	二・四九五

海岸地形 海岸線が山脈の走向と一致する時は太平洋式海
岸・之と何等の關係のない時は大西洋式海岸と云ふ。我が國の
海岸は細部には種々の形式をなすが之を概観すれば太平洋式
に屬する。海岸はまた沈降海岸隆起海岸等に分類する。北上
山脈の東岸若狹灣岸¹⁸紀伊半島海岸豊後水道の兩岸等に發達す
るリアス海岸は沈降海岸に屬するが、多くは背面地域が狭少で
大きな港市は稀である。遠江海岸九十九里濱鹿島灘等は隆起
海岸の適例で、また北海道樺太等の海岸には段丘²⁰が好く發達し
て隆起海岸である事を物語つて居る。概して本邦は北方隆

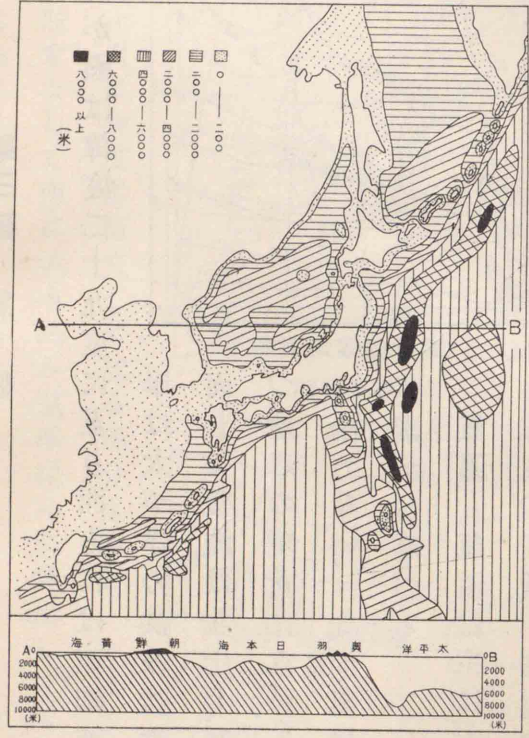
起著しく南方に行くに従つて沈降性で對馬から朝鮮西南岸に至つてその極大に達する。
我が國近海の海底を見ると陸棚即ち二百米より浅い海が好く發達する。今試みに海水面を低下すること二百米に及べば



日本列島は亞細亞大陸と接續し日本海は一大鹹湖と化するであらう。大洋の最深點は主に大陸に

接近して分布する。我が國の近海にもその例に洩れず海溝が横はつて居る。即ち東方海中には日本海溝南西海中には琉球海溝その南方には比律賓海溝がある。従つて太平洋側の海底は日本海側に比較して傾斜の急なことが知られる。

日本近海の深度及断面圖



海軍水路部 常に測量艦を派出して我が近海々々の深度・形状等の測量や海流潮汐等を調査し、それ等の資料に依つて航海に必要なる海圖を製作發賣し、水路部としての目的を充實する爲めに水路誌燈臺表航海年表潮汐表等を發行し、また毎月水路要報を發刊してその調査事實を發

表するので航海者は多大の便宜を得て居る。

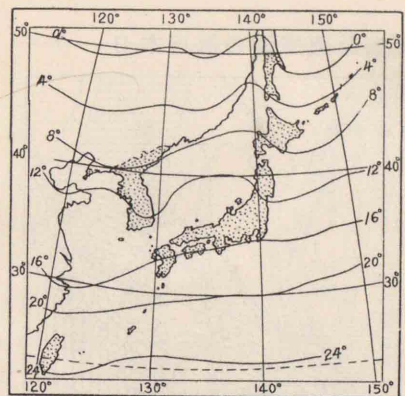
第三節 氣候

我が國は緯度二十九度に互り、西方には亞細亞大陸を控へ、東岸は太平洋の洪波に洗はれて居る。

而して暖流は北上し、寒流は南下し、且つ地形の變化に富むから、氣候は各地一様でない。先づ氣候を決定する各要素から述べる。

氣溫 氣溫は主に太陽熱に基くか

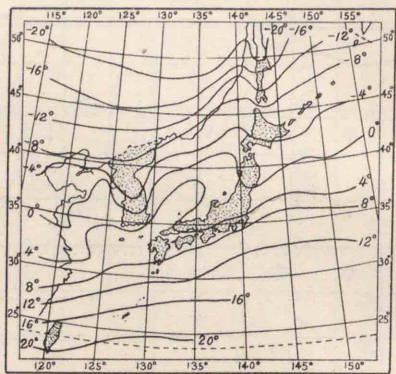
ら緯度の高低が主因で、その他、山脈の走向、水陸の分布、海流の種類、風向等に依つて各地その狀況を異にする。一年中で氣溫の最高は七八月、最低は一二月であり、年



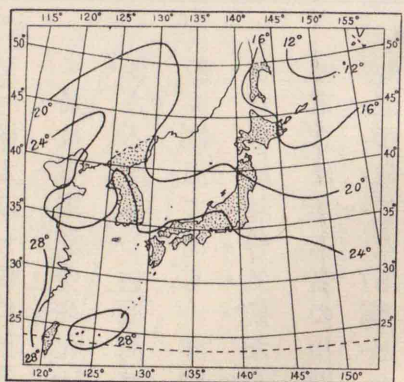
圖線溫等均平年

平均氣溫最高の地は臺灣恒春は年平均二四三度、最低の地は樺太敷香は年平均二〇二度であるが、本土は概ね中和を得て居る。

圖線溫等月一



圖線溫等月七



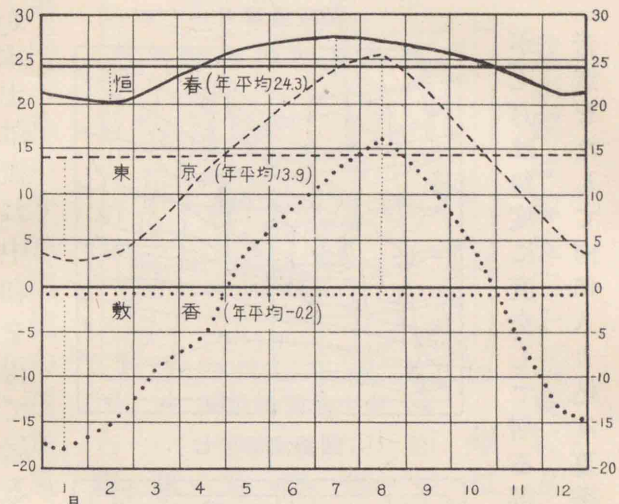
一月と七月の等溫線の配列を比較するに、一月は緯度に略平行して年平均等溫線圖に似て居る。

が、七月は緯度に直交して居る部分もある。また冬季は寒冷な部分が舌状をなして南に入り込み、夏季は北に突出して居る。冬季本州中部と北海道内部の著しく寒冷な事が目だつ。

二十四頁の圖により我が國南北兩端及び中央附近(恒春、敷香、東京の

(一)年平均温度及び其の一年間に於ける変化(二)夏及び冬に於ける温度の差を知る事が出来る。之によつて(三)我が國南北兩端地方の温度の差は夏の方冬よりも少きことが知られ又(三)樺太は一般に低温で而も一年間に於ける温度の變化大なるは寒帯氣候たるを示し(三)臺灣は之れに反し一般に高温で而も一年間の温度の變化小なるは熱帯氣候なることを示し、又(四)東京は前二者の中間の曲線を現はし、温帯氣候なることを示す。

气温比較圖

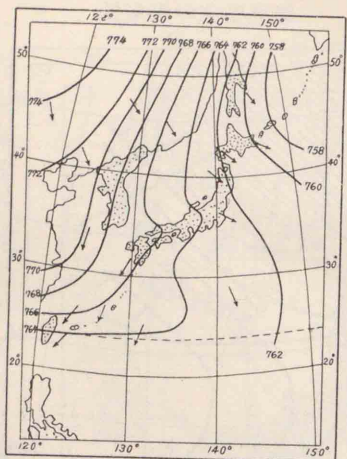


は高気圧となり、太平洋方面は之に比較して遙に気圧は低いが

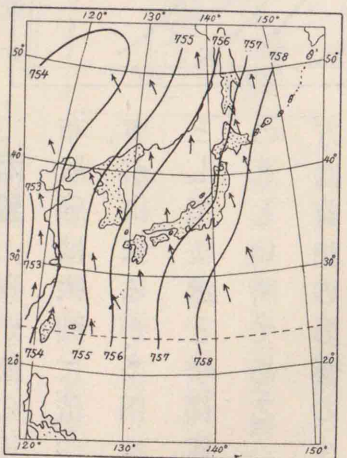
氣壓 冬季亞細亞大陸の内部

夏季は之と相反する。故に冬季には北西風、夏季には南東風が卓越し、風力は冬季の方強く、この二風の交代期は四月頃と九月頃である。即ち我が國は東亞の季節風帯に屬する。

一月等壓線と風向圖



七月等壓線と風向圖



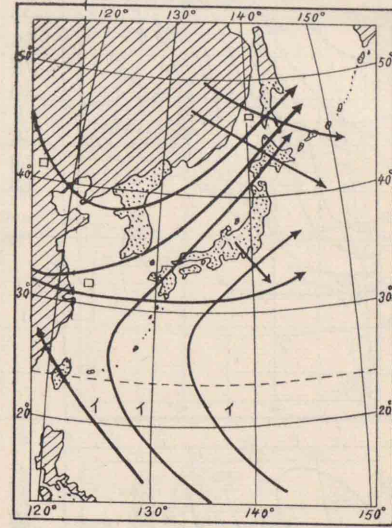
熱帯

地方に發生する低氣壓(我が國及び支那で

は颱風と云ふは臺灣の沖合又は小笠原諸島附近を經由して本土を襲ひ暴風と共に豪雨を伴ひ従つて洪水を起こす事もある。その襲來するのは主に夏季で殊に九月及び八月が最も多く、稻作の關係上二百十

日、二百二十日等は農家で特に警戒する。この外に大陸颶風といつてアジャ大陸に發生して冬から春にかけて主に裏日本を襲ふ低氣壓もあるがこれは日本海岸に暴風雪を伴ふ事が多い。

路進要主の壓氣低



雨量 我が國の雨量の分布状態は次圖に依つて知る事が出来るが、多雨地方は主として暖流と季節風の影響の著しい所である。寡雨地方は前記の影響の少ない所で、本土では瀬戸内海及中部

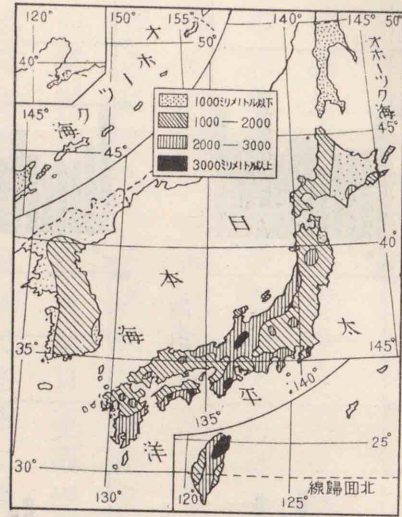
地方等の内陸と北海道樺太朝鮮等である。

次にその季節的分布を見るに、本土では海流、季節風の方向脊梁山脈の走向等により夏季は太平洋側、冬季は日本海側に雨量

* 台湾北部の雨季は冬季である。

を多からしめる。また朝鮮樺太南部及臺灣南部は夏が雨季で冬が乾季である。

圖布分量雨



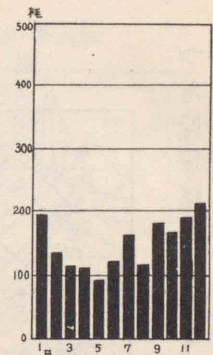
つた低氣壓が東進して本土を襲ふ。此の頃北太平洋上の大高氣壓はベーリング海の融氷によつて活氣付けられた千島海流の洗ふ北海道・奥羽地方沖合に擴大して来る。而してこの高氣壓は頻繁に東進する低氣壓を停滯せしめ、又は寒冷なる千島寒流上の空氣は本土の溫暖な

梅雨 北海道と琉球を除

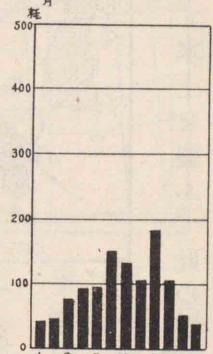
いた本土と朝鮮南部では六月の中旬から約一ヶ月の間は雨勝な所謂梅雨氣候となる。これは太陽の北進と共に日射が強くなり支那の揚子江流域又は臺灣附近に起

空氣の底部に楔狀に突入して之を上昇せしめてこゝに陰鬱な天氣が生ずるのである。

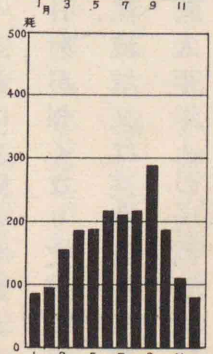
新潟



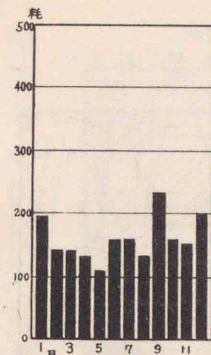
松本



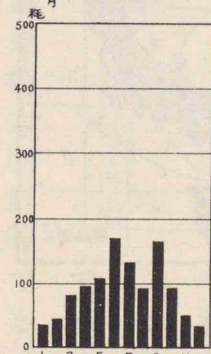
沼津



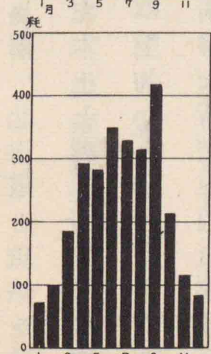
境



岡山



高知



各地の雨量型

氣候

緯線に依つて寒・温・熱の三帯を分けると、我が國は臺灣

の中央以南が僅に熱帯に入るのみで、残る大部分は北温帯に屬する。又年平均等温線を基とし、其の攝氏二十度以上の地を熱帯零度以下の地を寒帯とし、その中間を温帯とすれば、奄美大島及小笠原諸島以南は熱帯、樺太の北東部は僅に寒帯となるが、残る國土の大部分は温帯氣候である。

我が國の大部分は海洋性氣候であるが、朝鮮、樺太の北部及關東州に到るに従つて次第に大陸性氣候となる。

本土の氣候は又これを表日本(海洋性氣候で夏季に降水量が多い)、裏日本(海洋性氣候で冬季に降水量が多い)に二大別し、更に内帯、瀬戸内海斜面から信飛高原を経て關東、北部地方に到る地域で稍大陸性で降水量が少い)の氣候區を認めることが出来る。

委任統治地南洋諸島の氣候は全く熱帯性であるが、海洋の影

響を受け年中約二十七度の気温を保ち雨量は年總量約三千耗である。

測候所 我が國では氣象觀測の爲め全國を九氣象區に分ち各區に多數の測候所を設けて居る。そして天氣の状態を中央氣象臺に毎日電報させ、その資料で天氣圖を作つて天氣を豫報し、暴風雨襲來の虞れある時は暴風雨警報を發する。神戸には海洋氣象臺があつて、主として海洋の氣象を調査し、又天氣圖をつくり天氣豫報暴風雨警報を發する。茨城縣下土浦附近には高層氣象臺があつて高層の氣象を調査する。其の他各地に高所氣象の觀測所(筑波山・伊吹山・温泉岳等)も漸次設立せられて、高層氣象研究もその歩をすゝめ天氣豫報の適中率も次第に増加して來た。

神宮神部署カニベから年々頒布する本曆には我が國の氣候に關する多くの資料が載せてある。

附 地理區

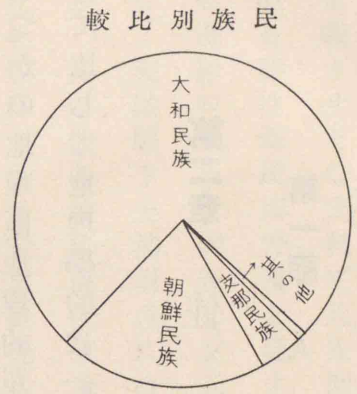
地形・氣候を主とし之に人文上の各要素を參酌して我が國を幾つかの地理區(地理的單元)に分てば、研究と教授上、府縣別地方別に比して地理學的に一層有意義である。

第二章 住民

第一節 人種

我が國民を人種上より分類すると亞細亞人種(大和民族朝鮮民族支那民族アイヌ族オロツコ族ギリヤク族)が主で、其の他は少數の馬來族(高砂族)・ミクロネシヤ族歐羅巴人種(小笠原歸化人)等である。

大和民族は主として本土に住み人口約六千萬、總人口の七割餘を占め、國民の中堅を形成する。その他朝鮮民族約二千萬、臺灣の支那民族約四百萬の外は少數である。



大和民族がこの國土を占める以前の原住民は蓋しアイヌ族で、性慥悍王師に抗したが、次第に壓迫され大部分は大和民族に同化混血し、現今は僅かに餘喘を北方の地に保ち従順な國民の一部を形成して居る。また一方大陸から支那人、朝鮮人の歸化も斷えず行はれたが、アイヌ族と同様に同化されて共に優良な大和民族となつた。

國家が多く、異民族を包括するとき、その統治宜しきを得ないか、主要民族の態度よろしくない時は國內に不安を惹起し、遂に國家の分裂を來すことさへある。(例、元のオーストリア、ハン

*其の國の地形、氣候、歴史等に左右されることが多い。



朝鮮民族 大和民族よりは身長が高い。衣服には白地が多く用ゐられるので女は洗濯に忙がしい。食物は米を主食とし又麥・粟等を用ゐる。家屋は木造の平屋建て、外壁は土と石とを混じて塗つたものが多い。冬季には温突を用ゐて暖を探る。

夫農と屋家の人鮮朝

ガリーヤ、ロシアの如く。我が國は維新以來國土の膨脹と共に朝鮮民族、支那民族、馬來民族等を新に加へたから、大和民族はこれ等の民族との融和に努めねばならぬ。

國家の盛衰は其の國民性の良否に左右せらるゝことが多い。

我が大和民族は古來忠君愛國の念に富み、一致團結の心堅く、尙武進取の氣象を有し、又淡泊で美術に長じ、自然を愛する。

人口の疎密を異にする原因
 一、自然的
 位置・地勢・気候・地味・地産
 二、人為的
 政治・経済・民族等

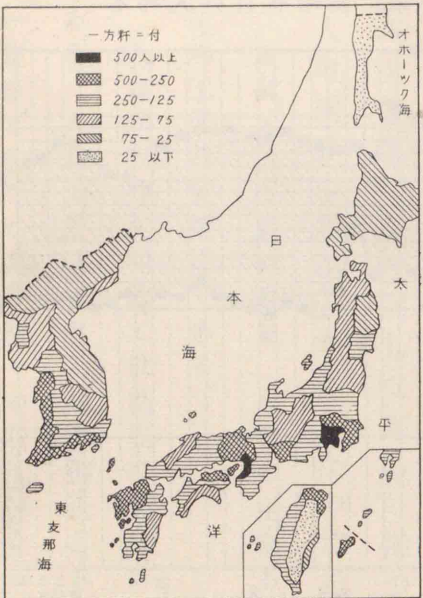
五%に當る。總人口の比較では英吉利・支那・露西亞・亞米利加合衆國・佛蘭西に次いで世界第六位となり、單に本土ばかりの比較をとれば第四位を占める。その密度は全國では一方籽百三十四人となるが本土は約百六十九人、朝鮮約九十五人、臺灣百二十八人、樺太八人の割で、樺太を除いた外は世界屈指の密度を有することになる。

本土の密度を各國と比較すると白耳義和蘭英吉利に次いで世界第四位となり、亞米利加合衆國の約十倍、ブラジルの約三十餘倍となる。

白耳義和蘭等は平原國で、イギリス本國も亦割合に廣い平原を有して居るが、我が國は國土の大部分に山岳重疊して平原は極めて狭い。故に平原地方の人口密度を比較すれば、我が國は前記各國に比して却つて優つて居る。

分布 人口の分布は自然と人文とに左右されて各地一様ではない。樺太・北海道・朝鮮・東北部等は人口の最も稀薄な地方で、關東・近畿は最も稠密な地方である。

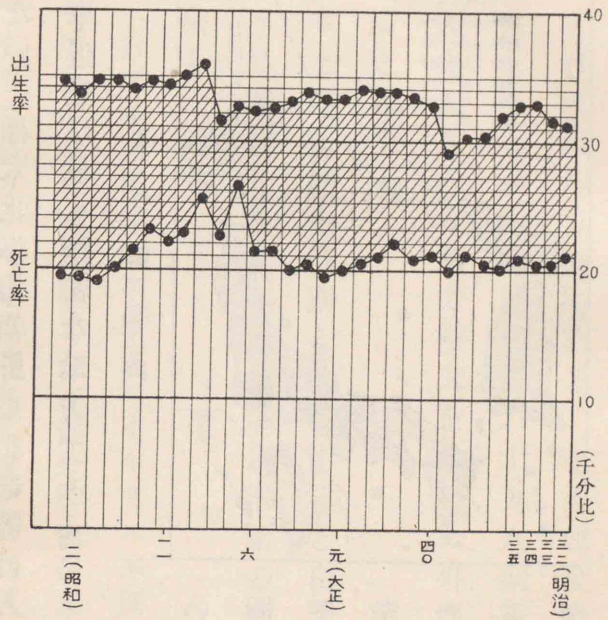
人口密度圖



本土で人口密度の大きいのは東京・大阪・神奈川・福岡・愛知等の府縣で、何れも肥沃な平野を占め、古來産業・交通・文化の良く發達した地方である。これに反し人口稀薄なるはその地理的環境が前者に劣つて居た地方、即ち北海道・岩手・秋田・青森等の東北地方、宮崎・高知等の西南地方で、朝鮮の西南部・臺灣の西部よりも密度が小である。

朝鮮は鴨綠江下流から慶尙南道の迎日灣附近に引いた一線で之を二分すると、西南部は東北部に比べて人口稠密で、この密

(土本) 加増然自口人邦本



我が國の人口増加	萬
明治十年	三四六三
同二十年	三九〇七
同三十年	四三二三
同四十年	五一八四
大正六年	七六三五
大正九年	七六九九
大正十四年	八三四六
昭和五年	九〇四〇

度は三五と一との比となる。この西南部は表朝鮮と云つて人

文が良く發達して居る。臺灣では面積の約半分を占むる蕃界は人口極めて疎であるが、西部平野には密である。

増加 我が國の人口は國土の膨脹と人口の自然増加とに依つて急激に増加した。最近本土の人口増加率は一・四％餘で年々八十餘萬づつ増加して來る。従つて、我が國の人口問題は過剩人口處分の問題が中心となつてゐる。

過剩人口の處分對策 今日の主なる意見は、(1)對内移住及び對外移住、(2)工業の獎勵等である。

人口調査は文明國では精密に行はれるが、未開國では未だ不正確である。人口調査は別名を國勢調査とも云ふ。これ人口は國家組織の一要素であつて其の種々の狀況男女年齢職業結婚出生死亡移住等を調査することは一國の國勢と重大なる關係があるからである。我が國では從來人口調査が不充分であつたが、大正九年(西曆一九二〇年)か

ら五年毎に調査を行ふことになつた。

移住 移住には時間的に云へば(1)一時的移住と(2)永久的移住とがあり、場所的には(三)對内移住(植民)と、(三)對外移住(移民)とがある。

一時的移住の一例として季節的移住がある。それは(a)耕地の乏しい山地(b)冬季戶外労働に適應せぬ地(c)人口が著しく稠密の土地等から季節的に他地方に出稼するもので主として近距離への人口移動である。

我が國の對内移住の狀況を見ると、本州・四國・九州は人口が密であるから、北海道・樺太・朝鮮・臺灣等に移住するものもあるが、未だ盛ではない。

北海道 道廳がその開拓に努力し、内地からの移住を奨励して居るが、年々數萬の移住者があるばかりである。しかし人口

密度は本州・四國・九州の七分の一に過ぎないから、現在の人口二百八十萬人に數倍する人口を容れる餘地がある。

樺太 土地北に偏して氣候上の缺點はあるが、水産業・林業・鑛業等が有望で、原住民が少數であるから、移住上の利點もある。しかも移民地の中、最も開拓が進まないで、現在人口、内地人僅に三十萬人。面積は九州・臺灣に匹敵するのであるが、氣候の關係上、農業が他の植民地程行はれず、主として漁業と林業に依るので、北海道程の比例には居住は出来ないが、尙ほ移住の餘地がある。

臺灣 領臺以來三十餘年、而も内地人の移住は約二十萬人に過ぎない。それは氣候上の缺點と、在來の人口が密なからである。故にこの島は移住植民地としては適しない。内地人は主に都市に住み、公務・商工業に従事して居る。臺東平野には近年

内地から移住して農業を営むものが出来た。
朝鮮 人口密度は内地の半に當る。

併合以來内地人の移住者僅に四十餘萬人、臺灣移住内地人と同様な生活状態である。東洋拓殖株式會社はその事業の一部として、内地人の移住を保護奨励して居る。近年は却て朝鮮人の内地出稼が非常な勢を以て増加し、その労働賃銀の低廉と従順なる事は傭主に喜ばれる。

又朝鮮人は滿洲等にも多く移住して居る。
その他關東州に約十萬、南洋委任統治地に約七千餘の内地人が居る。

次に我が國民の對外移住の趨勢を見ると、内地人の外國にあるもの七十餘萬人で、十年前に比べて僅に二十萬人の増加に過ぎない。主な移住地は支那南東アジア海峽植民地、ジャバ、比律賓等、布哇亞米利加

在外本邦人

昭和三年
十月一日

總數 七二

(單位一萬人
男四二女三〇)

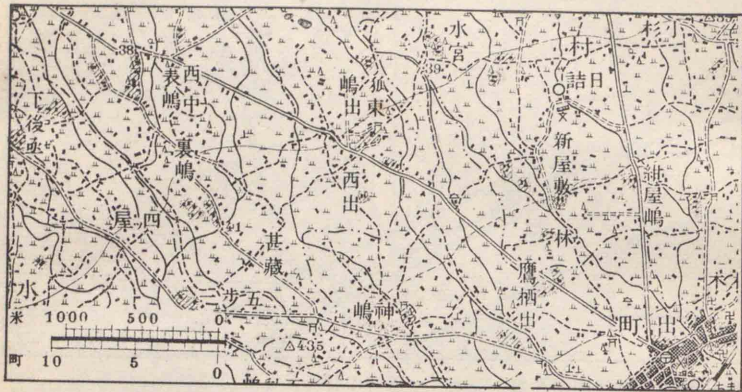
主なる移住地

亞細亞洲	三〇
關東州	一〇・一
支那	一五・九
南東アジア	三・七
北亞米利加洲	一七
アメリカ合衆國	一四・二
加奈陀	二・三
南亞米利加洲	九・八
伯刺西爾	七・六
秘露	一・七
太平洋洲	一四・七
帝國委任統治地	一・二
布哇	一三・一

合衆國、ブラジル等で、大部分は農商業に従事して居るが移住後、日なほ淺く、且つ資本も乏しいので、經濟上の地位は未だ高くない。殊に北米、濠洲等では有色人種の來住を拒否して居り、支那南洋地方は低廉な労働者が得易いので、それ等の障害を排除して發展するには大きな努力を要する。

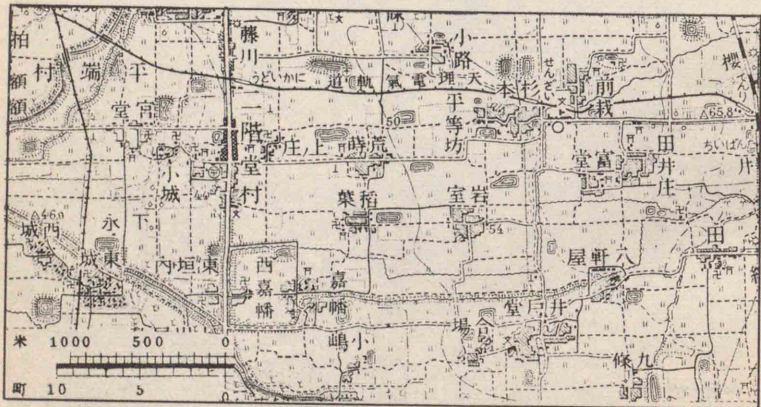
人口の稠密とその増加の急速なことは、海外發展の必要を痛感させる。然し歐洲人、支那人等に

(野平中越) 村 散



。る居てし布分が家農立孤く如の圖上はに野平積沖の川部矢小・川庄

(地盆良奈) 村 集



東は路道で響影の制里條。るあで村集どん殆は態形落村の地盆良奈
。るあでせ合組の北南・西

比べて我が國人は郷土に執着して海外に出る事を好まぬ風がある。これは(1)風土の和順土地の豊饒なため、今迄は生活上多大の壓迫を被らなかつたこと、(2)古來農を主産業とするため土地に對する執着心が強いこと、(3)國民の海外知識の淺薄なこと等に依る。教育者はこの點に鑑み、海外知識の普及につとめ、好んで海外に活動する有爲な人物の養成に努力せねばならぬ。

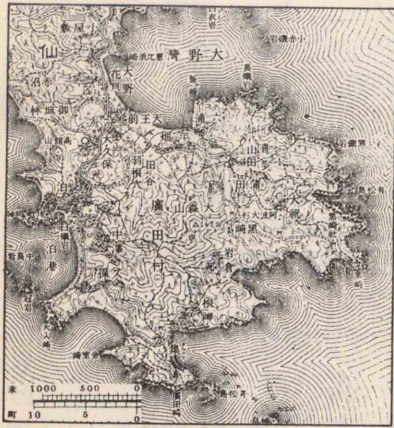
本土の在留外人三萬餘、支那人を主とし、英米人之に次ぐ。主に東京及び開港場に居住し、商業を營むものが最も多い。

臺灣(外國人三萬人)と朝鮮(外國人五萬人)の在留外人も主に支那人である。

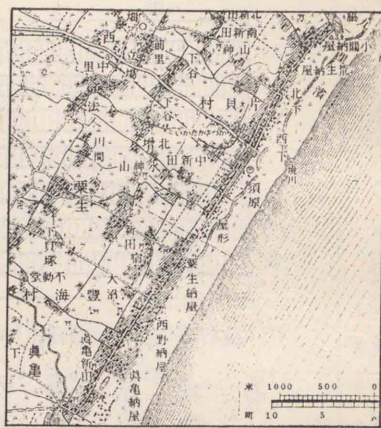
第三節 聚 落

人は概ね相集つて生活し、其の集合の小さいものを村落と云ふ、大きいものを都市と云ふ。

(郡仙氣縣手岩) 村 漁



(濱里九十九縣葉千) 村 漁

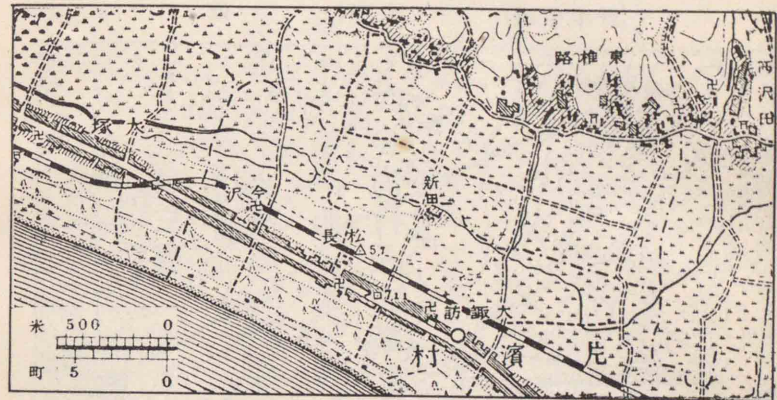


よせ照對をと村漁たし達發に濱岩い多の曲屈と村漁たし達發に濱砂な直平

村落 その分布は地形水利等に左右されるものが多い。我が國は人口密度が大で平野山地海岸等到處に分布し、住民はそれぞれ環境に應じて農牧林漁業等に從事して居る。村落發生年代は氏神の創建年代に依つて知る事の出来る場合が多い。

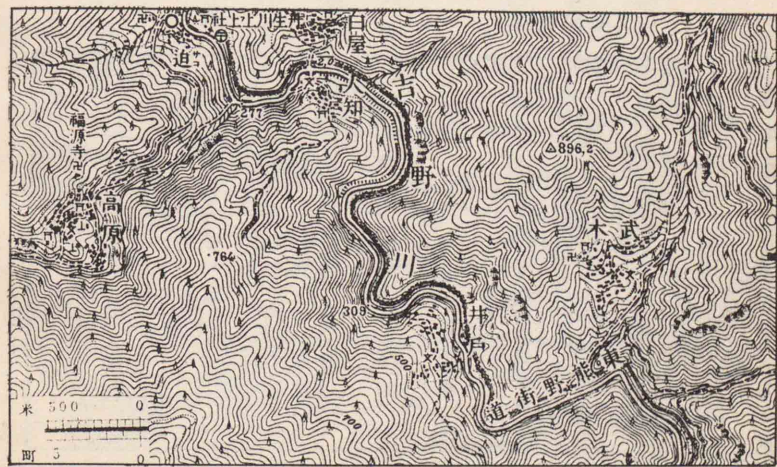
村落の形態には散村集村街村鏈村等の別があり、また民家の構造にも地方毎に特色を有するものが尠くない。

(近附頭灣河駿) 村 街



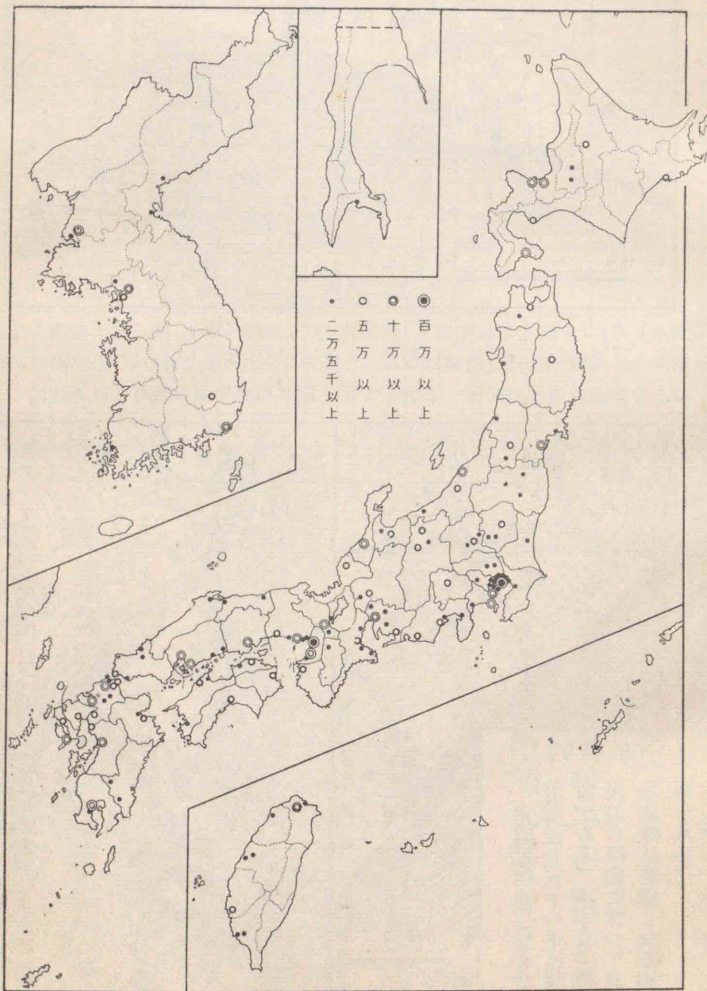
松の丘砂は間のと海と道國、で部一の村街たし達發てつ沿に道海東。る居てし達發が落聚麓山はに麓山鷹愛方北。るす培栽を等桃で原

(郡野吉國和大) 村 山

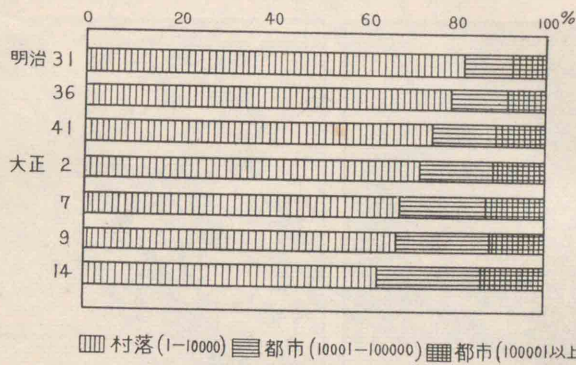


附地宅はてしと地耕、れま園に林密の杉。るあで村山は等原高・木武。る居てん營を活生てつ依に業林ら専、でみのるあが畑にか僅に近

都 市 分 布 圖



(土本) 較比口人の落村と市都



から江戸時代の初期に城下町として発達したもので明治維新

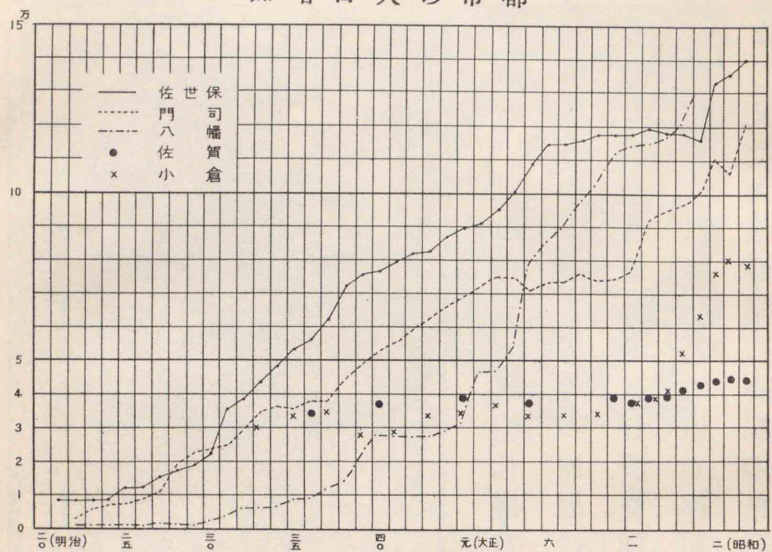
る。本土の都市の多くは室町時代の末から江戸時代の初期に城下町として発達したもので明治維新

我が國現今の重要問題となつて來た。

都市 本土に於て市制を施行せる都市は百九を數へその分布は人口分布と略一致して居る。人口十萬以上の都市は本土に二十八、新領土に四京城、釜山、平壤、臺北)ある。その中大阪、東京、名古屋、京都、神戸、横濱を六大都市と云ひ本土人口の約一二%を占めてゐる。

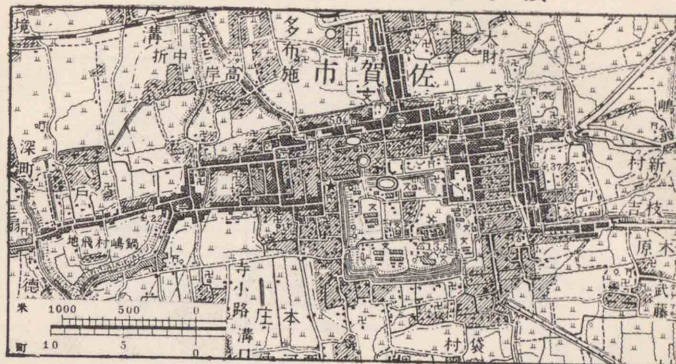
人口の都市集中は晩近世界の趨勢で我が國もこの例に洩れない。都市の發展と共に農村は衰微して來る傾向が顯著なもので農村振興は

加増口人の市都

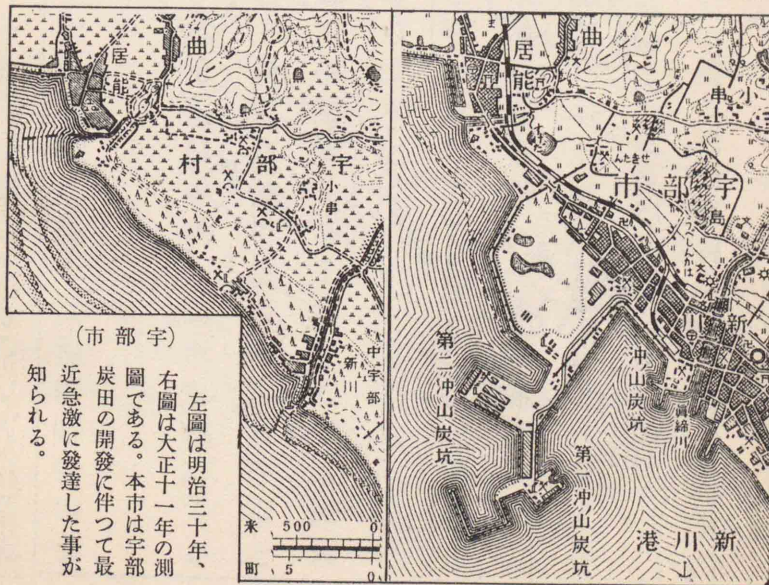


の廢藩置縣と共に大部分は一旦衰微した。然し中には地方廳兵營學校等の所在地(仙臺金澤廣島熊本等)となり又は新に商工業を興して(和歌山小倉等)その衰運を挽回したのも多い。古くから市場町(四日市等)又は港町(堺尾道下關等)として發達したのもあるが、又貿易港(神戸横濱等)や工業都市(八幡戸畑等)鑛業都市(天牟田宇部夕張等)として明治以來急激に發展

(市賀佐) 例一の町下城



の街市りあが(分部るな疎の家人)敷屋族士でん園を(城平)城、町下城舊の氏島鍋敷屋族士、區校學衛官は内城は在現。たつあが(分部るな密の家人)家町はに部北。よせ意注に曲屈の路街。る居てつなと區業商が分部の家町で區宅住はく多は



(市部宇)
左圖は明治三十年、右圖は大正十一年の測圖である。本市は宇部炭田の開發に伴つて最近急激に發達した事が知られる。

札幌市街



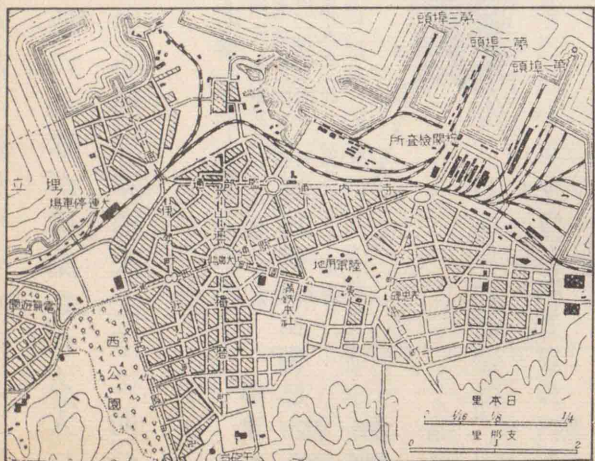
した都市も尠くない。東海道や中山道の宿場町は旅人の往來で繁榮したが鐵道開通の爲めその多くは急に衰へた之に反し交通の要衝となつて發達したものの門司・青森

等もある。その外地方政治札幌宮崎社寺(宇治山田長野保養別府湘南地方の保養地等々の原因によつて發達した都市もある。市街の形態は地形沿革經濟交通路等に左右されて一様でない。町割も京都及び北海道の都市に見る様に碁盤目形(直交式)をなし又は大連の様に蜘蛛の巢形(放射同心圓式)のものもある。

都市の垂直的發達の一例
(東京日本橋附近)



大連市街

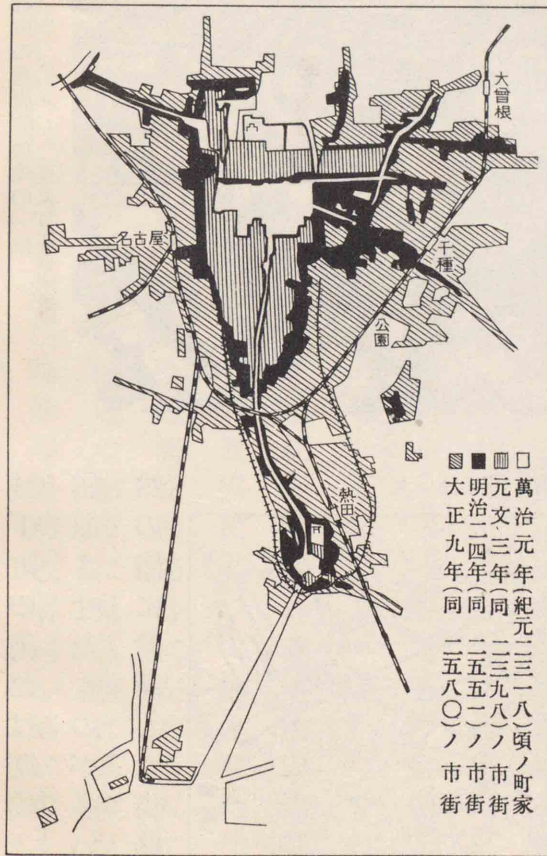


規則を免れな

城下町の街路は防備上から特に屈曲させたものが多い。然も自然の儘に發達した街路は概ね不

都市計法第11条に於て、都市計画区域の指定は、都市の発展に必要と認めらるる区域に於て、市長の申請に基づき、市長の裁量により、指定するものとす。又、都市計画区域の指定は、都市の発展に必要と認めらるる区域に於て、市長の申請に基づき、市長の裁量により、指定するものとす。

(市屋古名) 例一の達發的平水の市都



都市が發達すると次第に其の外方に擴がつて面積が大きくなる(水平的發達)と共に、市街の空地に人家が建築される(人口密度の増加)。地面に限ある都市の中心部では漸次上空に向つて垂直的に發達する。

都市計畫
都市の
膨脹發
達によ
つて必
然的に
生じて
來る害
惡疾病

不安等を除いて、其の齎らす利益を充分に享受する設備を施行する事を都市計畫と云ふ。即ち市街に地域制商業地域工業地域住宅地域混合地域を施行し、交通衛生公園運動場上下水道保安經濟等に關して適當な設備をするにある。我が國の各都市は現今その調査施設に努めて居るものが多い。「都市計畫法」「同施行令」「市街地建築物法」「同施行法」「同施行規則」等参照

田園都市 (Garden City) 都市的生活を田園の自然的環境の下に營まうとすることを目的として起つた都市である。我が國には純粹の田園都市は未だ設けられぬが、これに似たものが大都市の近郊に發達した。

段により人類の文化を分けて(1)漁獵時代(2)牧畜時代(3)農業時代(4)農工時代(5)農工商時代とすることがある。この他に種々の分類法がある。本邦では(1)から直ちに(3)となり、その間に牧畜時代をば認められない。我が國は今なほ農を主産業として居るが、近年商工業が著しく盛大になつて來た。

第二 農業

沿革 本邦は古來農を以て立國の本とし、神代から既に農耕が營まれて居た事は史實に徴して明かである。そして歴代の天皇も勸農に大御心を注がせ給ひ、斯業も漸次進歩發達するに至つた。殊に徳川時代には斯業を保護獎勵したので、耕地面積も増加し、耕作の方法も進歩した。各地の重要農産中で此の時代に勃興したものが多いは、各藩

輸入より経済的故に
今も 穀類は多し
のみ。

一五度レ二十度の傾斜
が耕作地として居る
地にもっと上の所は
耕じもしくはぬ
所もある。
傾斜の内海の島は

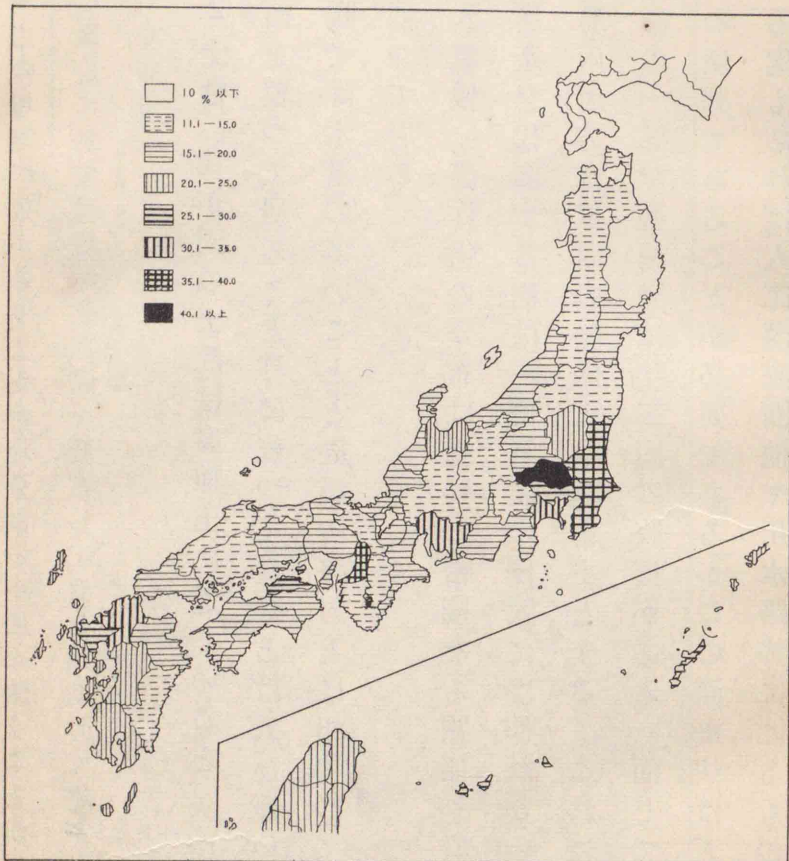
の勸業その宜しきを得た爲である。即ち甘藷棉を始め薩摩の煙草讚岐の甘藷阿波の藍紀州の蜜柑筑後の櫛等の耕作は徳川時代に勃興した主なる産業である。明治維新以來種々の新しい農政上の施設と、一般經濟界の發達とにつれ特に急激な進歩を見るに至つた。

農業と自然との關係 (1)地形 本邦は國土狭少、且つ山岳丘陵

到る處に起伏するから農耕に適する平地や緩斜地が狭い。古來農業の發達せる本州・四國・九州及び朝鮮では平地緩斜地は殆んど耕地と化して居る。即ち大は關東越後濃尾筑紫の海岸平野、京都奈良等の盆地より、小は山間の氾濫原や高原上の小平地に到る迄殆んど耕しつくされ、剩へ傾斜二十度に及ぶ斜面さへも耕地となつて居る處が尠くない。耕地の中、臺地で灌溉の便の少い處又は緩斜地は主に畑に利用され、低地は主に水田となつて居る。

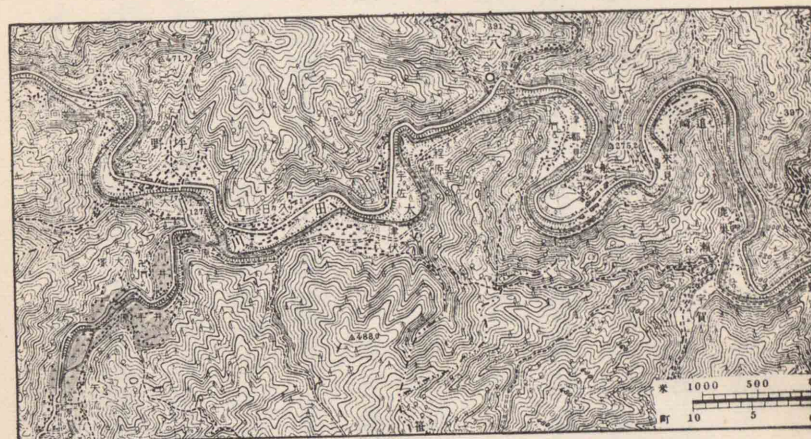
米 日 英 白 佛 伊 獨 丁 比 全
 國 本 吉 耳 蘭 太 逸 抹 率 面
 (利 義 西 利 耕 積
 一 本 二 四 四 四 五 地 積
 四 六 七 五 〇 二 三 四 九 % 對

合割の地耕るす對に積面

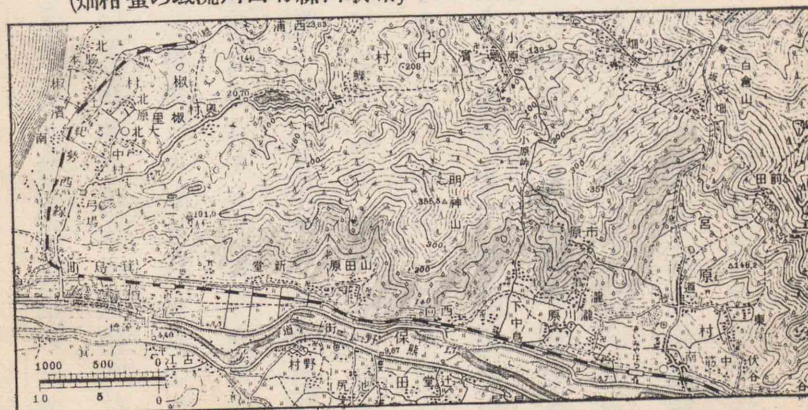


に土地を
 費す事が
 少くない。
 故に區劃
 を大きく
 して形状
 を正し、排
 水灌漑を
 便利にす
 れば、耕地
 面積を幾
 分増加す
 ると共に

(域流川田太縣島廣) 地耕の上原濫氾



(如柑蜜の域流川田有縣山歌和) 例一の地耕たし達發に地斜傾



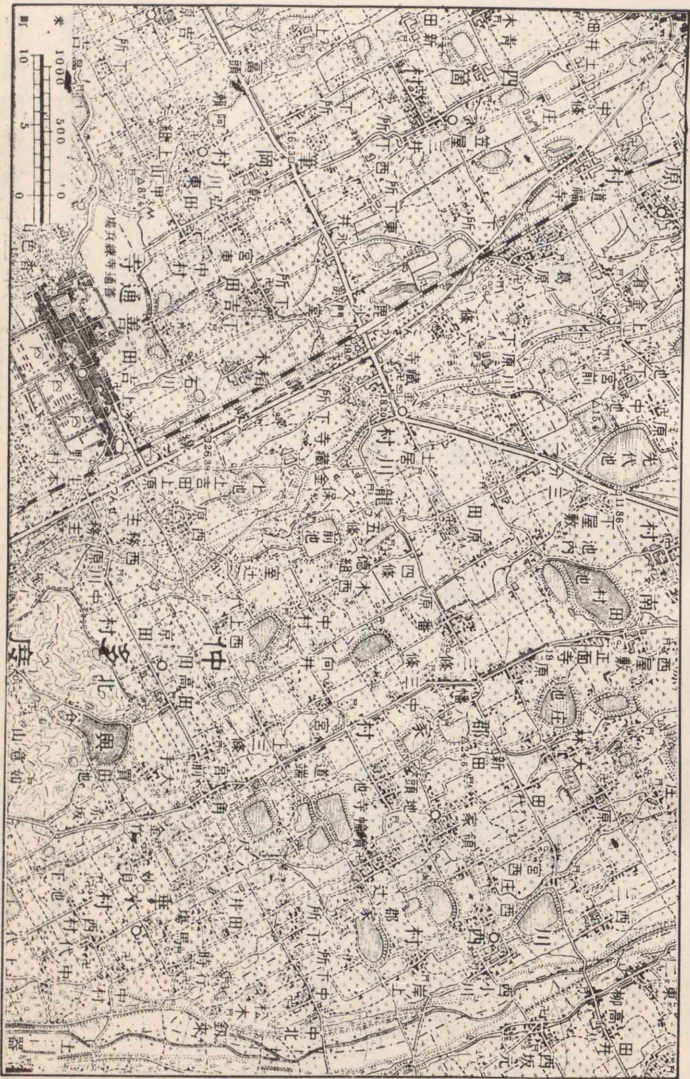
耕地整
 理 内地
 は耕地の
 區劃が極
 めて小さ
 く形状も
 上古に條
 里を施し
 た場所の
 外は、不規
 則な處が
 多くて畦
 畔のため

地力の増進に效があり、また耕地分散の不便を除くことが出来る。現に政府に於ては、耕地整理法を發布し、工費を補助して之が助長をはかつて居る。

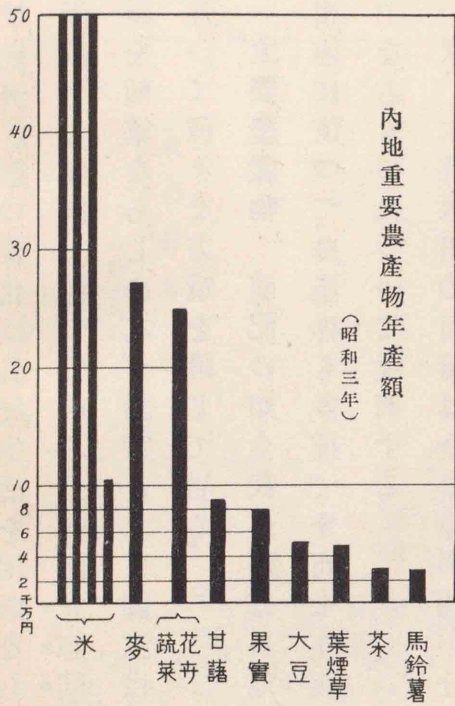
(2) 土性 我が國の土性は腐植土に乏しいこと、火山灰が廣い地面を覆つて居ること等に依つて良好とは云ひ難いが、氣候が溫暖で降水量の多いことと、農民の努力とは相俟つてこの缺點を補つて居る。

(3) 氣候 農作物の分布は氣候と密接なる關係を有する。本邦農産を代表する稻は寒帶氣候の樺太には作れないし、北海道奥羽兩地方は氣溫の關係上早稻を主とする。これに反して高知縣の一部や臺灣では年二回の收穫がある。而して何れも灌溉の便利であることが必要であるが、この灌溉法は天水のみに依る處もあれば、人工灌溉(溜池や用水路等)によるものもある。

灌溉の圖四



農家一戸當り耕地
 米國 三〇
 大ブリテン 一七
 フライツス 六

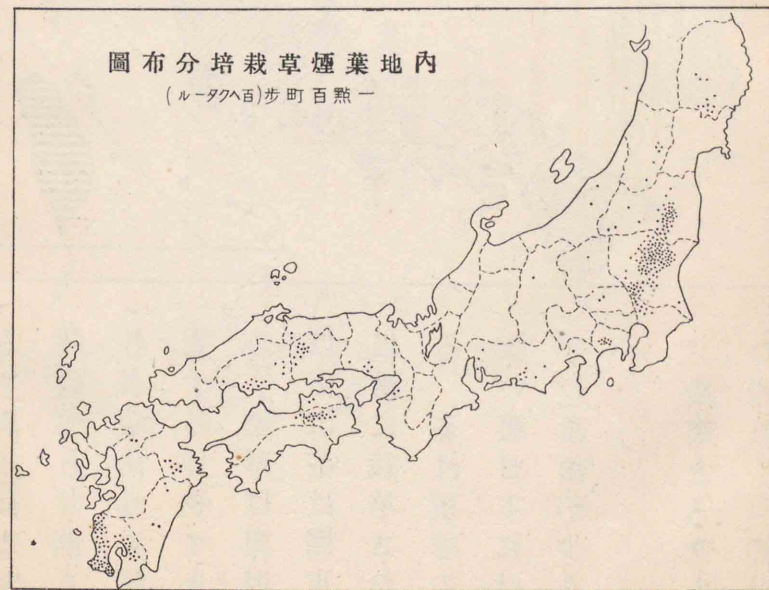


以前に耕作した綿は輸入綿に壓せられて今は殆んど姿をかく

變革を及ぼし、維新
 作物の栽培に一大
 交通の發達は農
 來る。
 幾分か補ふことが出
 れるので、其の不足を
 南では二毛作が行は
 が、氣候溫和な中部以

(米國・ロシア等我が國やベルギー・オランダ等は之に反して農法が精緻
 で、面積に比較して收穫の多い集約的農業が行はれる。但し北海道で
 は平均一戸當りの耕地は二ヘクタールで内地の地方よりは稍大規模
 である。一戸當り耕地を上欄の各國に比較すると我が國は甚だ少い

耕地に比して人口密度大
 であるから(内地では一農
 家當りの耕地は一ヘクタ
 ール(二町步餘)に過ぎない)
 従つて小農法により集約
 的農業が行はれる。
 農家戸數は内地にあつ
 ては總戸數の約五〇%(五
 五五萬戸朝鮮は七六%(二
 七五萬戸臺灣では總人口
 の五八%に當る。人口の
 割合に耕地の廣い處では
 粗放的農業が行はれるが

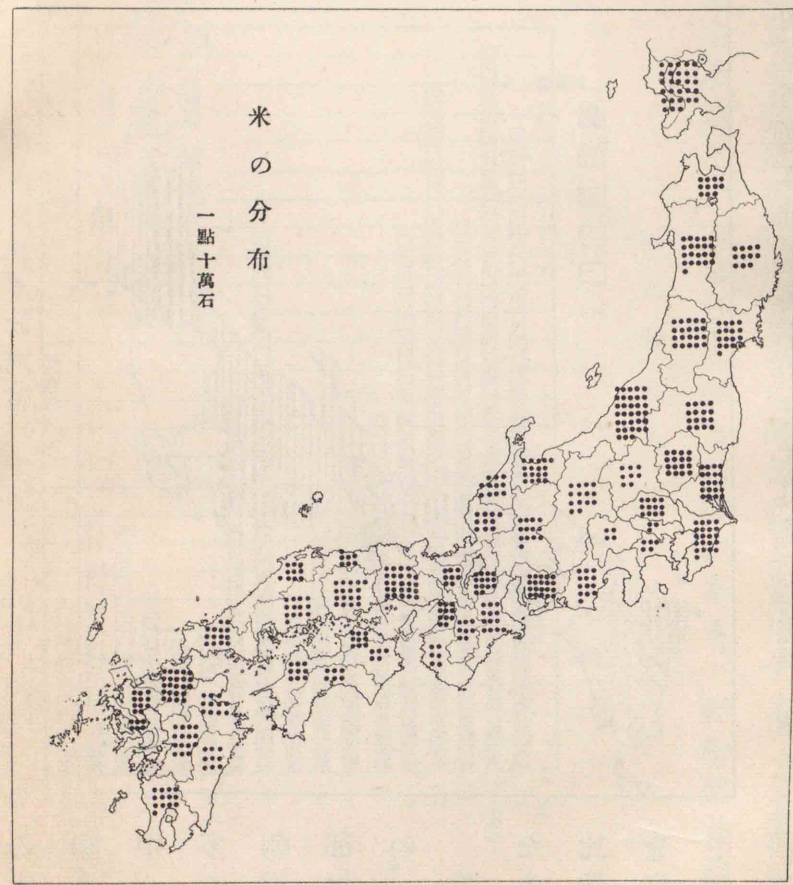


したが、生絲輸出の激増に伴つて桑園は急激に擴張された。近世經濟状態の變化は農民生活を困難ならしめ、内地の小作農は漸減する傾向を辿つて居る。一面思想問題も加はつて小作爭議を頻繁ならしめ、之が對策として國家は自作農の保護獎勵に就いて種々な方策を講じて居る。

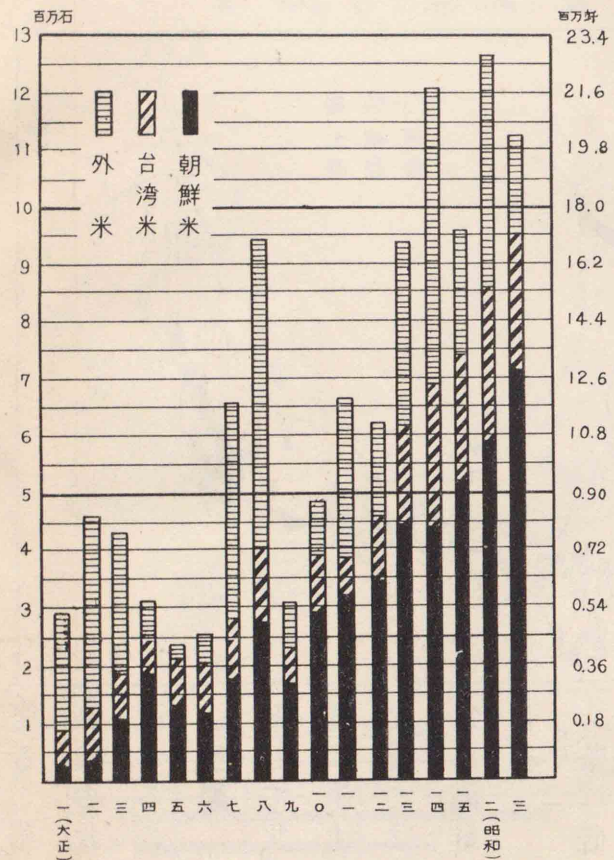
⁶⁷ **主要農産物** 前記の如く我が國は各地の地形・土性・氣候等の相違に依つて、農産物も多種で分布も亦複雑である。以下その主なるものについて説明する。

米 本邦水田の面積は全耕地の約半分を占め、米の生産額は全農産額の半分以上に當るを見ても、稻作の重要な事が分る。その産額の地方的分布及び面積に對する收穫の割合は挿圖に依つて觀察せよ。

内地の生産は需要を充たすに足らないので、毎年朝鮮・臺灣及



び印度支那等から之を移⁷¹輸入し、殊に凶年の際には夥しい額に上る。⁷² 麥類、大麥は本州

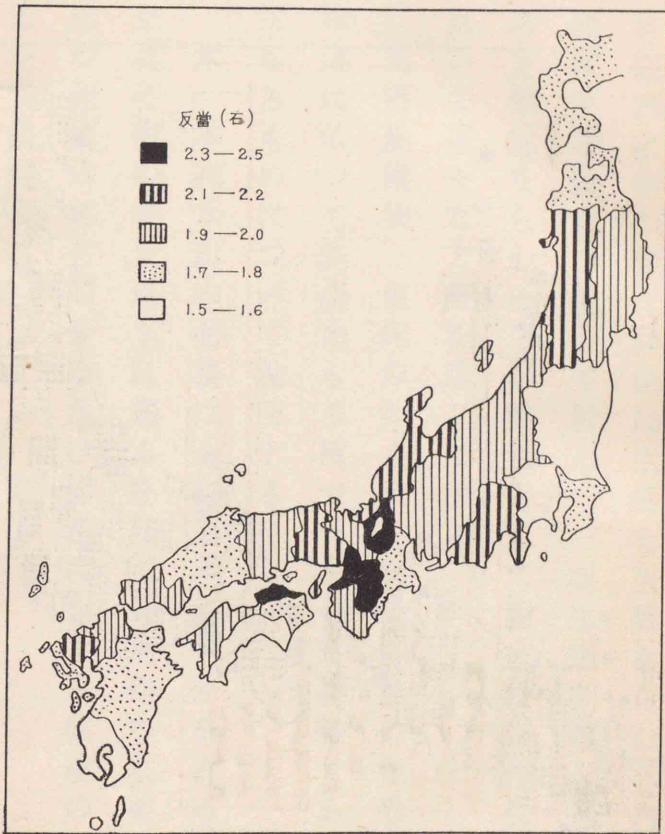


米の移輸入

れ、又大麥は馬糧や麥酒の醸造にも使用する。小麥は關東地方を主産地とする事は大麥と同様である。麥粉・醬油の原料となるが、内地

の産出のみでは激増する需要を充さねぬので、年々濠洲・加奈陀米・國から輸入して之を補つて

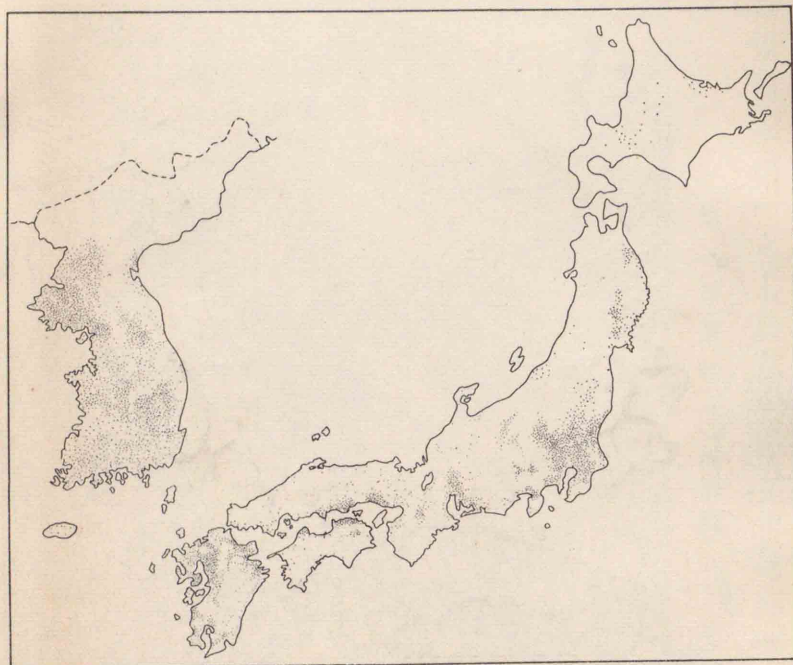
州が主産地で稻田の裏作として耕作する。共に食料に用ひら



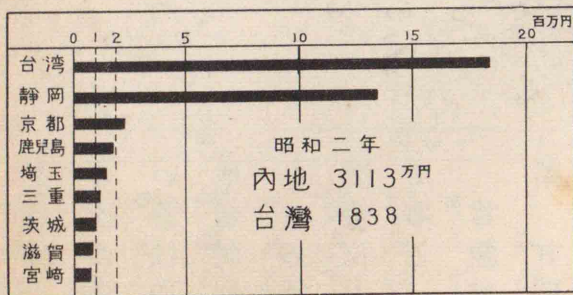
米反當り收穫高 (昭和三年)

の北半殊に關東平野を中心として多く分布し、朝鮮には中部以南に多い。その變種たる裸麥は比較的暖地を好むので、中國・四國・九

小麦の分布

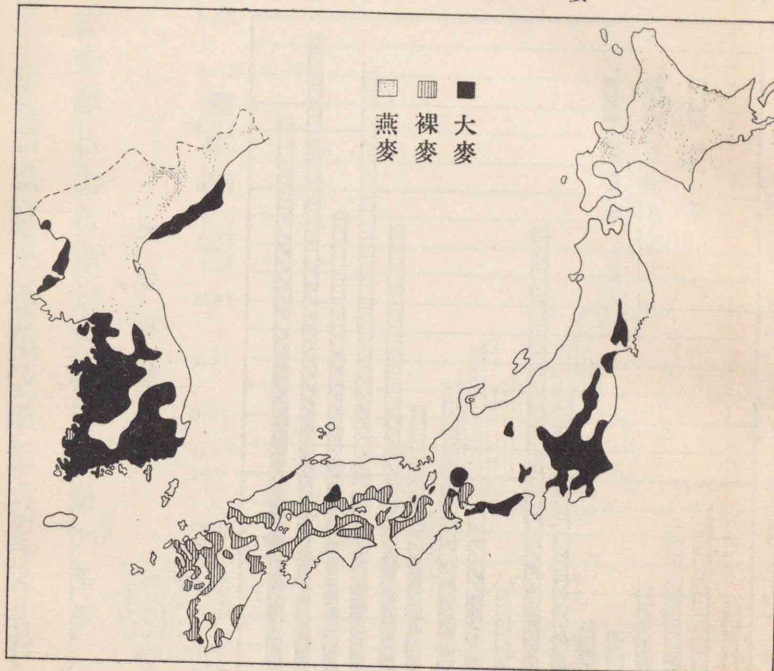


茶の産額比較



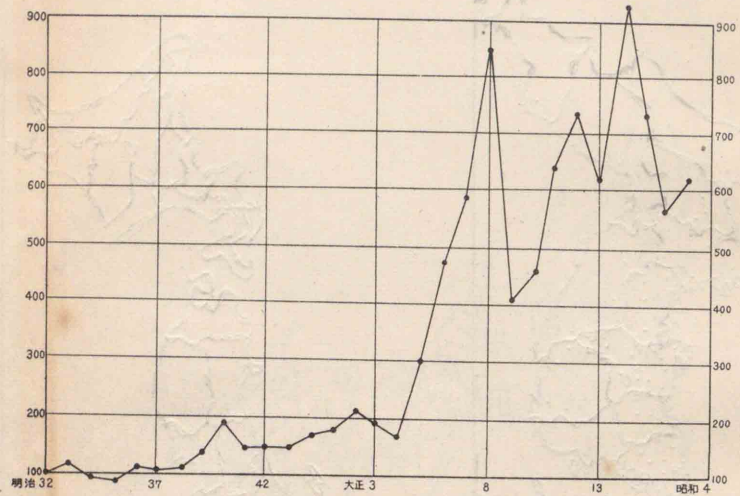
産する。臺灣にはその栽培が盛で、

麦類の主産地



居る。燕麥は涼冷な氣候の北海道、北鮮に産するのみである。
 豆類⁷⁴ 大豆は主として北日本及び朝鮮に産する。内地の大豆では供給不足のため、滿鮮から輸入する。
 茶^{73, 75} 暖地で濕氣の多い地を好む。内地は常陸、越後を北の限界として、それ以南に

(地内) 達發の業蠶養

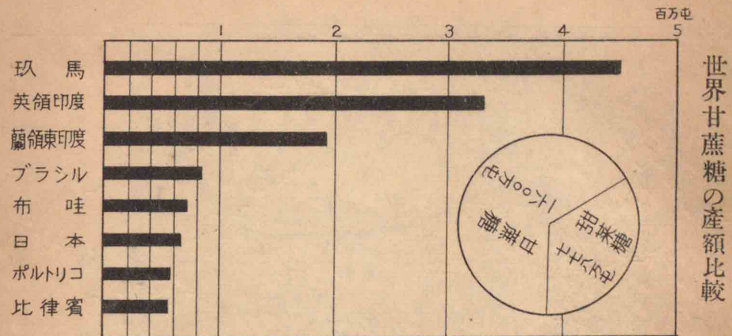


来た。

第三 養蠶業 附製絲業

養蠶業は氣候温暖で、地味桑樹の栽培に適し、且つその飼養は人力を要する事が多いので、勞銀の低廉な地方でないといふ盛んに行はれない。本邦は此等の條件に適する上に、その由來も古く、殊に維新以後官民努力の結果、世界屈指の蠶業國となつた。

内地の桑園は全畑地の一



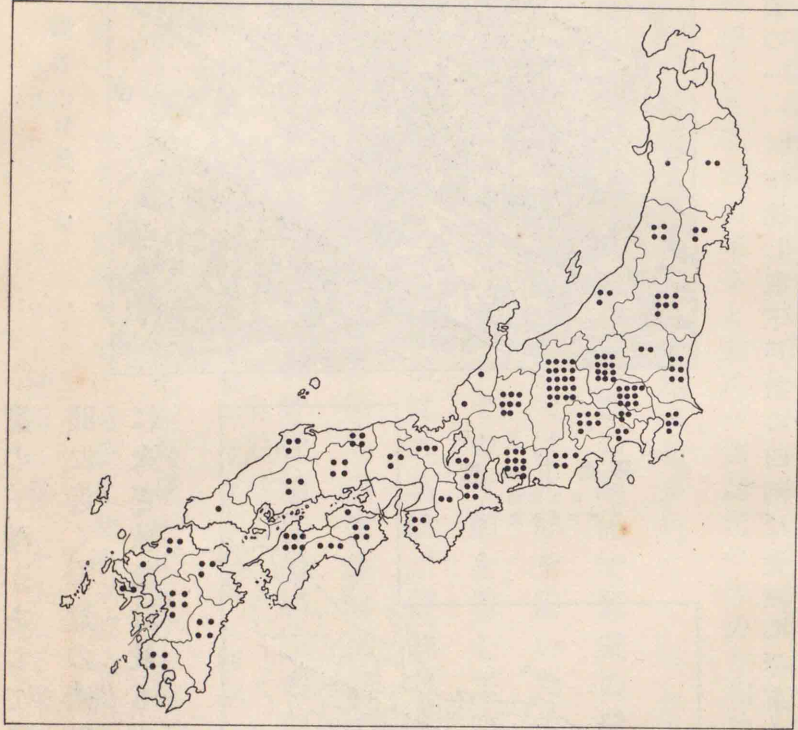
及び朝鮮の如き冷涼な地方には甜菜を栽培するが、その産額は未だ多くない。

我が國は人口が激増するので國民の主要食糧品たる米・麥等は次第に不足を告げる現状であるが、植民地の農業の發達はその不足を幾分補ふことが出来る。即ち臺灣の米・甘蔗、朝鮮の米・大豆・麥等は之れである。尙ほ甘藷、馬鈴薯等も主要な副食物として用ひられる。農産物中には茶の如き重要輸出品もあるが、我が國最大工業品たる綿が殆んど印度・米國・支那等からの輸入に俟つことは注意すべき現象である。尙ほ近年南鮮では其の栽培が漸次増加して

及び朝鮮の如き冷涼な地方には甜菜を栽培するが、その産額は未だ多くない。

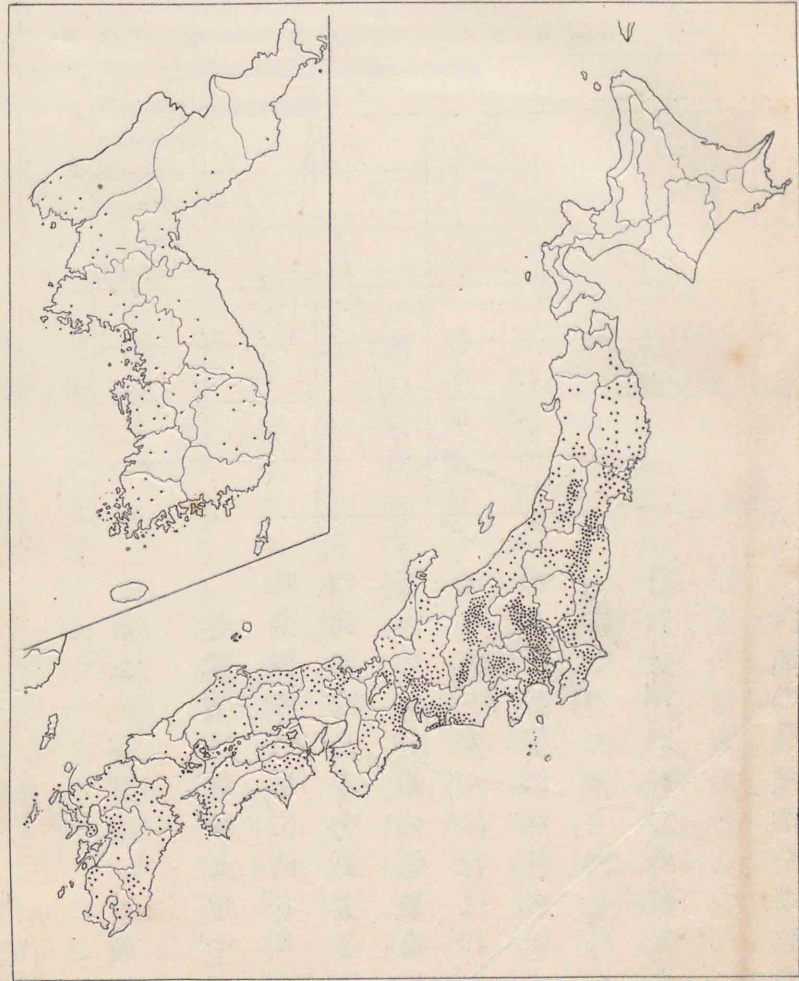
我が國は人口が激増するので國民の主要食糧品たる米・麥等は次第に不足を告げる現状であるが、植民地の農業の發達はその不足を幾分補ふことが出来る。即ち臺灣の米・甘蔗、朝鮮の米・大豆・麥等は之れである。尙ほ甘藷、馬鈴薯等も主要な副食物として用ひられる。農産物中には茶の如き重要輸出品もあるが、我が國最大工業品たる綿が殆んど印度・米國・支那等からの輸入に俟つことは注意すべき現象である。尙ほ近年南鮮では其の栽培が漸次増加して

繭の分布



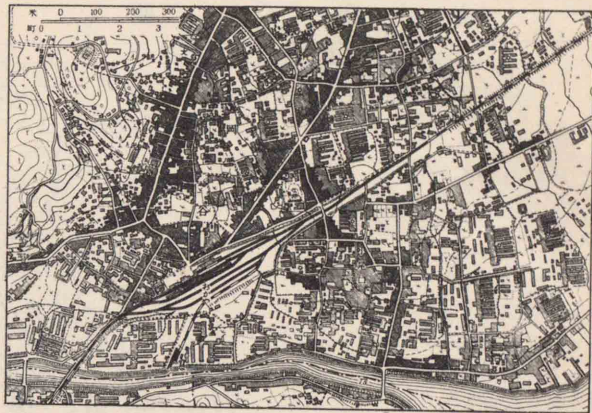
部 長野・愛知 關東 群馬
岐阜・山梨 關東 群馬
 城 茨城 奥羽 福島 の各地
 方に最も多い。
 蠶業の盛否は
 桑畑の分布と關
 係するから、主
 る繭産地はや
 り中部の長野愛
 知岐阜山梨關東
 の群馬埼玉茨城
 奥羽の福島等の
 諸縣である。繭
 には春蠶夏蠶秋

桑園の分布

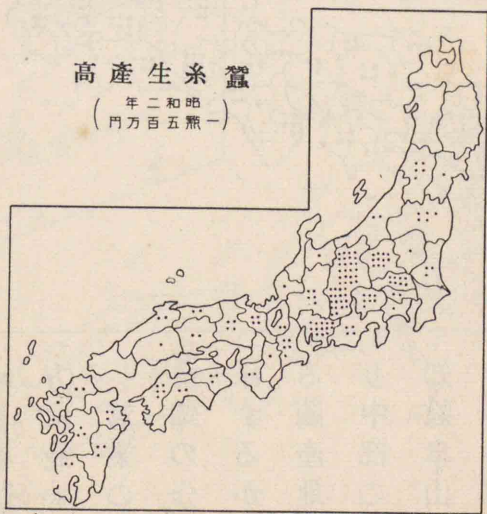


八 % 餘五萬を占めるその分布の中

岡谷の製絲工場



蠶の三種があつて内地の年額は六億圓に近く春蠶の産額最も多く夏蠶之に次ぎ、秋蠶は最も少い。



國の一に達し、縣下戸數の四割は養蠶に従事する。この縣は高原

長野 縣は桑園面積の産額と共
に冠絶に全國
し、繭産額は全

*他の二地方より有望である。

地で、空氣乾燥し、又火山質の土壤は比較的肥沃でないが桑樹の栽培に利用する事が出来ると共に、一面縣民の努力と相俟つて、かく隆盛を致した。氣候の關係上夏秋蠶が稍多い。

*北海道・樺太・臺灣等は氣候の關係で蠶業の發達を多く期待することは出来ないが、朝鮮では北部を除いた大部分は氣候・土性・勞力共に斯業に適し、年々その産額を増して來た。

⁵⁰製絲業 内地の製絲場は八萬餘、蠶絲年産額八億圓に餘り輸出品の首位を占め、世界第一の生絲輸出國である。その産地は繭の産地と略一致し、長野・愛知・群馬・埼玉の順位である。

長野縣は製絲に於ても第一位を占め、年産額約二億一千萬圓、内地の四分一強を占める。従つて原料繭が不足するので全國各地から供給を仰ぐ。主なる製絲業地は岡谷を初め、下諏訪・松本・上田・須坂・松代等を擧げる事が出来る。かく隆盛となつた主なる理由は(1)原料繭の豊富

此等
 星々
 又ニ
 此等
 星々
 又ニ
 此等
 星々

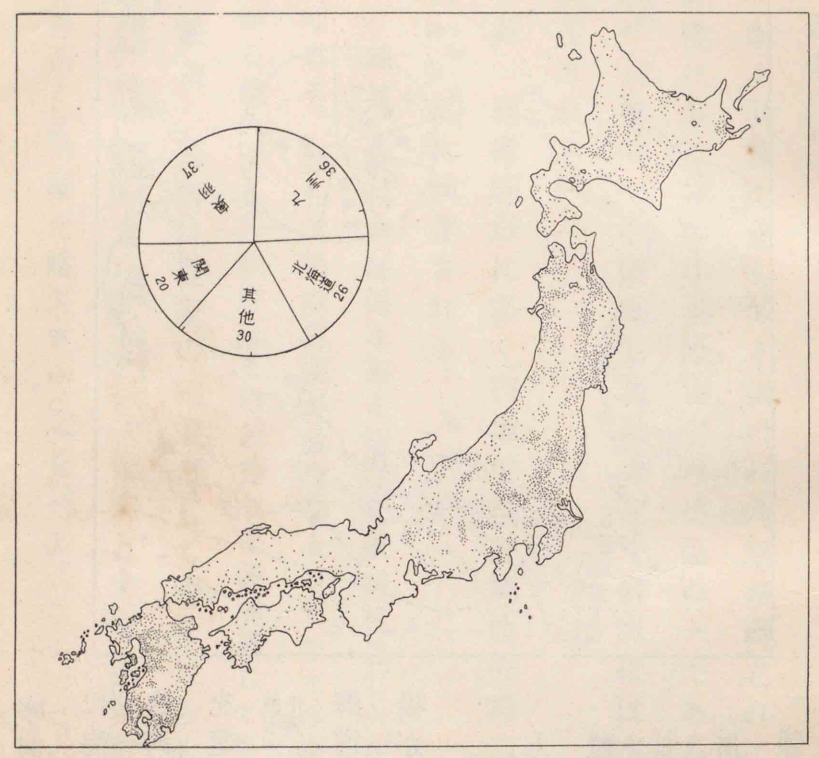
なること、殊に本邦蠶業地の略中心に位し各地から繭の買集めに便利である。(2)土地が高燥で繭の貯藏に都合のよいこと、(3)縣人の斯業經營上特殊の技倆を有すること等を擧げる事が出来る。

第四 牧畜業 附養禽業

我が國は平地緩斜地の大部分が耕地に利用されてゐる爲め牧場とする餘地に乏しく、氣候も牧畜には比較的不適であるし、古來小農法を行ふため牛馬を使用すること少く、且つ宗教の關係上肉食を忌み又毛織物を着用せなかつた爲、牧畜業は甚だ不振で之を諸外國に比較すると頗る遜色を認める。維新以來食用駄用軍用等の必要上銳意その改良と蕃殖とを圖つて居るが、他の産業に比較して進歩が後れて居る。主な家畜は馬・牛・豚で主として農家の副業として飼養される。

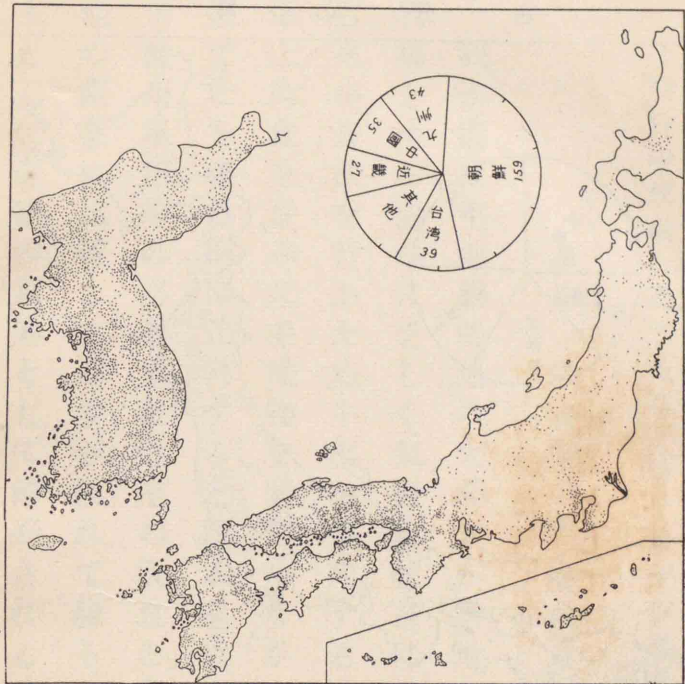
世界に於ける馬の主産地
 ロシア 二、二二六
 米國 一、五二八
 アルゼンチン 九四三
 ブラジル 五二五
 ボーランド 四一三

馬の分布



馬 内地の飼養頭数は約百五十萬、九州・奥羽關東北海道等の地方に多い。九州では原野の多い南部諸縣鹿児島宮崎・熊本を主とする。奥羽地方も原野が廣い上に南部伊達等の諸藩の奨励宜しきを得たので、南部駒三春

牛の分布



*本部は東京に支部は各地にある。

駒仙臺馬等の名は夙に海内に著はれ、盛岡・白河等の馬市は盛況を呈する。關東地方栃木・茨城にも亦多く、北海道には大規模の牧場が少くない。

馬の頭数は年々殆んど増加しない上に、體軀も短小であるから政府は各地に種馬所農林省軍馬補充部、陸軍省を置いてその

役牛、肉牛、乳牛、多馬

世界に於ける牛の主産地

英領印度 萬頭 一四九一七

ロシア 六七八四

米國 五七五二

アルゼンチン 三七〇七

ブラジル 三四二七

改良を圖つて居る。

牛 朝鮮に最も多く飼はれ、内地臺灣之れに次ぐ。朝鮮では北部に多く、生牛、牛皮は主要移出品の一である。内地は九州鹿兒島が第一で、中國高原之に次ぐ。臺灣には水牛多く、また牛も飼養される。

豚 臺灣、朝鮮に多く、内地では沖繩、鹿兒島二縣を始め關東地方千葉・茨城に飼養される。

緬羊 氣候が暖濕な事と適當な牧場に乏しいため、その頭数は僅少である。然し羊毛の需要が激増するので年々多量の羊毛を濠英支等から輸入する。政府はその飼養を保護、奨励して居る。

家禽 養禽は農家の副業として適當であるから廣く行はれ、朝鮮・臺灣・愛知・鹿兒島、臺灣・福岡・大阪を主とするが、供給不足の爲め年々支那から鶏卵を輸入して之を補ふ。

森林面積 国土の約
土部はわく地

本邦は国土が狭小で北米や南米の様な大規模な牧畜は到底望まれないが、國民の過半を占める農家の大部分が副業的牧畜養禽を行ふことによつてその不足を補ふことが出来る。

第五 林業

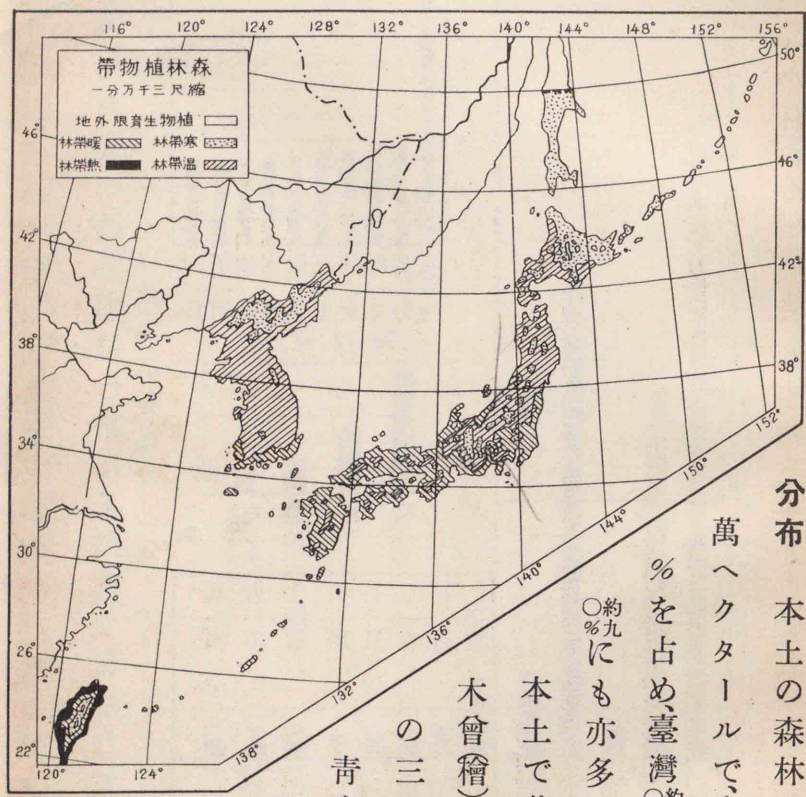
森林植物帯 我が國は山地多く、氣候上寒温熱の三帯に跨り、且つ雨量も潤澤であるから植物の種類多く、其の成長も概して速である。本邦の森林植物帯は熱帯林、暖帯林、温帯林、寒帯林に四大別することが出来る。

- 一、熱帯林(榕樹帯、年平均攝氏二十一度以上の土地)
- 二、暖帯林(亞熱帯林又は橘帯、年平均十三度乃至二十一度の土地)
- 三、温帯林(栲帯、年平均六度乃至十三度の土地)
- 四、寒帯林(白檜楡松帯、年平均六度以下の土地)

針葉樹
闊葉樹

他に原野三
クタール
百二十萬

森林植物帯

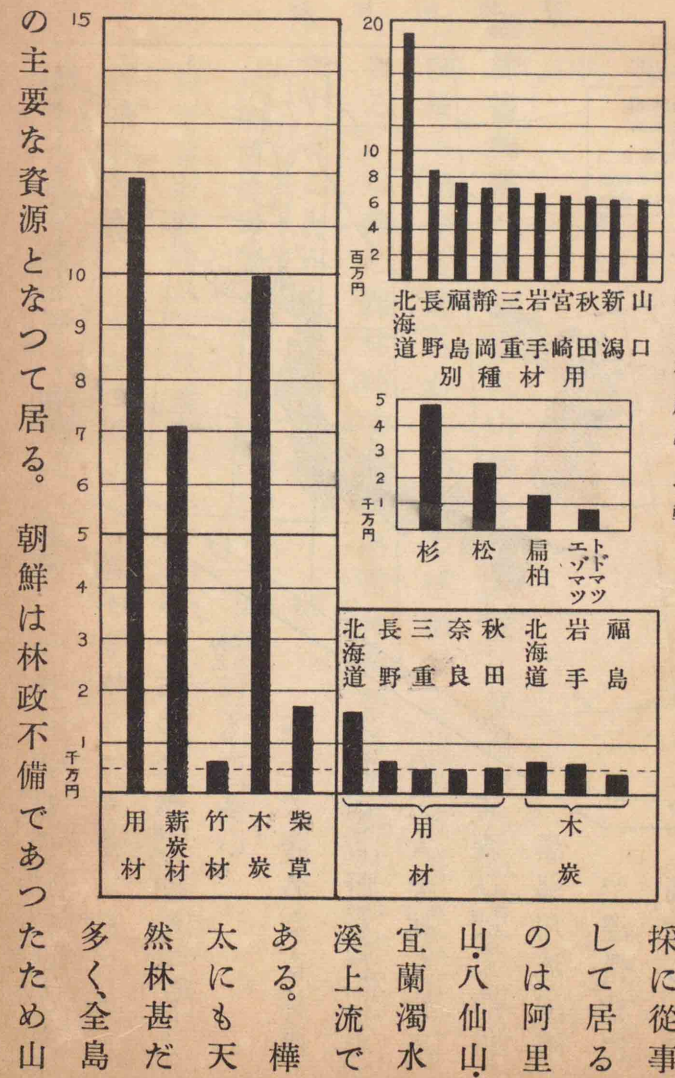


分布 本土の森林面積は約二千萬ヘクタールで、全面積の五一

%を占め、臺灣^{約六%}、朝鮮^{約七%}、樺太^{約九%}にも亦多い。

本土で著名な森林は木曾(檜)吉野(杉)秋田(杉)の三大美林を始め青森(ひば)天龍川黒部川流域等で温帯林に屬するものが多い。北海道(樺太)落

葉松・椴松・朝鮮北部(紅松)・唐檜・落葉松は主に寒帯林に属する。臺灣にあつては蕃界は一帶に天然林で覆はれて居るが、現今伐採に従事して居るのは阿里山・八仙山・宜蘭濁水溪上流である。樺太にも天然林甚だ多く、全島



勝の地にもかゝはらず美林は鴨綠豆滿兩江流域にあるのみである。

種類 林相に依つて之を天然林と人工林とに分ける。天然林は北海道奥羽地方及び植民地の各地等にあるが、大部分は人工林に属する。又之を用法に依つて保安林と供用林とに分ける。

保安林 保安林とは土砂の崩壊及び飛砂の防止、水害風害の豫防水源涵養魚類の集合航海の目標風致等のため之に編入し、その使用收益に制限が加へられてゐるものである。

供用林 供用林は所有者に依り、御料國有公有社寺私有等に分けられて居るものである。

林産物 用材薪炭材竹材等を主とし、その他副産物として木炭・柴草・茸類樹皮樹實等がある。林産物の加工品として最も著

しいのはパルプ製造及び製紙である。植民地の林産加工品として著しいのは臺灣の樟腦と樺太のパルプとである。
近年森林濫伐の結果山地崩壊し、一朝豪雨に際しては洪水の爲めに生ずる損害は巨額に達するので、造林の必要を増く痛感する様になつた。殊に木材の需要が供給と伴はぬので、北米シベリヤ・加奈陀等から多額の用材・パルプ等を輸入して居る事は留意すべき現象である。

第六 鑛業

我が國は地質の變化に富み従つて火成岩の迸發も多い爲め鑛物の種類に富む。

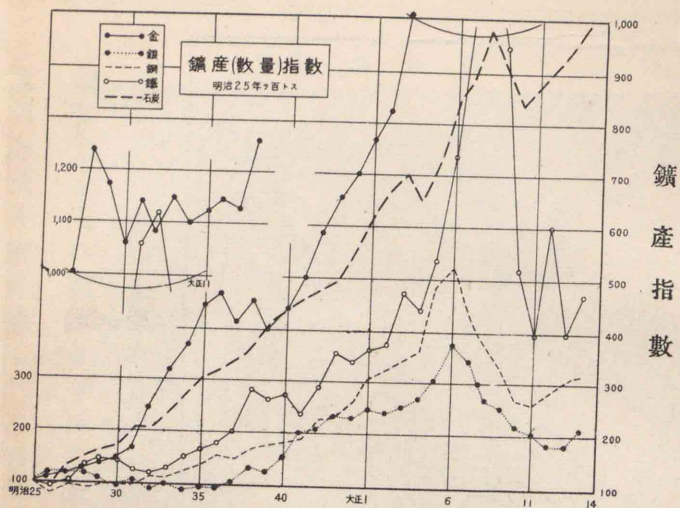
殊に近年採鑛冶金術の進歩と相俟つて鑛産額が増加した。主なるものを挙げると、金屬鑛物には銅・金・銀・鐵・亞鉛・非金屬鑛物

には石炭・石油・硫黃・石材等多種多様である。

銅⁹² 本邦に於ては銅鑛床の分布頗る廣く、鑛業上重要な地位を占め、現に世界第四の産額を有する。足尾・別子・小坂・日立を本邦四大銅山とし、佐賀關^{製鍊所}と共にその主産地である。

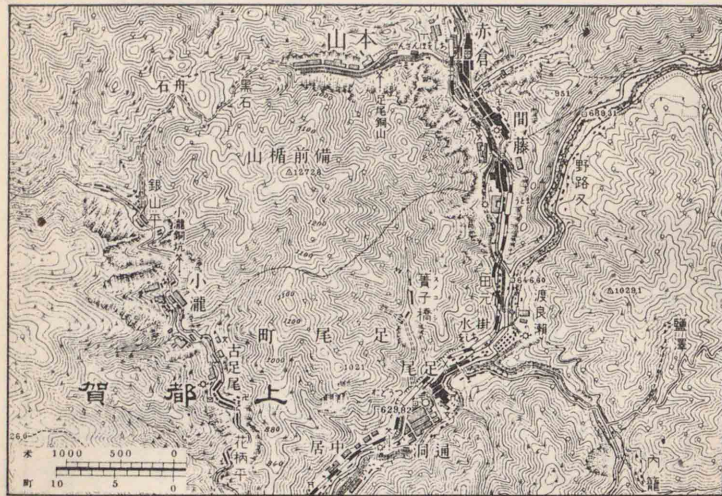
金⁹⁴ 金鑛は大分^{生駒}・鹿兒島^{三井串木野等}・北見^{舞鴻}・朝鮮西北部^{雲山・三威等}・臺灣北部^{金瓜石・瑞芳等}より産し、その製鍊高の多いのは佐賀關・日立及び前記の諸鑛山である。

本邦金銀の大部分は金銀銅鑛より粗銅をつくる際に金銀を収集し



九州産 600万
 出産 200万
 常磐 60万
 足尾銅山 700万
 世帯 5位
 日産 10万
 備前 100万
 九六順
 予の 100万
 七六万順

山 銅 尾 足

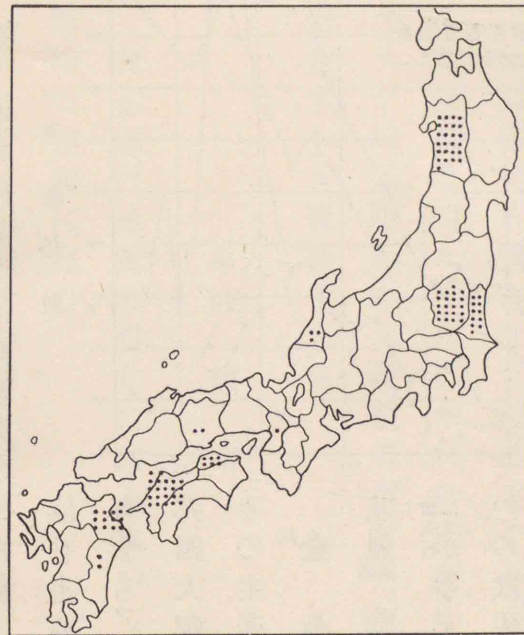


古生層を貫いて石英粗面岩が噴出し(備前橋山)その接ら原料の鑛石を輸入する。尙ほ觸地帯に足尾銅山の鑛床が生じてゐる。

朝鮮⁹⁵兼⁹⁶滿洲⁹⁷本⁹⁸溪⁹⁹湖¹⁰⁰の製鐵所は内地の鐵不足を幾分補つて居る。
石炭 本邦では主として第三紀層中に廣く分布する。就中著名なるものは九州の筑豊三池¹⁰¹唐津¹⁰²北海道の石狩¹⁰³本州の常磐¹⁰⁴宇部¹⁰⁵等で植民地では臺灣の基隆¹⁰⁶附近¹⁰⁷朝鮮の平壤¹⁰⁸炭田¹⁰⁹樺太¹¹⁰等に分布する。
 九州石狩兩炭田は埋藏量は何れも四〇億噸と推算されるがその位置が本邦の中樞地たる京濱

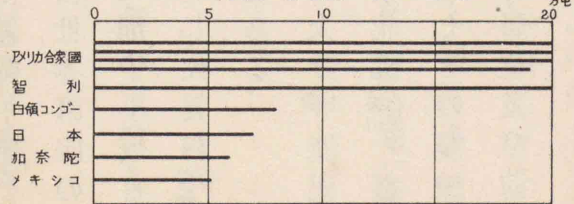
鐵
 朝鮮 2/4
 内地 1/4
 三三
 全世帯
 100
 ナリカ
 100
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

ぎない。故に八幡製鐵所其他の製鐵工場は支那⁹⁵大⁹⁶治⁹⁷馬⁹⁸來⁹⁹地方か



更に粗銅を電氣精銅する際に金銀を分收したものであるから銅の製鍊所は金銀の産地をかねる場合が多い。
 銅の生産分布

較 比 額 産 銅 界 世
(150 万 噸) 年 三 和 昭



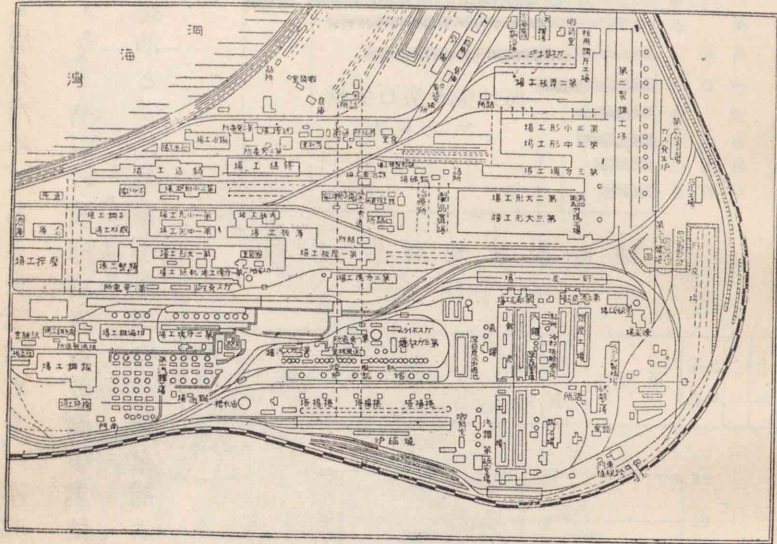
我が國は鑛石に乏しく僅に釜石⁹⁶載寧⁹⁷等の數鑛山を數ふるに過

鐵⁹⁶

石油成因説
腐泥力
有根説
ある

世帯の
此の
核
力

八幡製鐵所構内主要部

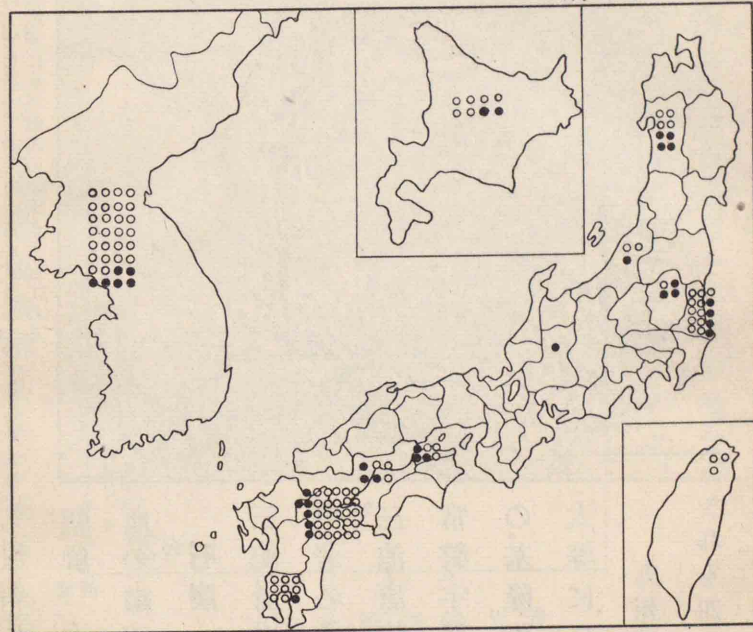


れも第三紀層中に含有され
る。主なる油田は越後油田
(新津・東山・西山・頸城等の各油
田に分れる)秋田油田(豊川・黒
川道川等の各油田に分れる)
及び臺灣の出礦坑等である。
石油の主産地は北日本内帯
である。その理由は(1)石油の
成生當時第三紀は日本海は靜
穩な一大内海でこの地帯は腐
泥を生ずるに好都合であつた
こと、(2)この地帯は現に石油の
貯藏に適する背斜構造をなし

煤女の撫順
炭に壓迫さ
れる

金の銀の分布

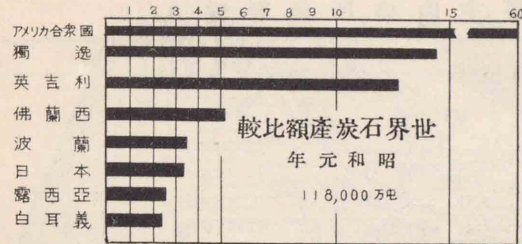
銀・金。



京阪地方から隔たつて
居ると云ふ共通の
缺點がある。
常磐炭田は炭質は
良好でないが京濱地
方に需要が多い。
本邦は石炭を自給
自足し餘剰を輸出す
る。然し近年輸出が
減少して輸入が増加
して來た。
石油 本邦では油
田は炭田と同様に何

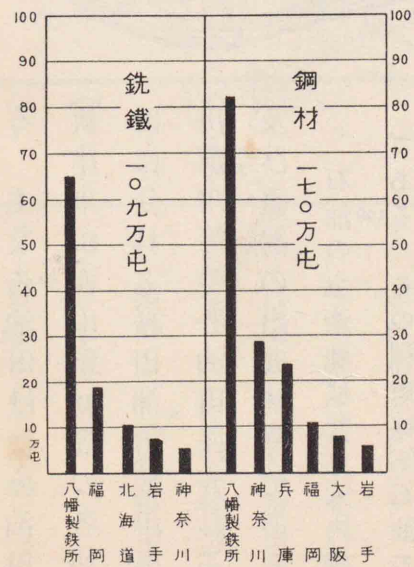


三田炭田附近



府県別石炭産額
昭和三年

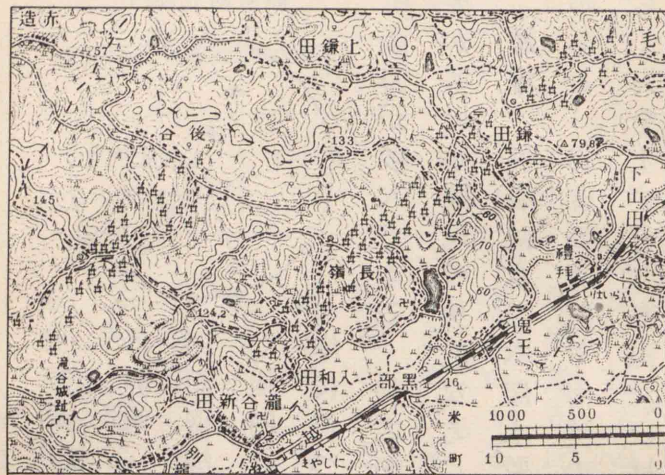
朝鮮	台湾	山口	茨城	福島	北海道	佐賀	長崎	岡山	福岡
----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----



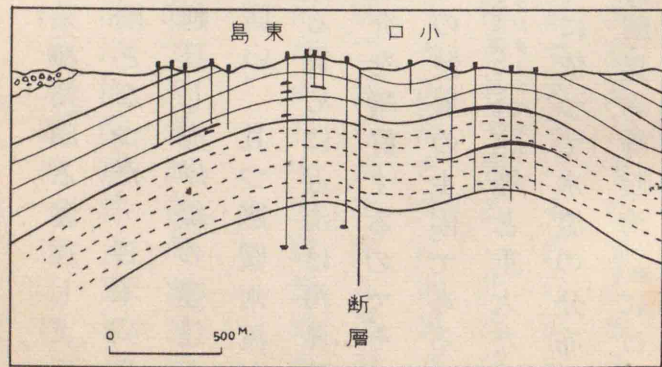
内地、鉄・鋼の生産

て居るためであると云はれる。本邦に於ては年々多額の石油を輸入する。撫順の油母頁岩の乾溜事業は漸くその緒に就き、北樺太油田の採油と共に将来不足額の一部を補ふ事が出来るであらう。

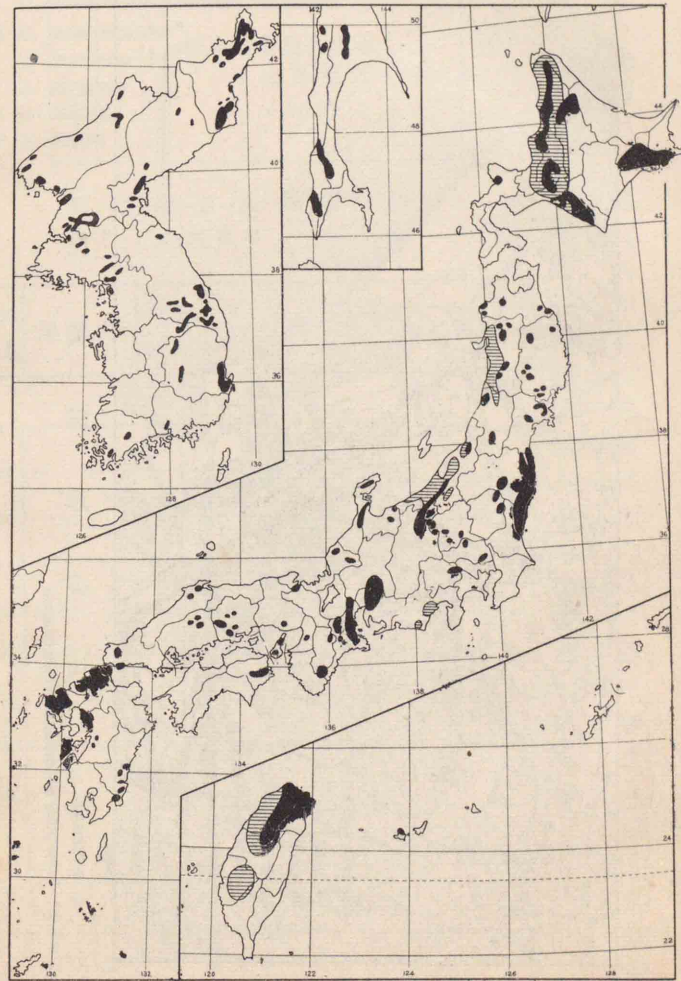
田油山西



圖面斷面方口小田油津新

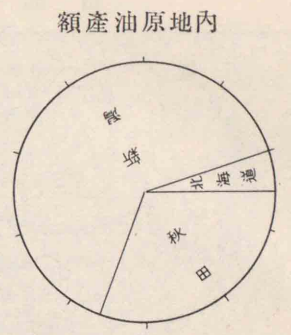


(田油田炭) 布分の田油及田炭邦本



世界漁獲量一〇二〇〇
 時量一〇二
 後船 三六〇
 四軍場揚子二〇母
 産額
 世極考教
 倍

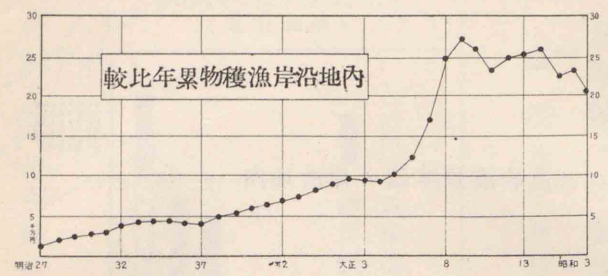
第七 水産業



我が國は水産業(漁業)頗る發達して今や世界第一の水産國となつた。日本列島は四面環海、南北に延長し、海岸線の發達著しく、陸棚の面積は廣い。且つ寒暖兩流が海岸に沿つて流れる爲めに、近海は海産物の生産力が多大である。加之國民は魚介を嗜好するので、その需要が多い事、國民の勇敢なることはその發展の主因である。

漁場 漁場は水温・水深・水質・食餌最も重要なものはプランクトンである等と重大な關係がある。緯度の高低や海流の影響等に依つて水温の分布に自ら差異を生ずる。寒海北方の海には鯨・鮭・鱒・鱈・昆布等、暖海南方の海には鰹・介類等、その中間には主に鰯・鰱・鯖・烏賊等の漁場がある。海藻類は

内海沿岸の漁獲量

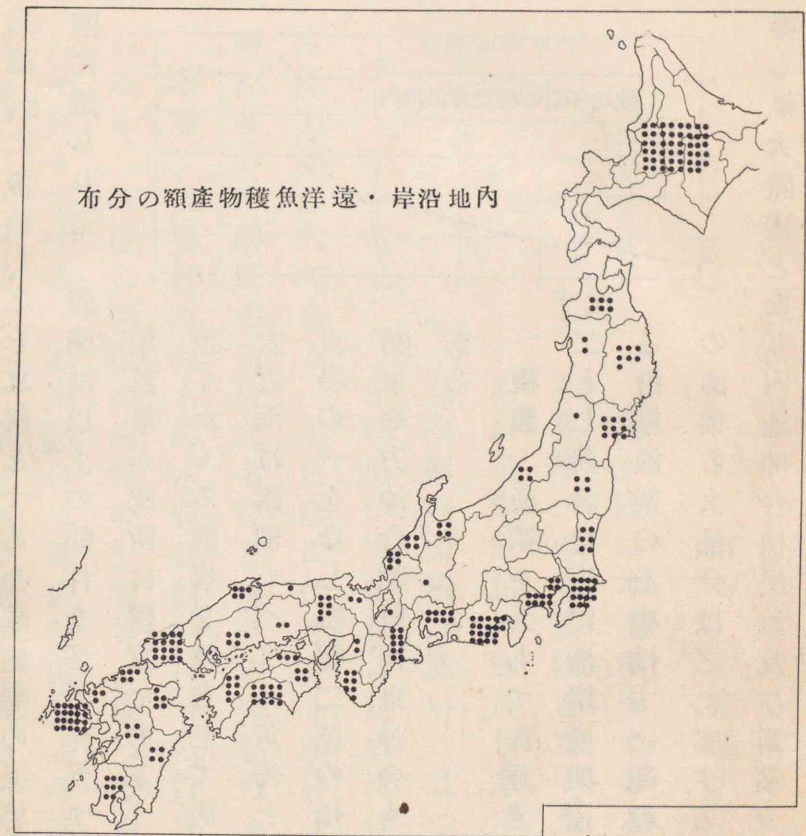


浅海百米以内に蕃殖し、之を食餌とする介類(鮑等)の漁場も自らこの範圍に限られる。陸棚は以上の條件を多く充たすので、水族の種類數量が此所に豊富である。本邦の沿岸は悉くかゝる漁場を繞らして居る。北海道樺太近海は露領シベリヤ近海と共に世界三大漁場の一をなし、寒暖二流の衝突する奥羽及關東地方沖合、朝鮮南東沖合も亦豊漁地帯である。

種類 漁業を分ちて海洋漁業・河湖漁業の二とし、前者を更に沿岸漁業・遠洋漁業に分ける。沿岸漁業の漁場は主に陸棚である。我が國の漁業の大部分は之に屬するが、近年遠洋漁業も漸次隆盛となり、内地沖合、植民地及び露領シベリヤ近海等

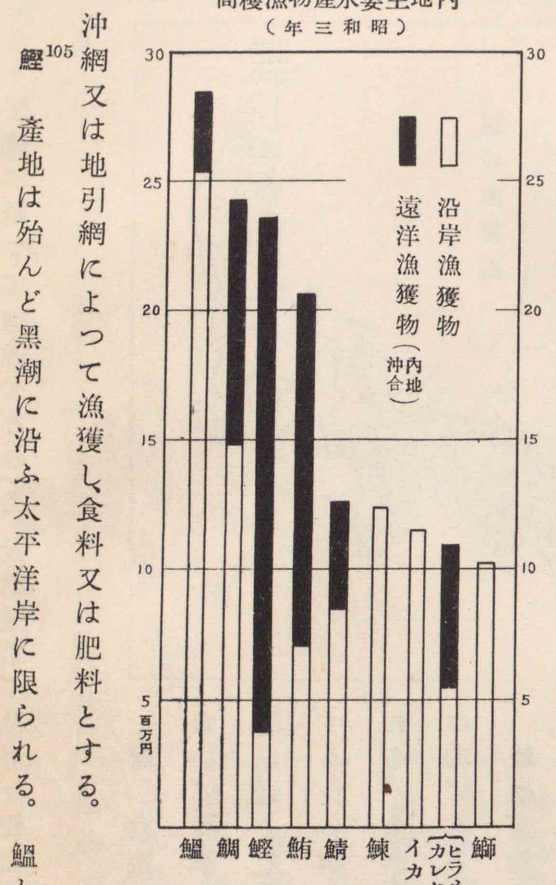
業も漸次隆盛となり、内地沖合、植民地及び露領シベリヤ近海等

トローに漁業
 反船に網を引
 船中に入小艇に
 あら
 沿岸漁業の
 得言は三つ別
 洋の別な
 下図五七頁



に出漁し、トロ
 ール漁業、捕鯨
 漁業、蟹漁業が
 行はれる。
 内地で水産
 業に従事する
 者は約百五十
 萬人(本副業を
 合せ)漁船数は
 三十六萬を數
 へ、その中動力
 を有するもの
 は二・五萬大部

内地主要水産物漁獲高 (昭和三年)

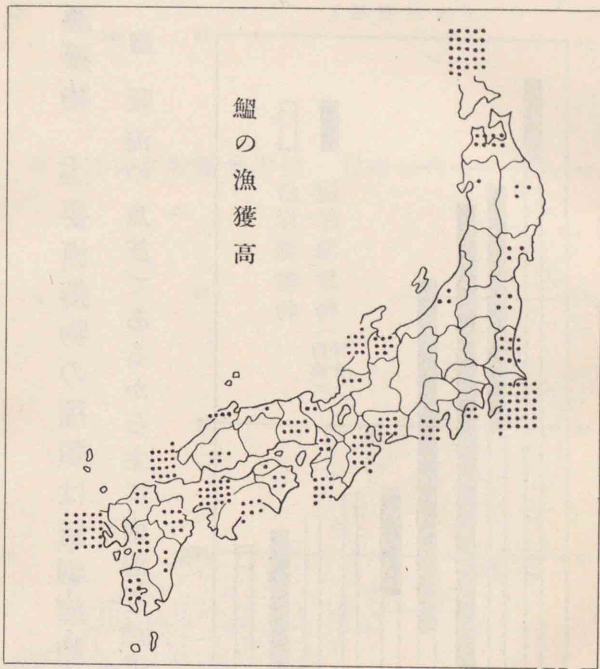


沖網又は地引網によつて漁獲し、食料又は肥料とする。
 産地は殆んど黒潮に沿ふ太平洋岸に限られる。
 鰯と異つて沖

分は五屯五十石未満のものである。即ち沿岸漁業を主とする事が分
 る。
 漁獲物 主要漁獲物の種類は鰯・鯛・鰹・鮪・鯖・鰯・イカ等である。
 鰯 暖海の魚族であるから主に南海で漁獲されるが、暖流に洗はれ

る北海道
 にも獲れ
 る。近海
 魚で群游
 を好み、周
 年陸地に
 近い海で

合を暖流に沿って廻游するので、發動機船で魚群を探ねて釣り上げる。

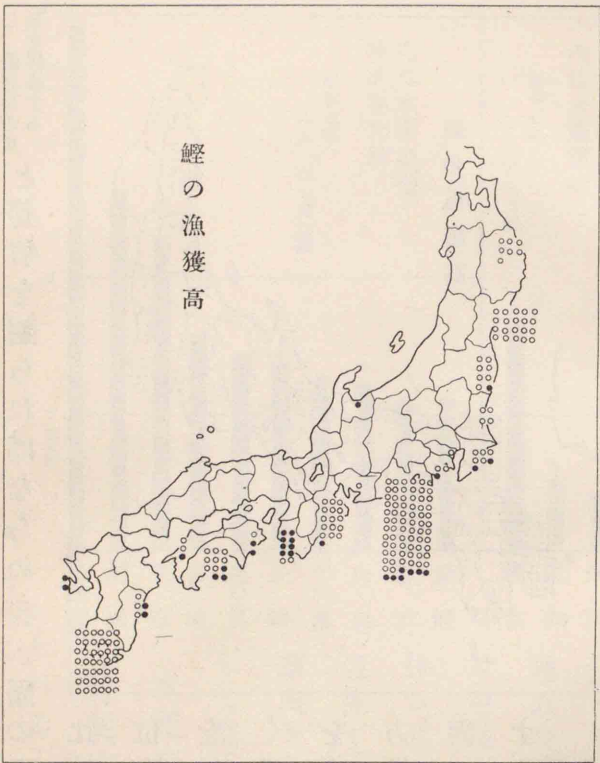


鱈の漁獲高

鱈は北海道樺太を主産地とする。

鯨 寒海を代表する魚族で、春季産卵の爲め海岸近くの浅瀬に密集するから網具で漁獲される。食料數ノ子は鯨の卵である(肥料に用ふ。鮭は産卵の爲め川に溯る時に獲へる。溯江の季節は盛夏樺太より初冬(本州)に互る。鯨鮭

鯛¹⁰⁶ 朝鮮海峡及瀬戸内海に互つて多量に産する。瀬戸内海では縛網、朝鮮海峡ではトロール漁業に依る。



鯛の漁獲高

獲と製造とが相伴はねば水産業の完全な發達とは云ひ難い。

水産製造は節¹⁰⁷

類^等鯨節素乾^等鯨^等煮乾^等鯨^等肥料^鯨其他^{蒲鉾・乾海苔}等を主とし、北海道・静岡・東京等が主産地である。
水産養殖による收獲物には眞珠・柴菜・鯉・鰻・牡蠣・鯛等である。漁

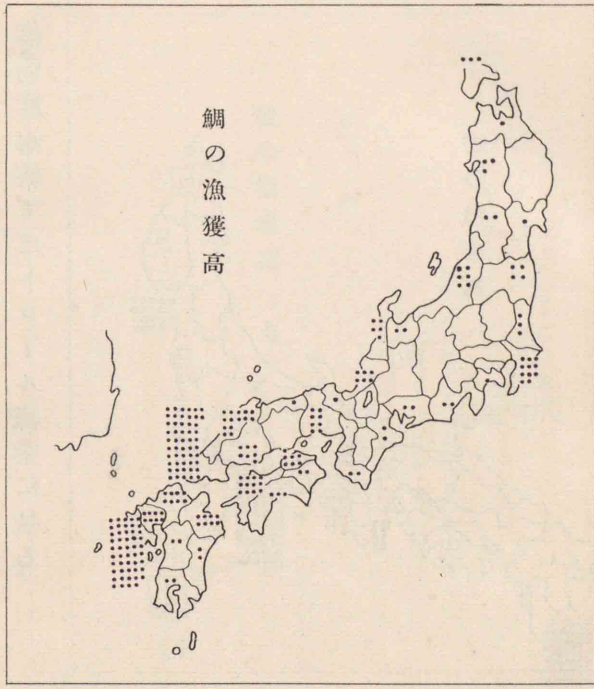
山岩塩
地塩
海塩

氷凍製塩法
(世に乏)

塩田
揚塩
現世
上層見島

入海
庄土砂、混分
地盤、とけり
通水、とけり
先向、量、地、ある
後、とけり、とけり
煮、とけり

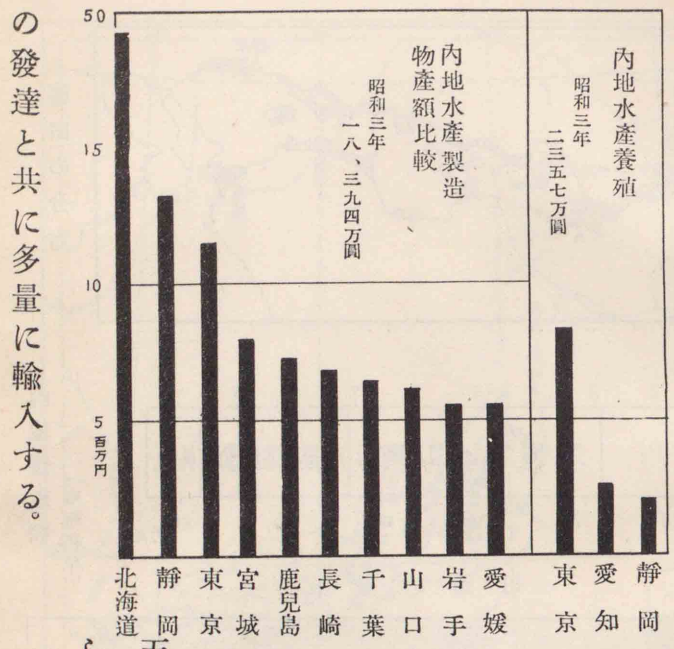
また河湖海等の水産物も無盡蔵では無いから、適當の保護稚魚介の採取を禁じ、産卵期の魚類を保護する。と養殖を圖らねばならぬ。我が國の漁業は歐米諸國と比較して漁獲高は首位を占めるが、尙動力を供へた大漁船を多く建造して遠洋漁業を奨励すると共に、一方漁港の修築等の方面に向つて努力を要する。



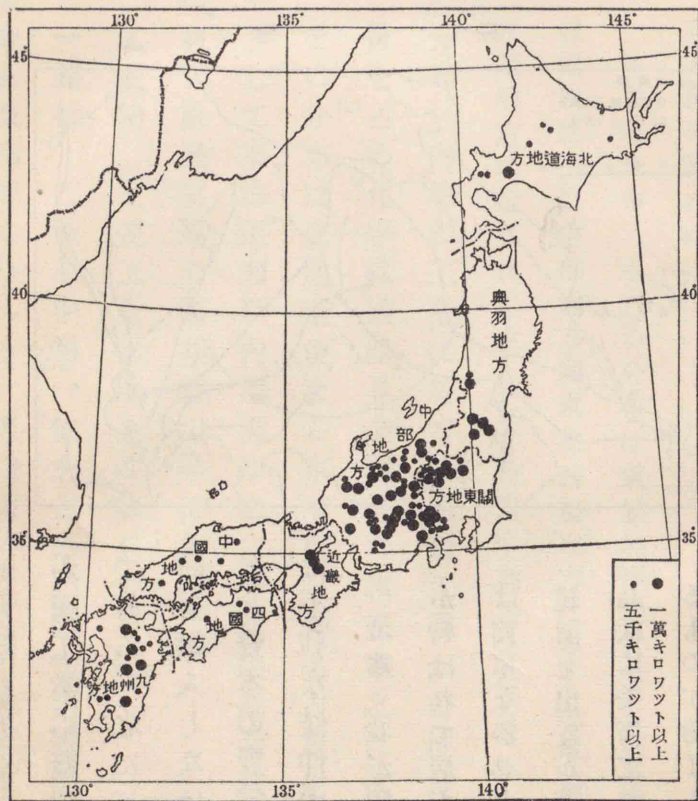
法には鹽田製鹽法と天日製鹽法とがあつて、前者は主に瀬戸内

製鹽業¹⁰⁸ 本邦で現

海沿岸、後者は臺灣、朝鮮、關東州に行はれる。關東州以外は政府の專賣である。



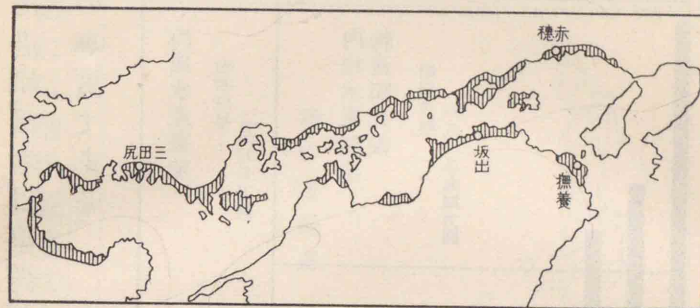
十州鹽田 瀬戸内海沿岸
地方の鹽田の總稱である。
この地方は雨量少く、空氣乾燥し、且つ遠淺で潮汐の満干適度で、海岸は砂濱からなり鹽田を作り製鹽をするに適して居る。
水産製造物中、蟹、罐詰、寒天、鰯、昆布、乾貝等は輸出せられるが、食鹽は内地工業



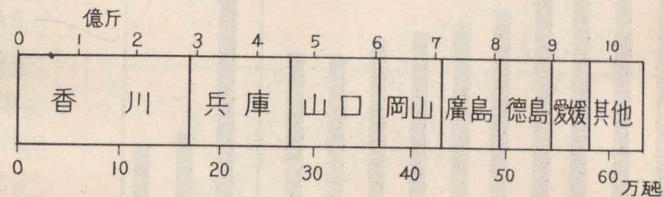
内地に於ける水力発電所の分布

第八 工業
 本邦は四面
 環海、交通至便
 なる爲め、原料
 製品の輸送に
 都合がよい。
 加ふるに動力
 石炭、水力、勞力
 の豊富なこと、
 及び將來有望
 な好市場アジ

香川縣
 全產の三七〇〇
 山口縣
 二五〇〇
 兵庫縣

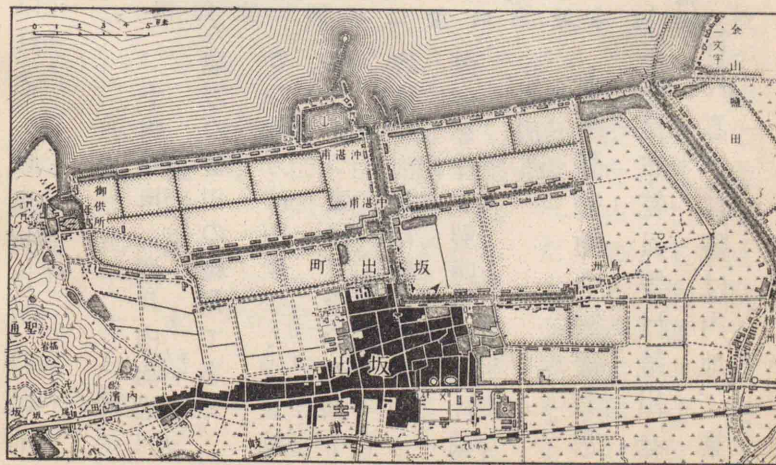


鹽田の分布



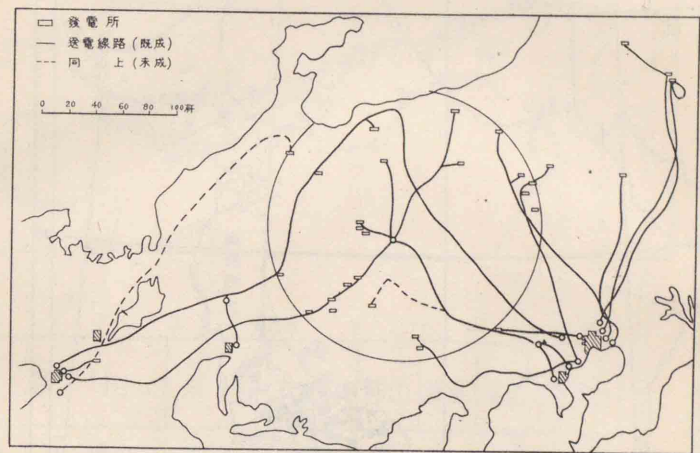
内地鹽産額
 (昭和三年)

田鹽の出坂



- 1. 原料専ら
- 2. 交通不便 (往々)
- 3. 燃料(石炭)
- 4. 電力
- 5. 倉庫
- 6. 人手
- 7. 好市場

送電線



ヤ大陸を近くに控へる事は我が國工業の發達に有利な條件である。之に反し多くの原料品を輸入しなければならぬことと、資本の豊富でないこととは不利な條件である。

沿革 我が國は古來から工業が行はれて居たが、概ね手工業或は簡単な器具を用ふる小工業の範圍を出なかつた。然しその製品殊に美術工藝品には誇るに足るものが尠くなかつた。維新以來歐米の新技术の輸入と共に大

工業十
職業別人口
(工業者) 1,000,000
(農業者) 1,000,000
(商人) 1,000,000
(職人) 1,000,000
(その他) 1,000,000

①
農業 1,900,000
工業 2,600,000
商人 1,000,000
職人 1,000,000
その他 1,000,000

工業が急激に發達し然もその製品のある種目は歐米のそれに比較して遜色を認めぬ。

水力の分布 水力の分布は氣候地形地質等と密接な關係がある。發電所は主に中部地方關東北西境地方に多く、送電線に依つて京濱京阪兩地方に送られて主として動力に利用される。

分布 内地の工業に於ては紡績工業が首位、食料品工業が第二位を占め、化學機械器具金屬等の諸工業之に次ぐ。

その分布は交通至便なる京濱京阪神名古屋附近北九州等を主として東海道瀬戸内海沿岸之に次ぎ、製絲業地帯たる長野群馬、羽二重機業地の福井石川等に多い。

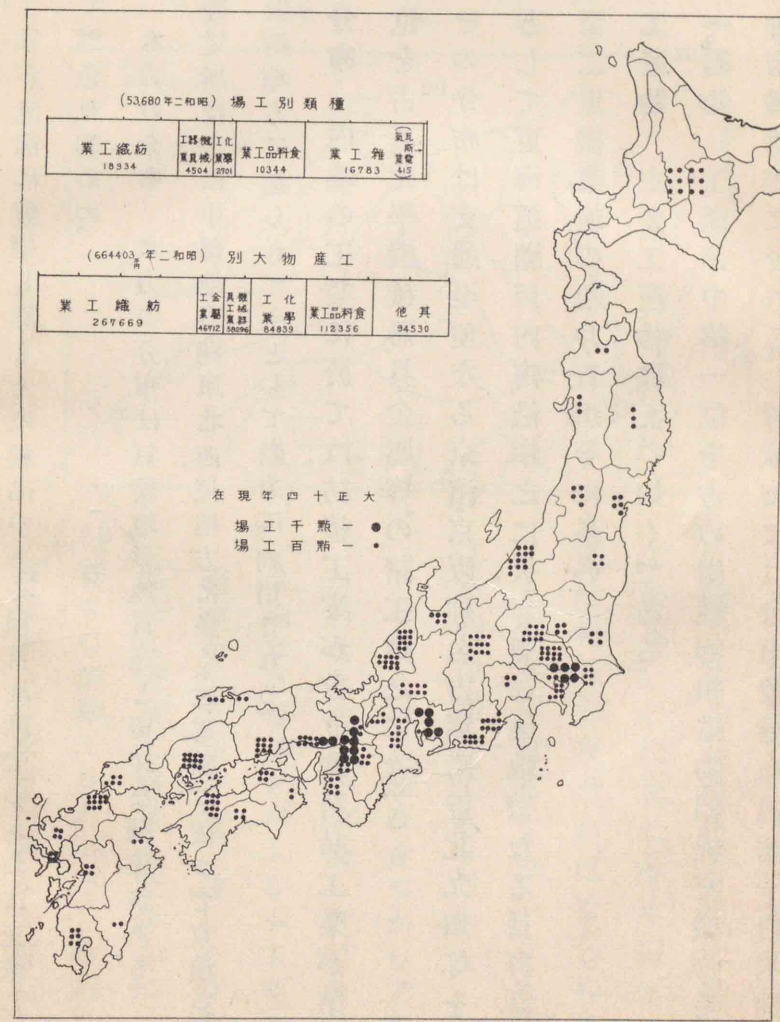
工産物 主要工産物は次の如くである。

一、織物 工産品中第一位を占め、綿織物絹織物絹緋交織物毛織物麻織物等に分れる。綿織物には金巾綾綿布綿繻子白木棉

織物
絹織物
絹緋
絹交織物
毛織物
麻織物
金巾綾綿布
綿繻子
白木棉

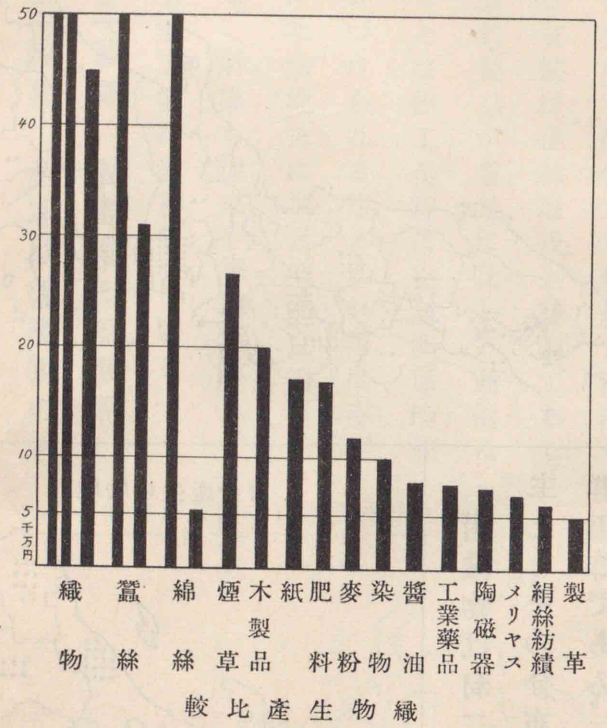
糸織物工業の分布

布分の場工



物産工要主

内地の需要に應ずる外海外への輸出額も多い。



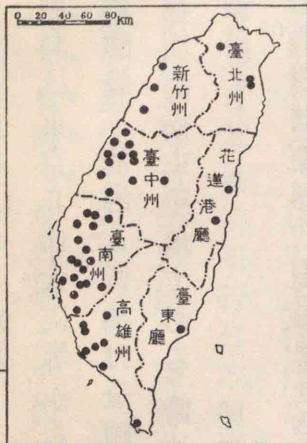
145,459万円年二和昭

綿織物	絹織物	其他
72,539万円	41,110万円	

製品はて居る。をなし中心地。それぞれの。はそれ。古屋と。阪と名。道で大。岸東海。内海沿。

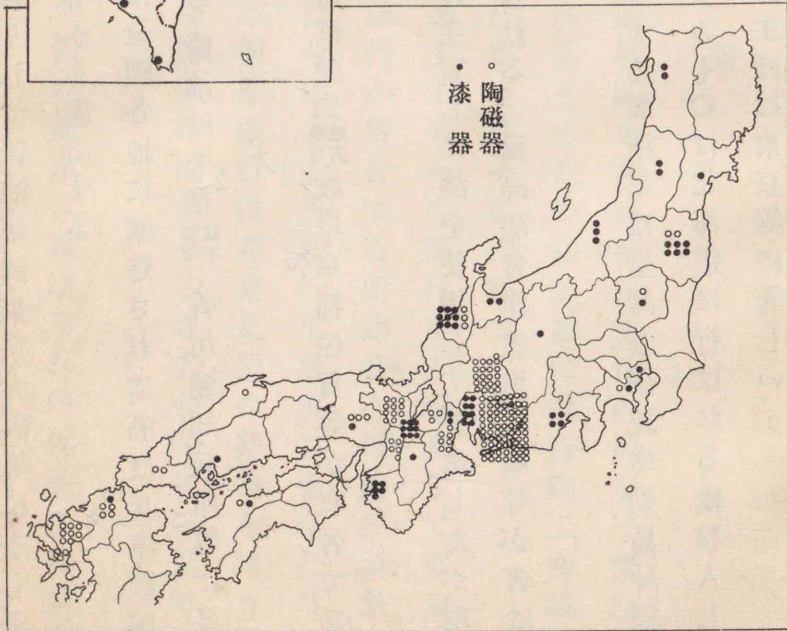
綿ネル・縞木綿等の種類がありその主産地は交通の至便な瀬戸

臺灣製糖工場分佈

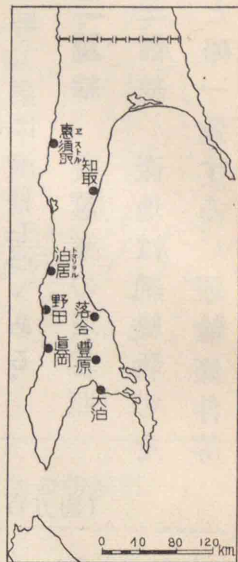


原料とし搾粕等とするので、北海道樺太等にその産出が多い。植物質肥料は満洲産の大豆等を原料とし、福岡が主産地である。礦物質肥料は主に輸

陶磁器及漆の産生分佈



西宮



樺太パルプ・製紙工場の分佈

るのである。
四、紙類 和紙は主に楮・三椶雁皮等を原料とし、農家の副業として行はれる。主産地は高知・愛媛・静岡等である。洋紙は木材・藁・楮等植物纖維を多く用ひ大工場で生産される。北海道・東京・樺太等が主産地である。
五、肥料 動物質肥料は主に鯨鰹等の魚類を

入した燐・鎳・硝石等を原料として、新潟・福岡・東京・大阪等に産し、調合肥料は東京・兵庫・大阪等から産出する。

六、醸造 清酒と醤油は全国各地に醸造され、清酒は兵庫・福岡・京都・廣島が主産地である。醤油は千葉野田・香川・愛知・兵庫等に多く産出する。

七、陶磁器・漆器 陶磁器は愛知瀬戸・岐阜・京都・佐賀等が有名である。

漆器は古來中部以北に生育した漆を使用して製造したが、現在は支那漆が多く用ひられる。輪島漆・會津塗・黒江塗等が著れる。

八、砂糖 甘蔗を原料とする製糖業は臺灣及び琉球列島・沖縄・鹿兒島に、甜菜を原料とするものは北海道に行はれる。輸入した粗糖に原料を仰ぐ精糖生産は東京等に著しい。

第九 商業

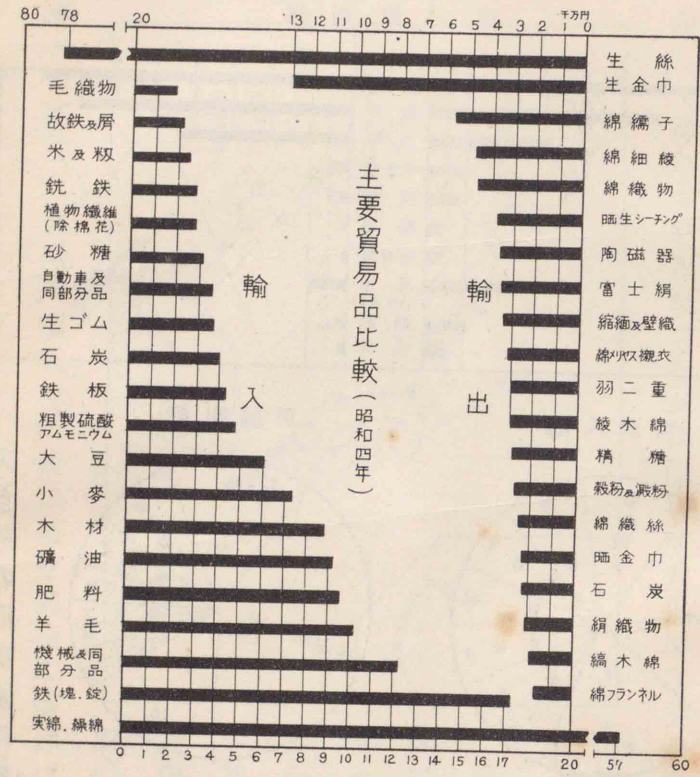
維新以後各種産業交通機關の發達及び文化の進歩に伴ひ、内外の取引は年々増加し、商法その他の法制、並に銀行商工會議所手形交換所取引所等の設備も亦次第に整つて來た。

銀行數は千四百餘に達するもその數は年々漸減して來る。これ小資本の銀行を大銀行が併合する所謂資本の集注現象の發現である。日本銀行は全國の中央銀行で、横濱正金銀行は海外貿易、日本勸業銀行、日本興業銀行は産業交通の發達を圖り、臺灣銀行、北海道拓殖銀行、朝鮮銀行は各その地方の開發の爲めに金融を圖つてゐる。

商工會議所は内地七十餘の都市に設けられ、内外商況の調査、商工業の振興等を商議し、尙ほ植民地及び支那の各地にも設け

羊毛 6%
 支那 10%
 英印 14%
 輸入 31%
 輸出 1億4千餘

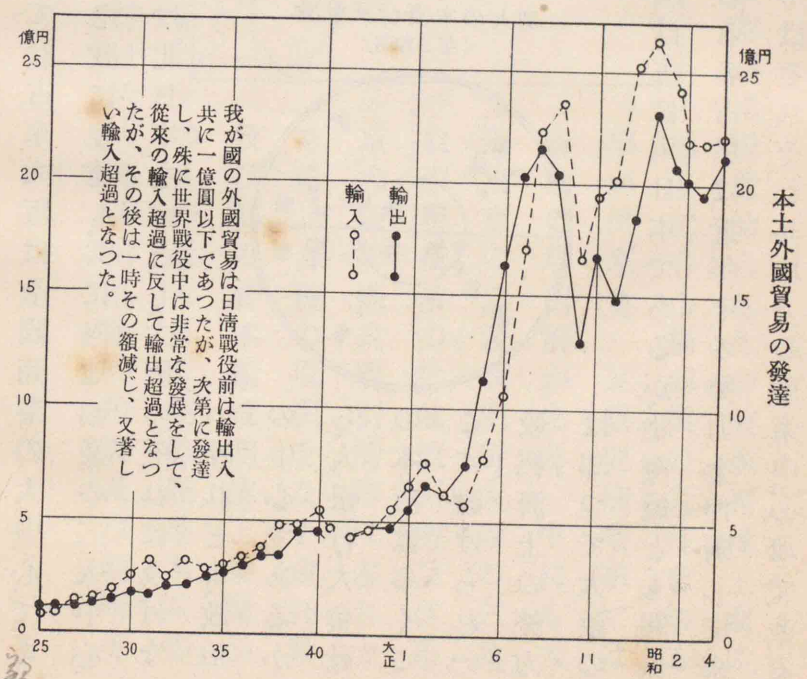
羊毛 32%
 支那 8%
 英印 20%
 輸出 29%
 輸入 1億4千餘



主要貿易品比較

及び綿絲、陶磁器、精糖、石炭等
 之に次ぎ、アメリカ合衆國、支那、英領印度、關東州、蘭領印度等を主なる輸出先とする。
 輸入品は棉花を第一とし、鐵類、機械、羊毛、肥料、石油、木材、小麥、大豆之に

植民地に於ける對内商業は各都市が各中心となつて居る事は内地と異らないが、只朝鮮では定期市が現今尙ほ相當に行はれて居る。
 外國貿易 本土の外國貿易額は下圖に示す様に著しい發展を見た。
 輸出品は生絲を第一として各種絹織物



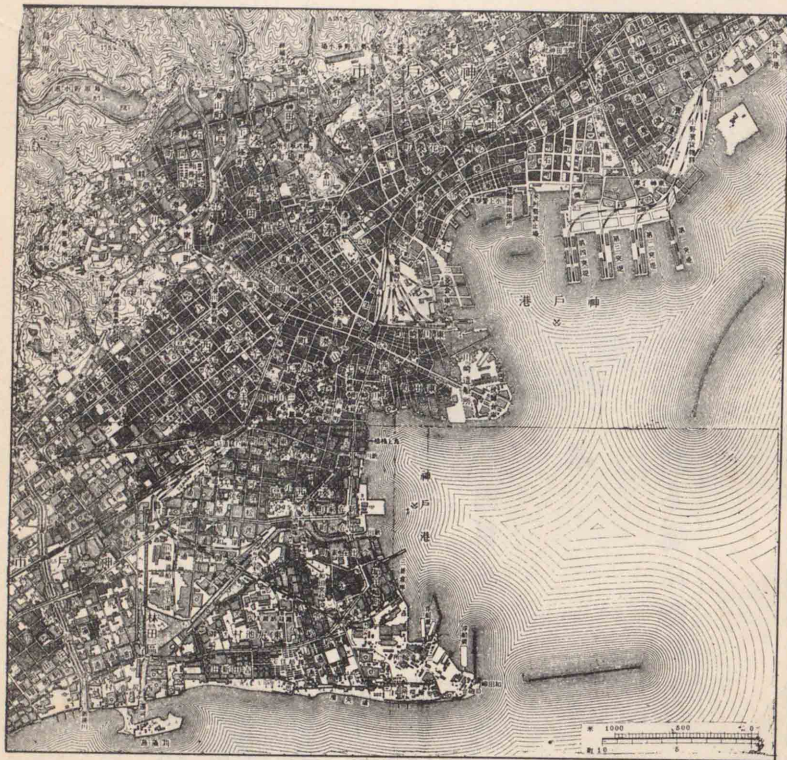
我が國の外國貿易は日清戰役前は輸出入共に一億圓以下であつたが、次第に發達し、殊に世界戰役中は非常な發展をして、從來の輸入超過に反して輸出超過となつたが、その後は一時その額減じ、又著しい輸入超過となつた。

貿易總額
 昭和11年 49億円
 昭和12年 28億円

東京 1.2
 1.3 0.9 0.7

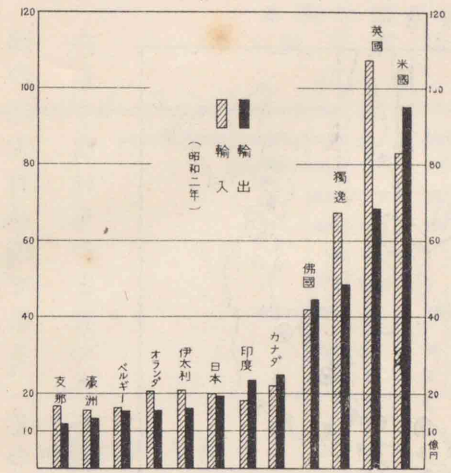
輸入 輸出
 増大する
 但し 米 小麦
 多量に輸入
 月刊

神 戸 港

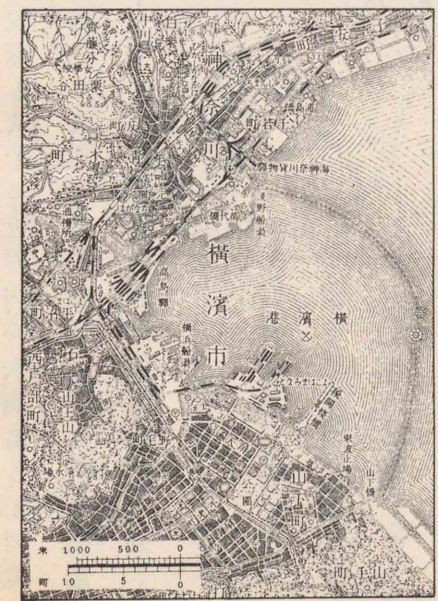


日印の貿易は、神戸港を以て中心とし、80%を占める。

品別
 輸入額
 綿花 4.4 (円) (吉印)
 石油 3.2 (円) (吉印)
 砂糖 0.9 (円) (吉印)
 羊毛 0.87 (円) (吉印)
 鉄 0.8 (円) (吉印)
 小麦 60%
 大豆 60%
 米 60%
 小麦 60%
 大豆 60%
 米 60%



主要諸國外國貿易比較表



横 濱 港

つて貨客の運送をやる。第二第三第四突堤は其の西に並んでゐる。何れも外國航路の汽船が碇泊する。造船所には川崎三菱の二大造船所がある。兵庫港は其の發達は古いが内國通ひの汽船や帆船の集まる所である。

日 天 棉花 輸入 81%
 ① 2.50 ② 4.2 ③ 4.4 ④ 5.0
 ① 2.49 ② 3.4 ③ 5.0
 ⑤ 1.29 ⑥ 1.10 ⑦ 1.92 ⑧ 1.2 ⑨ 1.4
 ① 1.8 ② 1.3 ③ 1.1

第二節 交通

交通とは一定の目的を以て行はれる人類・貨物・思想(通信)の場所的移動で、これを大別して運送陸運・水運・航空及び通信郵便・電信・電話の二とする。凡そ交通の發達は地形・氣候・天産物等に左右せられる事多く、又文化・産業・政治・軍事等とも重大な關係を有するものである。我が國は維新以後産業の發達と文化の進歩に伴つて、交通機關の發達日に著しく全く其の面目を一新した。

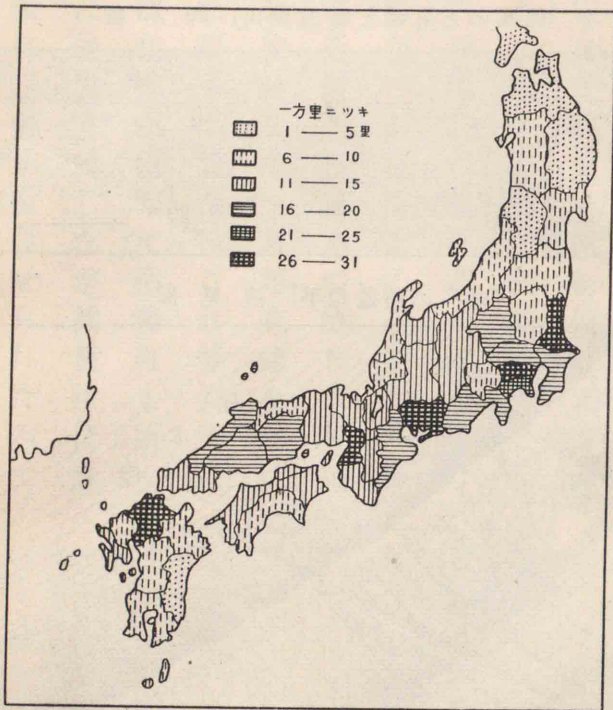
第一 陸運

本邦は國土狹長、山岳丘陵到る處に起伏して居るから、陸上の交通は不便が尠くない。

一、道路 山地が國土の大部分を占めて居る關係上、道路網は

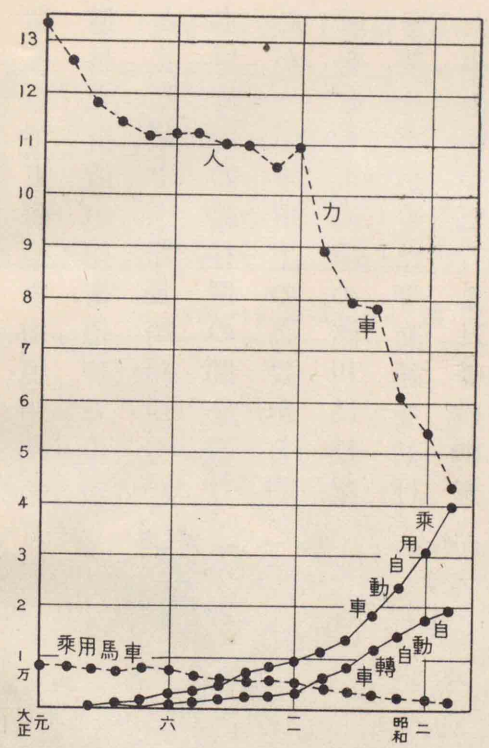
平地に偏在し、本土の道路延長の約七割が平地に分布して居る。
土地の起伏の多い事は颱風に伴ふ豪雨と相俟つて毎年夏秋に道路橋梁を破壊する事が絶えない。

道路密度圖



鎮守府及びこれ等相互間を連絡し、府縣道は府縣廳から縣下樞

昭和三年末
現在
人力車 四・三
荷車 一・六
馬車 二・一
牛車 八・五
自轉車 三・二
自動車 五〇・四
二・四



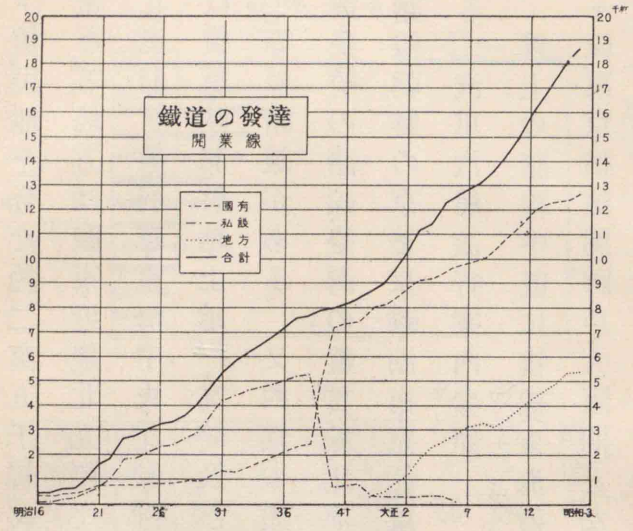
て道路は改修が閉却され勝であつた。然るに近年自動車の利用と共に再び道路の利用が復活し、主要道路は着々と改修に着手されて来た。然し之を歐米の道路に比すると概して狹隘且粗悪である。

交通機關の消長

鐵道、電車、自動車、自轉車等に壓迫されて、人力車、乗用馬車は漸次減少しつつある。

荷車馬車自轉車は全國に普く分布し、牛車は近畿地方關東地方

道路上に使用する交通機關には人力車荷車自轉車動物の力を利用する馬車牛車及び動力による自動車自動自轉車等がある。人力車



つた。また臺灣朝鮮には特殊な轎がある。

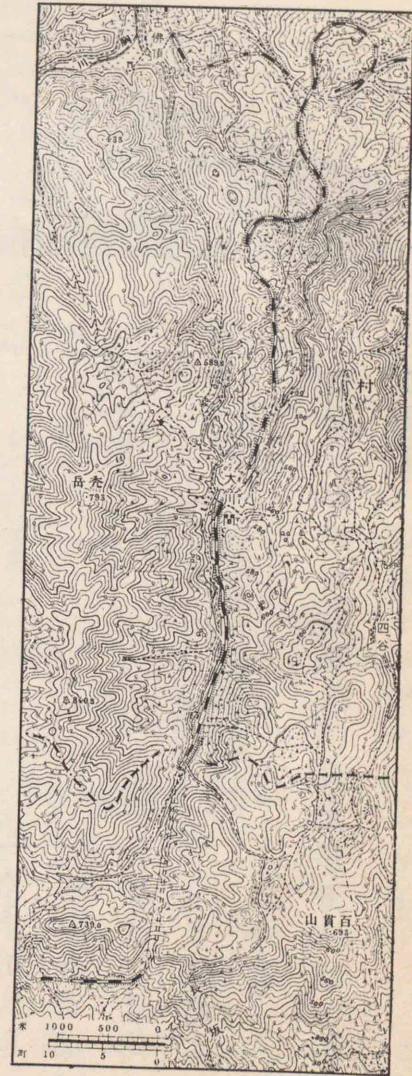
及び朝鮮臺灣に主として使用される。自動車は主要都市に多

いが、然し近年乗合自動車が全國各地とも急激に發達して貨客の運搬に一新紀元を劃せんとしつゝある。従つて道路の改善は一大急務である。

特殊の交通機關には冬季積雪の多い地方では橇を用ゐ、北陸奥羽地方では人力により、北海道樺太では馬に、樺太土人は犬又は馴鹿に之を牽かせる。尙ほスキーも漸次實用に供せられる様にな

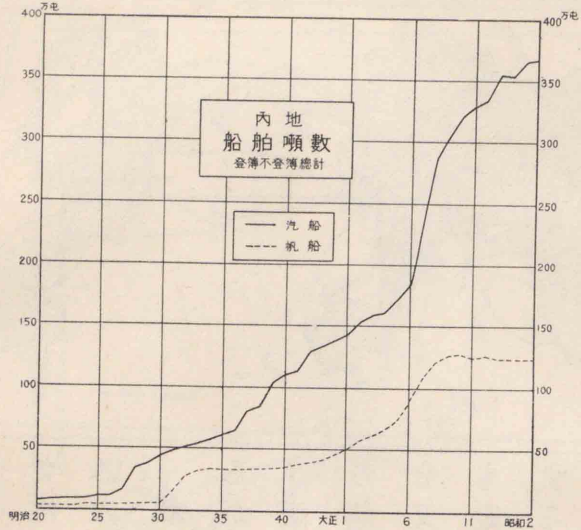
本邦船舶噸數
及比較年(昭和二年)
汽船一七四一萬噸
帆船四四一萬噸
合計二一八二萬噸

第二 水運

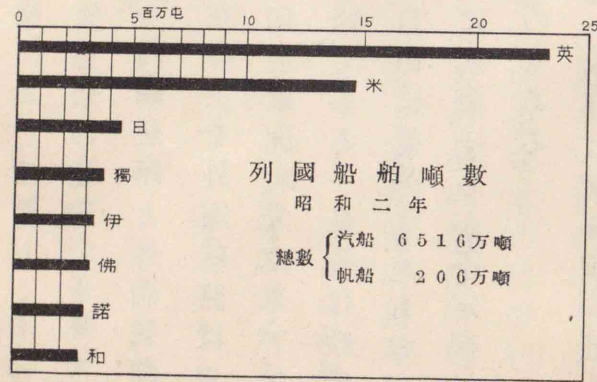


我が國は河川湖沼運河等の内陸水運は地形の關係上餘り發達しない。河川で汽船を通ずるは利根川信濃川北上川淀川等で、湖沼では琵琶湖霞浦北浦中海、穴道湖等に過ぎない。運河は稀で僅かに利根運河琵琶湖疏水運河等を數へるに過ぎない。

之に反して海運は頗る發達し、世界有數の地位を占めて居る。



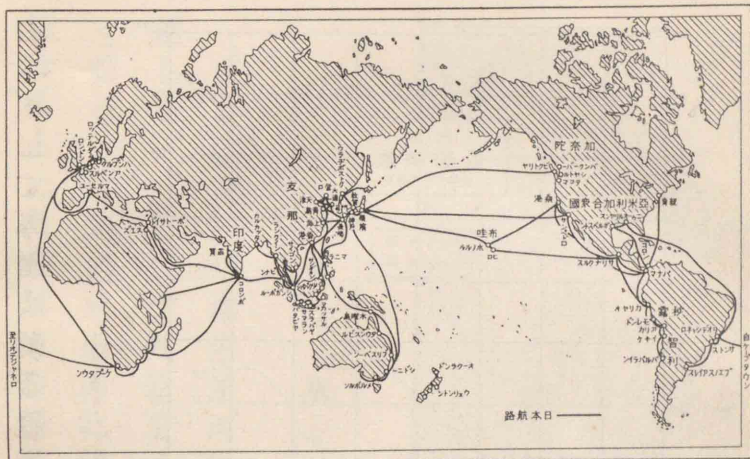
帆船も多い。然し一萬噸以上



民在地植船舶
在籍を
加へて汽
船は四百

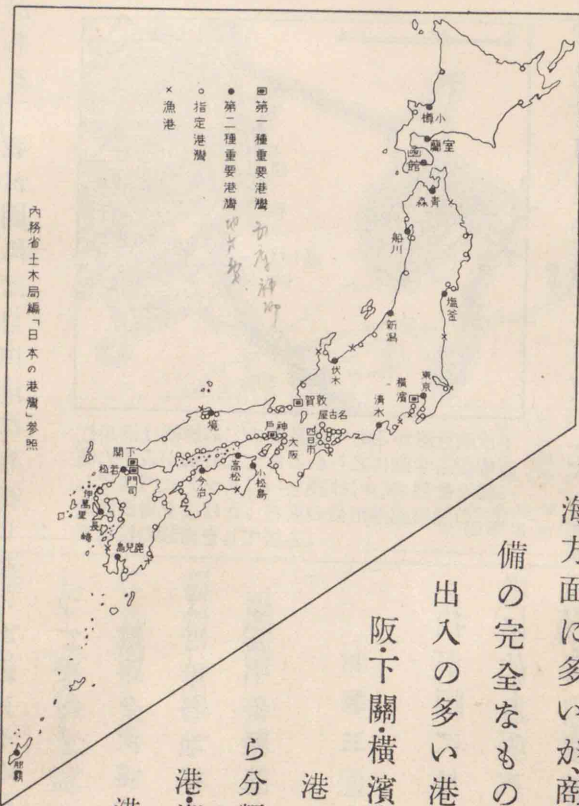
不定期航路
貨物の航路
航路の種
種合は不定
とるの航路
を種都

本邦汽船の主要海外航路



ものは僅に十數隻を數へるのみ、
又一般に老朽船多く、殊に速力の點
では列強に比して著しく劣つて居
るので、優秀船の建造が必要である。
航路 内國航路と外國航路とあ
るが現在の主な外國航路は支那南
洋・濠洲・印度・歐洲・北米・南米・アフリカ
の諸航路である。是等は政府の命
令又は自由に營業するもので、何れ
も定期に航海するが、不定期に就航
するものもある。
港灣 本邦は海岸線が好く發達
し、到る處に天然の良港を控へ、その

内地の主要港灣



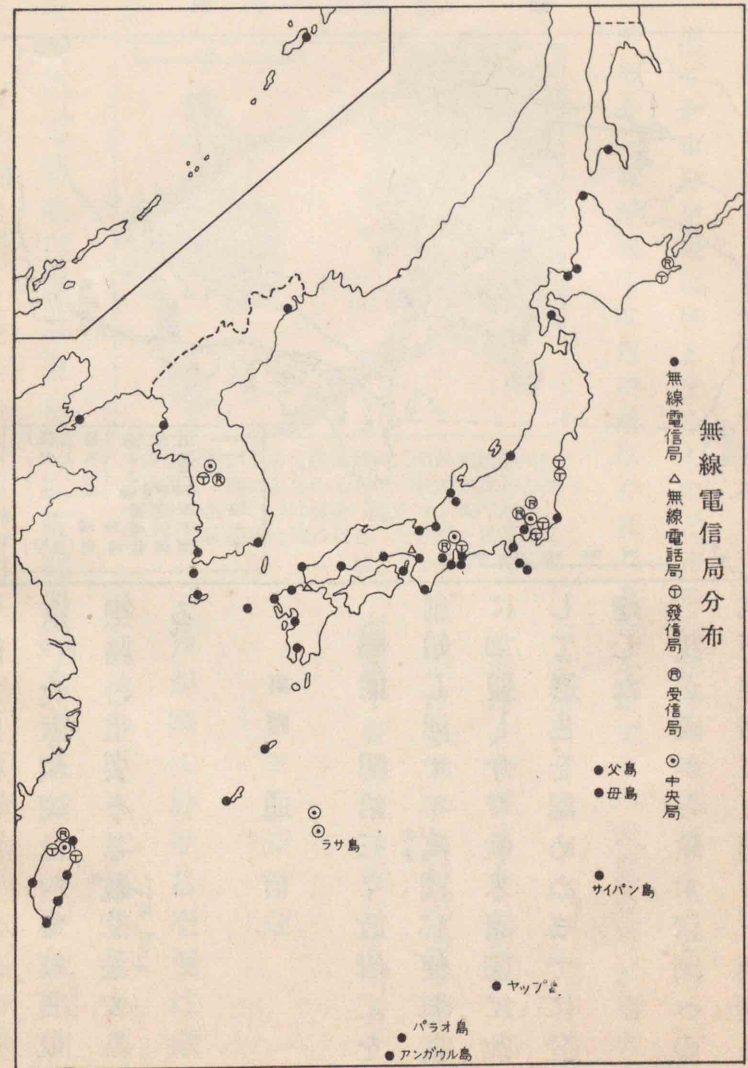
數は内地のみでも約千五百に達し、殊に瀬戸内海・九州・西岸・伊勢
海方面に多いが、商港としての設
備の完全なものは少い。船舶の
出入の多い港は門司・神戸・大
阪・下關・横濱・若松等である。
港を自然地理上か
ら分類すると、海港・河
港・湖港とし、又假泊
港（自然の保護少
き灣港・火口港・
堤壁港・珊瑚
礁港とすることが出来る。又人文地理上から分けると、軍港・要港も含
む。商港・内國商港と開港・漁港・避難港となる。開港を更に輸出港・輸入港

*香港・シン
 マドラー・
 ボンド・イ
 紅海・ペル
 海を經由し
 ン・ドンを
 至る

とあつて前者は北米を經由し、後者は西比利亞經由とスエズ經由の二つがある。

電信 有線電信には陸上線地下線水底線等の別があるが、我が國の主なる海底電線は亞細亞大陸と連絡するものに政府所有の數線の外、大北電信會社丁所屬の長崎上海長崎ウラジボストクの二線がある。この内前者は南部アジヤ、後者は西比利亞を經由して歐洲に至る。東京から小笠原父島に至る小笠原線は米國に連絡する。其の他委任統治地ヤップ島からメナド・グアム・上海に至るものがある。本土及び植民地に多數の陸上無線電信局が設けられた。海外への通信は東京大阪名古屋の各無線電信局が之を取扱ふ。また外國航路等の船舶にも船舶無線電信局を設けて居る。

電話 有線電話の發達も著しく主なる都市内及び各都市間



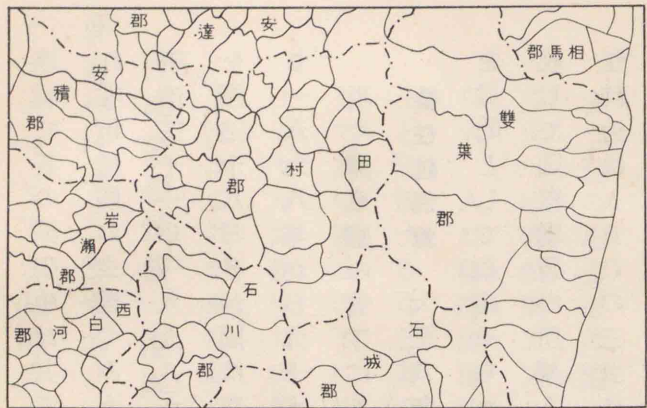
昭和三十四年三月
現在放送
五取者
六萬人

に架設せられ加入者六十餘萬に達して居り、尙ほ申込が殺到するが經費の都合上俄にこの要求を充たし得ぬのは遺憾である。最近に到り無線電話も實用に供せられ、東京、大阪、名古屋、京城、廣島、熊本、仙臺、札幌に放送局の設があつて各數萬の加入を得て各種の放送を開始した。

第四章 政治

第一節 國家

國家とは一定の土地(國土)に多數の人口(國民)が集つて唯一の權力(主權)に依つて統治せられるもので、この國土、國民、主權を國家組織の三要素と云ふ。我が國は萬世一系の天皇の統治し給ふ立憲君主國であり、臣民は八千餘萬を數へる。



政治區劃の一例 (福島縣東部)

限武阿るせ達發の文人。す示を界村の谷河隈武阿と地山隈武阿は圖上よせ意注に事いさ小てし比にれその地山隈武阿が積面の村の野平

一、國土の種類 我が國土は本土と植民地とより成る。本土の行政區劃は三府四十三縣一道に分ける。本土は古くから主として山河の形勢地形に従つて之を畿内八道八十五國に分けた。然るに明治以後之を府縣道に區分した爲め人爲的條件で地形を無視した處があつて、地理區と政治區とは一致せぬ處がある。

租借地 或る國の領土の一部分を他に關東州租借地と南洋委任統治地とがある。

の國が條約によつて或る期間又は無期限に互つて借り受け使用する地域で、其の期限中は其の地域に對する租貸國の主權は全く停止せられ、唯租借國の主權のみが完全に行使せられるものである。關東州は明治三十一年（一八九八）から二十五年間ロシアが支那から租借したのを同三十八年我が國に租借權を譲つたもので、大正四年日支條約により一八九八年から九十九年間即ち一九九七年までその期限を延した。現今關東廳の管下にある。

委任統治地 大正八年ベルサイユ平和條約で、恒久平和と戰爭防止を目的として組織せられた國際聯盟は、大戰に於ける敵國の領土を沒收して國際聯盟の所屬とした。そして聯盟規約第二十二條に基く委任統治はA B Cの三式に分れた。

A式 自立し得る時期に至る迄、施政上委任國の助言及び援助を受けるもの、例へばシリア（佛の委任統治）。

B式 委任國で其の地域の施政の責に任ずべき程度にあるもので、其の秩序維持及び善良の風俗に反しない限り、土民の利益を考慮し、且つ他の聯盟國に對し通商上の均等の機會を與へるを要する土地で、例へば獨領東アフリカ（英の委任統治の如きもの）。

C式 人口稀薄、面積狭小、文明の中心から遠いこと、又は委任國の領土と隣接すること、其の他の事情に依つて、委任國領土の構成部分として、其の國法の下に施政を行ふ土地。獨領のマリアナ・カロリン・マーシャル諸島はこの條項に適合するのでC式に屬する委任統治地となつて我が南洋廳の管下にある。

二、國家の位置 海洋に對する位置 海洋に對する國家の位置を分けて三とする。即ち島嶼國家例、英本國と、内陸國家例、イス・ポリビアと、瀕海國家（支那の如く一部は海に臨み一部は陸境を有するもの）が之である。我が國の本土は海洋國家である。

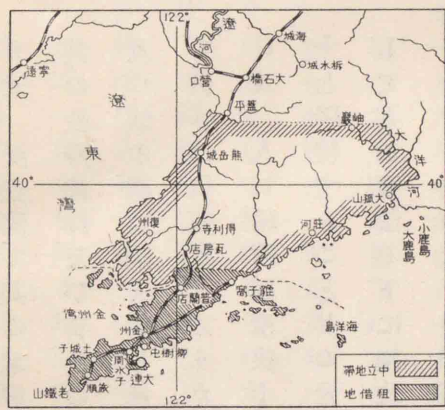
南洋廳所在
地はバラウ
諸島のコロ
ル島である

が植民地を加へると瀕海國家である。そしてその國土は世界に於ける海上交通の大幹線上に位するから、海洋に對する位置は優秀である。

關係的位置

日常生活に於て隣家の如何が頗る吾人に影響

この中立地帯では我が國と特別の條約により支那が他國に讓渡し、又軍事的行動をなすことを制限せられて居る。



を與ふるが如く、國家にあつても其の隣國の多小及び性質が其の國に及ぼす影響は甚だ大きい。我が國は、西には世界最古の文明國で而も現今内争の絶えない支那、北には革命以來國勢の未だ恢復しないロシアの領土、東及び南には國勢の旺んな亞米利加合衆國の本土及び植民地と、イギリスの領土とを控へて居

る。そして太平洋は現今世界列強の逐鹿場となり所謂太平洋問題は國際間の一大問題であるので、我が國を東亞の防波堤と呼んだのは眞にその人文上の位置を喝破し得た至言である。

三、國境と領海

國家の境界線は統治權の及ぶ限界を示すも

ので、其の職能は、平時にあつては彼我交通の門戸となり、戦時には防禦の障壁となる。境界線の種類には、(1)山脈・河流・湖海等の自然物に依る自然的國境と、(2)或は城壁の類を設け、又は經緯線人類分布線その他任意の線による人為的國境とがあるが、前者の有利なことは戦時殊に著しい。我が本土及び朝鮮の國境は前者に樺太¹⁵²のは後者に屬する。そして同じ自然的國境でも海洋の境界が最も有利である。また政治問題を惹起し易い所には中立地帯¹⁵⁰を設ける場合もあつて、我が租借地關東州と滿洲との間にあるものはこの例である。

樺太の國境



三三) 約全長一三三。その全長と境國の國露日て以を線緯の度十五緯北は島太樺幅又け設を個九一標木。個七一石標界境間中。個四石標測天く如の圖に間のこ。(里。るあに二卷書地理學小常尋は圖の石標測天。たつくつを(岸西)溝び及空林の米〇一

海岸線を持つ國家は國防上經濟上領土の沿岸から一定の限界内の海面を領海として之を領有し、その海面に於てはその國の領土權が行使される。領海の範圍には各種の説があるが、我が國は海岸を距る三海里五六艸の線を以つてその限界とする。而して我が國は瀕海國家であるが、殆んど海洋國家であるから領海の面積は甚だ廣い。

第二節内 治

立憲國では國家統治の作用を立法行政司法の三に分ち、各別種の機關即ち議會政府裁判所に依つて之を掌らしめる。

一 立法

帝國議會は天皇の統治作用に參與する立法機關で、貴族院衆議院の兩院から成り、東京に置かれて居る。

衆議院議員選舉區

地勢人口等を考慮して北海道各府縣を一又は數個の選舉區に分けて、各選舉區から人口數に比例して數名の議員を公選する。東京府七區定員三十一名、大阪府六區定員二十一、北海道五區定員二十名等は多くの選舉區に、鳥取定員四名、山梨定員五名、沖繩(定員五名等)は全縣一選舉區に分けられて居る。

二 行政

國家の安寧秩序を維持し、臣民の幸福を増進する作用で、各官廳を設け官吏をして行政を掌らしめる。

行政を分ちて中央行政と地方行政の二とする。

内閣及び十二省は東京に置かれ、府縣道廳は各府縣及び道に於ける行政上の便宜好き地に設けられ、その官廳所在地は何れも地方政治都市として繁榮して居る。尙ほ臺北、豐原、京城は植民地の政治都市である。

重要都市の中間に之に亞ぐ要地がその選に入つた。其後朝鮮に二ヶ師團増設の際には日支露三國接觸地帯に近い羅南第十九と半島の中樞京城府の龍山第二十がその司令部所在地となつた。

近年軍備縮少の際は明治當初の六ヶ師團時代の所在地は一も移動なく、第一次増設の中で僅かに第十二の小倉が久留米に移轉したに過ぎない。廢止された師團は主に第二次増設のものに多かつた(高田第十三、豊橋第十四、岡山第十七、久留米第十八事は軍事地理上から見ても興味ある問題である)。

其の他聯隊所在地、特科隊(飛行、鐵道、戰車等)の所在地に就ても軍事地理上皆その設置の理由を持つのである。

海軍 帝都及び東北日本の防禦の爲め東京灣に横須賀鎮守府、中部日本殊に瀬戸内海防禦に吳鎮守府、東支那海方面の防禦として佐世保鎮守府が設置されて居る。更に要港として日本

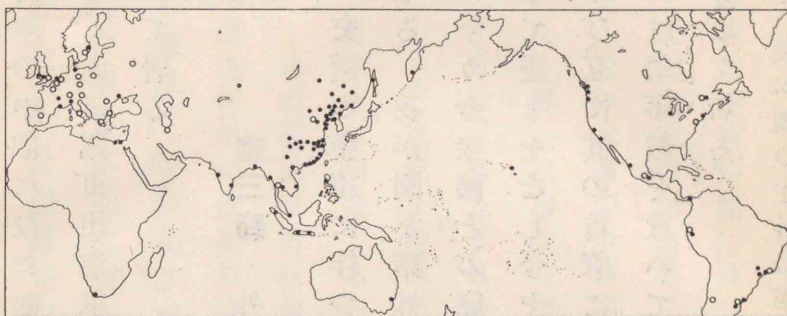
海岸の中部には舞鶴、重要なる海峽を扼して大湊、馬公、鎮海がある。尙ほ關東州海軍區が設けてあるが、佐世保鎮守府所管となつて居る。

第三節 外交

交通の發達に伴つて世界各國との關係は日に密接を加へて來る。我が國と諸外國との交際も年々密接となり、殊に支那アメリカ合衆國との關係は最も重要であり、又國際聯盟の一員として重きをなし、今や世界の主要國と通商航海に關する條約を結び、互に其の首府に大使館又は公使館を置き、其の他重要都市には領事館を置いて互に親和をはかり、國利民福の保護増進に努めて居る。

我が國の在外公館分布圖を觀察するに支那にはその分布最も著し

本邦在外公館の分布



く、亞細亞、ロシア、南部アジア、亞米利加合衆國、ブラジル等之に次ぐ。これ等は我が國民の多く在留する地方か、又は經濟的關係の深い地方である。

これらの在外公館所在地を政治交通商業上から考察して見よ。

第五章 神社宗教

神社 大和民族は古來敬神尊祖の念厚く、皇室の祖宗國家の功臣等を神として祀る美風があつて、全國到る處神社を見ない地方はない。

本土の村落で、我等の眼に著しく映ずるのは

鬱蒼たる鎮守の森と、寺院の大厦と、小學校の大建築物とである。

神社をその沿革によつて分けると、式内社と式外社とある。式内社とは延喜式にのせられた神社で、式外社はその以外のものである。

神社には神宮、官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社、無格社の別がある。

神宮は宇治山田市にあり、内宮には天照大神、外宮には豊受大神を祀り、皇室の尊崇最も厚い。官幣社は大・中・小に分れ、祭神は皇統の諸神、皇位の繼承者で、人臣としては獨り菅原道真あるのみ。他に國家に特別の功勞のあつた臣民は別格官幣社に祀られてゐる。國幣社も亦大・中・小に分れ、主に國土經營の諸神を祭神とする。以上の官國幣社は全國に約二百社ある。官幣社は往昔神祇官國幣社は國司が奉幣したが、今は共に國家が奉幣し、神官は國の官吏である。故に兩者の區分は、只幣帛料が一は皇室から、一は國庫から出る點に過ぎない。但し新年祭新嘗祭の分は何れも皇室から出る。

*本曆参照

帝國憲法第八條は日本臣民は安んずるの義務に於ては、其の信を有する自由を以て

神と混同してはならない

外に境外佛堂三萬五千餘

官幣社・國幣社は近畿地方に最も多く、全國の四分の一を占め、九州・關東・中國は之に次ぐが、新領土には朝鮮・樺太に各一、臺灣に二ある許りである。

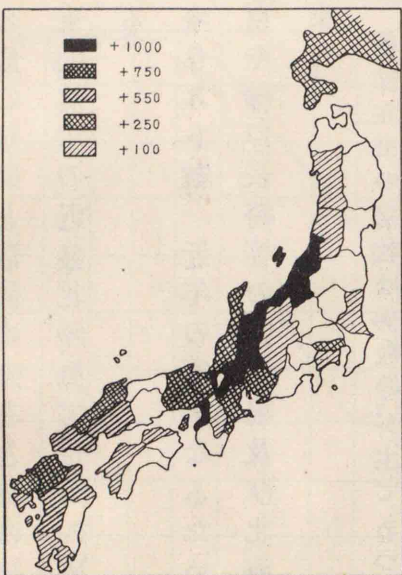
宗教 我が國は憲法で信教の自由を認める。現今行はれて居る宗教は神道・佛教及びキリスト教の三で、その中佛教が最も盛んである。

神道 神祇の靈を尊崇する本邦固有の宗教で、現今十三派に分れ、中にも天理教本部は奈良縣丹波市町にあるが最も盛である。

十三派とは神道・黑住教・修成教・大社教・扶桑教・實行教・大成教・神習教・御嶽教・神理教・禊教・金光教・天理教である。

佛教 印度から支那・朝鮮を経て、上古我が國に傳はり、我が國の文化に甚大な影響を及ぼした。現今は十二宗五十六派に分れ、寺院數七萬餘に達し、國民の大部分はこの信徒である。

植民地及び海外に在る邦人來たも努力して



眞宗寺院の分布

十二宗とは、天台・眞言・淨土・臨濟・曹洞・黄檗・眞日蓮・時・融通念佛・法相・華嚴である。

法相・華嚴・天台・眞言等の諸宗は古くより行はれ、融通念佛・淨土・眞日蓮

時宗等は平安時代より鎌倉時代に互り我が國人に依つて開始せられ、また臨濟・曹洞の二宗も鎌倉時代に支那より傳來した。徳川時代の初期に傳はつた黄檗宗は最も新しい佛教である。

宗派は眞宗本願寺派・曹洞宗・眞言宗・淨土宗・臨濟宗・日蓮宗等之に次ぐ。その分布を見るに、眞宗は近畿及北陸・曹洞宗は静岡・愛知及

びその以東眞言宗は近畿中國・四國・東國・浄土宗は近畿、臨濟宗は静岡等、日蓮宗は東國に多い。

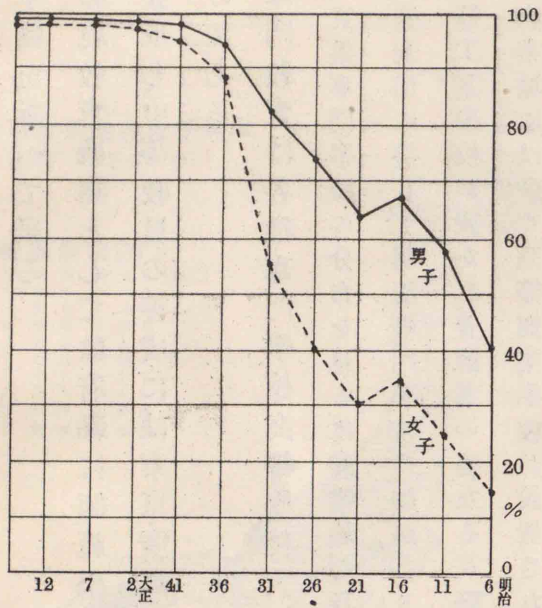
名僧の輩出と信徒の分布とは密接なる関係があつて、日蓮宗の東國、眞宗の近畿、北陸、眞言宗の四國に多い事等はこの適例である。

キリスト教 近年の傳來なるため主として都會地に行はれ東京や神戸・長崎等の開港場及び北海道等に漸次其の數を増して來た。

朝鮮在來の宗教は佛教等が主であつたが、佛教はあまり盛てはなかつた。近年キリスト教が盛で、内地よりする佛教・神道の布教はあまり盛でない。臺灣には古くより儒教・道教・佛教・キリスト教等行はれたが、領臺後神道・佛教・キリスト教が内地人によつて布教されて來た。

第六章 教育

加増の合歩學就童兒齡學



教育は國民の智徳を進め、品位を高めるものであつて、其の隆替は國勢の消長に關係することが頗る大きいので、各國は何れも其の發達に留意して居る。我が國に於ては維新以後教育の發達著しく、義務教育の制

度も夙に定まつて各種の學校も殆んど備はらぬはない。初等教育の進歩は世界列強に伍して遜色を認めず、學齡兒童

東京・廣島
各文
科大學
に於
けられ
た設

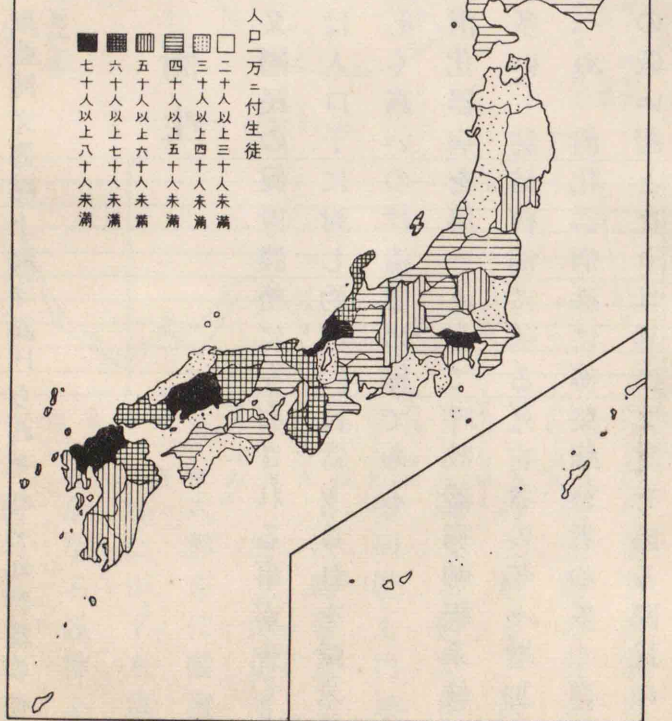
の就學歩合^九は誇るに足る。
中等教育も漸次發達を見るに至つたが未だ學校數が不足で
入學難を訴へて居る。

師範教育機關としては府縣に師範學校を設けて小學校教員
を養成し、中等教員の養成には東京、廣島、奈良に高等師範學校を
設けてある。

専門教育は各種専門學校、高等學校、大學に於いて行はれる。

實業専門學校の分布を見るに鑛業地の秋田縣に鑛山専門學校、秋田
筑豊炭田に接して明治専門學校、戸畑があり、主要工業地にはそれぞれ
高等工業學校が置かれ、蠶業の盛なる長野縣上田に蠶絲専門學校、主
要商業地には多く高等商業學校が設置されて居る。高等學校は全國
各地に分布する。東京は我が國教育の大中心で、京都、大阪、仙臺、札幌、福
岡等も亦教育地として著はれ、京城と臺北とは植民地の教育の大中心

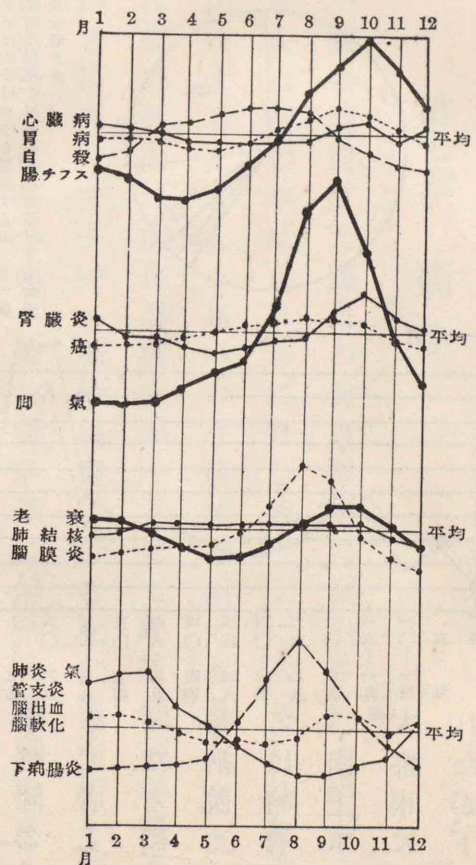
中等學校生徒徒道府縣比較
(在現日一月三年二和昭)



本邦人の體格は之を歐米人に比較すれば概して劣り、平均壽命も亦彼等に劣る。故に國民の衛生思想の普及と各般の體育獎勵とを圖らねばならぬ。

病名中下段の線ほど死亡數の多い病氣である。

死と季節との關係



を學んで、近年それが急激に普及發達した。即ち體操、野球、庭球、各種競技、漕艇等は之で、殊に近年は夏期の登山、冬季寒國のスキー、スケート等

古來角

が流行して來た。保健の爲め避暑避寒も行はれるが、四面環海の本邦は夏季各地の海水浴場は繁盛を極め、山間の溫泉場も亦浴客で賑ふ。

結論 日本の世界的地位

記述の便宜上之を政治、經濟、文化の三方面に分ける。

一、政治的地位 上古は他國と殆ど交際をしなかつた孤立の

日本は其の後朝鮮、支那、印度等と交渉が出来て東洋の日本となり、更に現代は世界の日本となつた。幕末に各國と締結した條約は法權及び稅權の不對等なもので、外人に治外法權を許し、關稅率も我に不利であつた。其の後國運日に隆昌となり、日清戰役後の條約改正に依つて先づ治外法權を撤廢し、稅權は少し遅れて日露戰役後漸く回復した。日英同盟と日露戰役とは我が國を一躍世界の一等國に列せしめた。

* 國定稅率でなく協定稅率であつた。

一等國とは相當の國土國民を有し、法制、軍備、財政、外交及び經濟文化等に於て世界列國の第一流に位するもので、通例その承諾なしに國際事件を處理することの出來ないものである。

其の後佛露米等と協約を結び、朝鮮を併合するに及んで島強國は一變して大陸強國となり、世界戰役後は五大強國の一に加はつた。そして現今は前記日英同盟の代りに四國協約を締結し、また國際聯盟の主要國として英・米・佛・伊と共に世界の政治上に重きをなして居る。然し現時の我が國は内治上に於ても、また外交上に於ても多事で、決して樂觀を許さない。

内政上の重要問題 人口問題、財政問題、植民地統治問題、思想問題等

外交上の重要問題 米及び英の植民地に對する移民問題、對支那問題等

二、經濟的地位 農を主産業とした時代は去つて商工業の時期に移らんとし、近世的大工業と海外貿易とを重要視せねばならぬ時代となり、所謂産業革命が次第に起つて來た。然るに主な工業原料即ち綿羊毛、鐵、石油等の産出が僅少で、食料品の輸入と相俟つて巨額の輸入超過となり、在外正貨も漸次減少して來た。殊に世界戰役後に襲來した世界的不景氣の影響と、大正十二年突發した關東大震災とは、國際上に於ける經濟的信用に一大影響を與へたが、國民の努力の結果漸次回復した。

國債の激増や富力の列強より劣つて居る事等を考へ合せ、我が國民は官民一致協力、この經濟的位置の向上に一大努力を要する時に直面して居る。

三、文化上の位置 我が國はその位置や歴史上から見て、世界の二大文化即ち東洋文化及び西洋文化を融合調和して、こゝに

新しい世界的文化を樹立せねばならぬ使命を持つて居る。維新以來の制度改善と國民の好學心とは、その文化を東洋の模範國とした。然しその精神的及び物質的文化には尙ほ西洋模倣の跡を絶たぬのは遺憾である。

上に萬世一系の皇統をいたゞき、開闢以來外侮を受けない我が日本帝國は、その國土の位置は良好で、氣候も概して溫和であるし、その國民も愛國心に富み、進取敢爲の美風を有して國威日に月に昇つて居る。然し前記の様に其の國力の實質は必ずしもその名に伴つて居るとは云はれない。充實せぬ富力を以て、日進の世運に際し、百般の事業を革新し、列強と其の實力を競ふ事は、決して容易な業でない。今や太平洋は世界の逐鹿場と化した。その場裡に在つて國民教育の重任を負ふ者は、深く思を大日本帝國國勢の充實發展に致さねばならぬ。

三訂

師範
教育

日本國勢地理

終

* * *

發行所

東京市牛込區
辨天町一七四

中文館書店

電話牛込三三二五番
振替東京三八四二七

【訂 三】
理地勢國本日

書 號 第 一



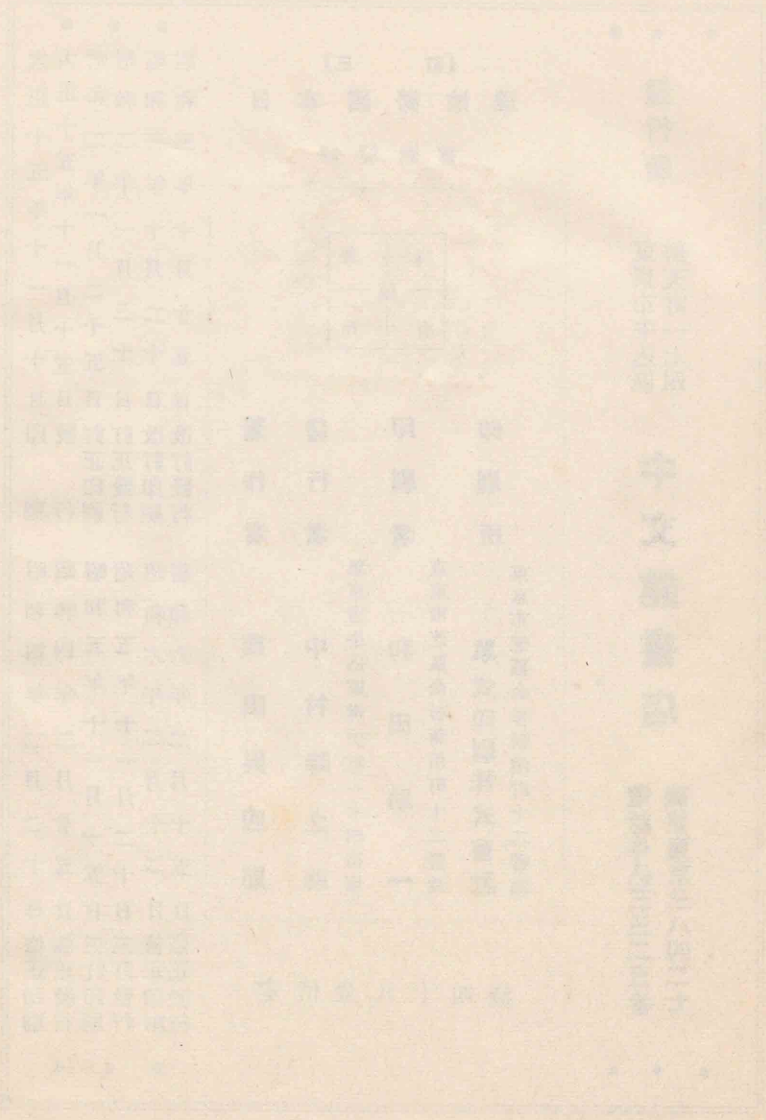
印 刷 所	印 刷 者	發 行 者	著 作 者
東京市芝區金杉新濱町十二番地	東京市芝區金杉新濱町十二番地 和 田 助 一	東京市牛込區辨天町一七四番地 中 村 時 之 助	西 田 與 四 郎

錢 四 十 八 金 價 定

* * *

大正十五年十一月十五日	大正十五年十一月十五日	昭和二年一月二十五日	昭和二年一月二十五日	昭和三年十月廿五日	昭和三年十月廿五日
發行	訂正印刷	訂正印刷	訂正印刷	改訂發行	改訂發行
昭和四年二月二十日	昭和四年二月二十日	昭和五年十一月二十五日	昭和五年十一月二十五日	昭和六年二月十五日	昭和六年二月十五日
修正印刷	修正印刷	訂正印刷	訂正印刷	修正印刷	修正印刷

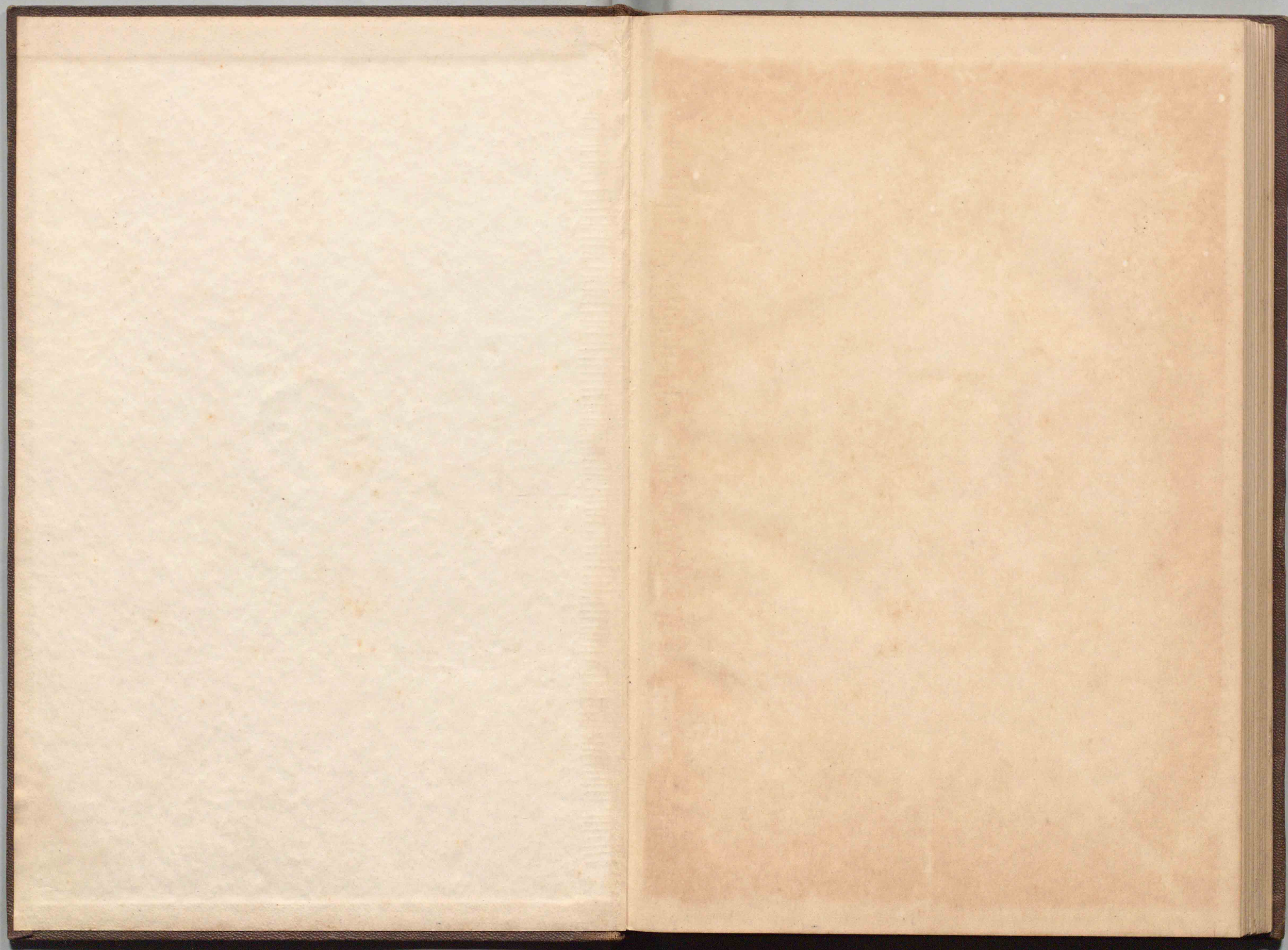
* * *



中文圖書

民國二十六年八月二十一日

Table of contents or index with multiple columns of text, including page numbers and titles, though the text is extremely faint and illegible.





広島大学図書

2000065224

